

京都市内遺跡立会調査概報

平成15年度

2004年3月

京 都 市 文 化 市 民 局

ごあいさつ

京都市は、山紫水明の恵まれた自然と世界に誇る貴重な文化遺産に満ちた日本文化の中核を担う都市であります。市内に存在する、古代から近世までの各時代を特徴付ける貴重な遺跡は、我が国の歴史や文化の成り立ちを知ることができる国民共有の貴重な財産であり、将来の文化の向上発展の基礎を成すものです。先人が残した埋蔵文化財を引き継いだ私たちは、これを後世に伝え残していく責務があります。

しかしながら、今日、埋蔵文化財包蔵地内において土木工事等による開発行為が、規制なく進められれば埋蔵文化財に重大な影響を及ぼしかねません。

本市では、こうした状況を踏まえ、「保存」と「開発」との調整をしっかりと行いながら、貴重な埋蔵文化財の適切な保護に努めております。さて、この度、平成15年度に本市が文化庁の国庫補助を得て実施した埋蔵文化財調査の結果をまとめた概要報告書を作成致しました。調査のうち、試掘調査は京都市埋蔵文化財調査センターが実施し、発掘調査及び立会調査は、財団法人京都市埋蔵文化財研究所へ委託し、実施したものであります。

各調査の実施に当たり御理解と御協力を賜りました市民の皆様をはじめ、御指導・御助言を賜りました関係機関の方々に深く感謝申し上げますとともに、本報告書が京都市の歴史を知り、理解を深めるための一助として、京都を愛する多くの皆様のお役に立てば幸いに存じます。

平成16年3月

京都市文化市民局長

柴田重徳

例 言

- 1 本書は京都市文化市民局が財団法人京都市埋蔵文化財研究所へ委託して実施した、文化庁国庫補助事業に伴う平成15年度の京都市内遺跡立会調査概要報告である。
- 2 本書の編集は近藤章子、吉本健吾が調整・作成実務を担当した。
- 3 各報告については文末に執筆者を記した。
- 4 写真撮影は村井伸也と幸明綾子が担当し、遺跡は調査担当者が行った。
- 5 遺物復元・彩色は村上勉、出水みゆきが担当した。
- 6 本書で用いた土壌色名は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修の『新版標準土色帖』に準じた。
- 7 個々の調査地での計測値は、宅地の場合は地表面を±0mとし、道路の場合には現行道路面を地表面(±0m)としている。
- 8 使用測地系は日本測地系(改正前)平面直角座標系VIを使用した。
- 9 調査一覧表では各時代の「時代」は省略しており、調査日については簡略に記しているものもある。遺跡名は平安宮・平安京跡、長岡京跡については、官衙・条坊を優先した。
- 10 平成15年6月で『京都市遺跡地図』および『京都市遺跡地図台帳』の改訂があり、一部遺跡名については、新しい遺跡名で掲載した。
- 11 本書で使用した地図は京都市発行の都市計画基本図(縮尺1/2,500)を参考にし、作成したものである。

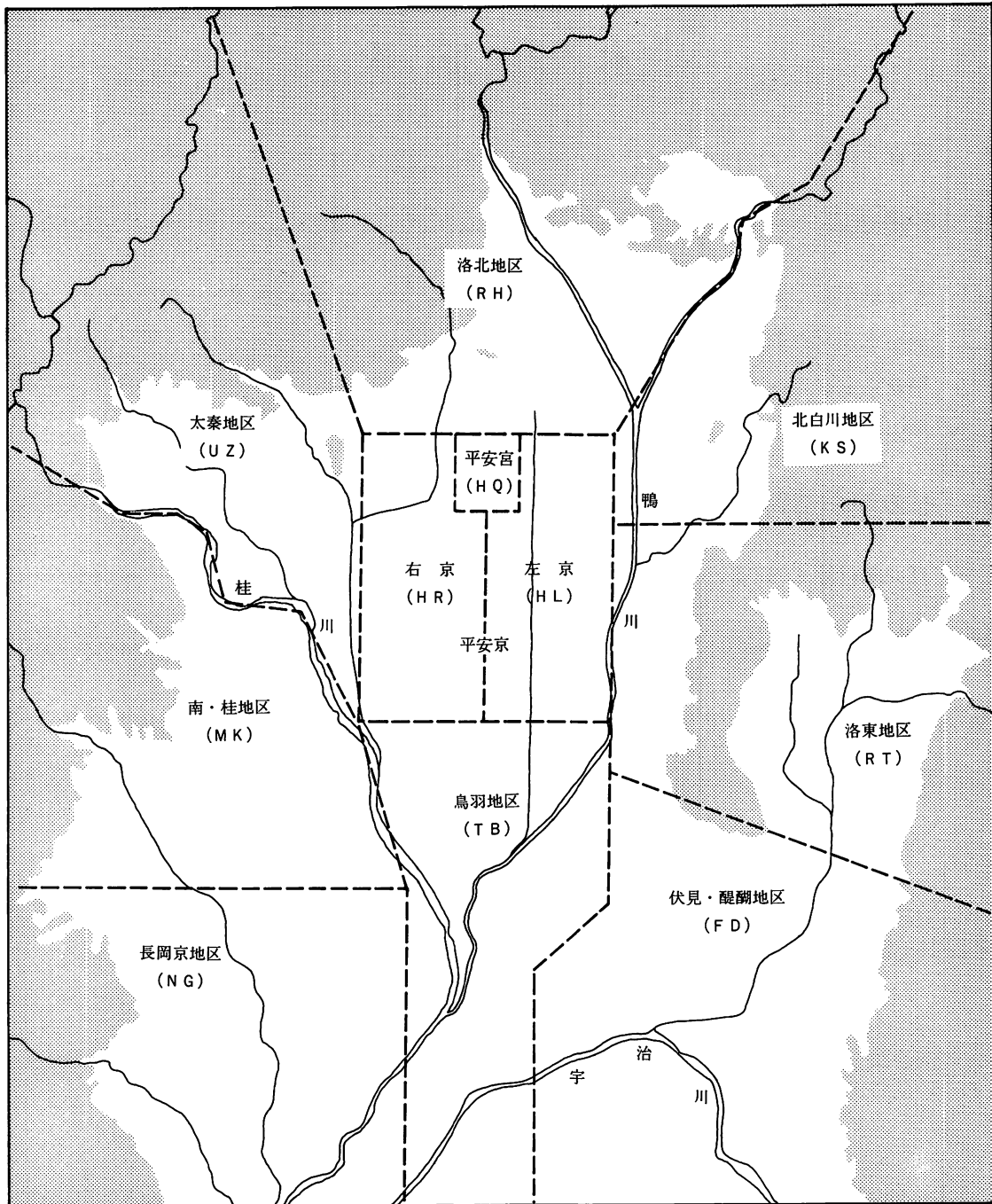
都市計画基本図は、縮尺を調整して以下のものを使用した。

平安宮・京跡 図版1~13 8,000分の1(衣笠山、船岡山、花園、聚楽廻、御所、山ノ内、壬生、三条大橋、西京極、島原、五条大橋、中河原、梅小路、京都駅)

その他の遺跡 図版14~26 10,000分の1(岩倉、西賀茂、幡枝、三宅八幡、鷹峯、植物園、松ヶ崎、北嵯峨、宇多野、衣笠山、船岡山、相国寺、田中、大覚寺、鳴滝、花園、聚楽廻、御所、吉田、太秦、三条大橋、岡崎、五条大橋、清水寺、中河原、梅小路、京都駅、今熊野、山科、小山、岡新田、中山、川島、吉祥院、上鳥羽、勧進橋、稻荷山、勧修寺、大原野、石見、寺戸、久世、城南宮、竹田、大亀谷、醍醐、向日町、久我、下鳥羽、丹波橋、桃山、長岡、羽束師、横大路、中書島、木幡池、向島、淀)

各報告の「調査位置図」5,000分の1

図1(三条大橋) 図5(壬生) 図9(島原)
図15(西京極) 図21(城南宮、下鳥羽)



地区設定概念図

本文目次

I 調査概要	1
II 平安京跡	5
1 平安京左京三条四坊八町、等持寺跡 (02HL296)	5
2 平安京左京四条二坊六町 (03HL82)	8
3 平安京左京六条二坊十町、烏丸綾小路遺跡 (03HL64)	10
4 平安京右京六条三坊七町、西院遺跡 (03HR39)	13
III その他の遺跡	17
1 鳥羽離宮跡 (02TB126)	17
調査一覧表	19
報告書抄録	36

図版目次

図版 1～26 調査位置図

図版 1	平安宮
図版 2	平安京左京北辺～三条 一・二坊
図版 3	平安京左京北辺～三条 三・四坊
図版 4	平安京左京 四～六条 一・二坊
図版 5	平安京左京 四～六条 三・四坊
図版 6	平安京左京 七～九条 一・二坊
図版 7	平安京左京 七～九条 三・四坊
図版 8	平安京右京北辺～三条 三・四坊
図版 9	平安京右京北辺～三条 一・二坊
図版 10	平安京右京 四～六条 三・四坊
図版 11	平安京右京 四～六条 一・二坊
図版 12	平安京右京 七～九条 三・四坊
図版 13	平安京右京 七～九条 一・二坊
図版 14	1 妙満寺裏庭窯跡・八幡古墳群 2 岩倉忠在地遺跡 3 河上瓦窯

跡 4 植物園北遺跡

図版15 1 北野遺跡・北野廃寺 2 松ヶ崎廃寺 3 半木町塚跡 4 上京遺跡・相国寺旧境内・室町殿跡（花の御所）

図版16 1 広沢池遺跡・太秦馬塚町遺跡・仁和寺院家跡 2 広沢西裏遺跡 3 梅津糺原町遺跡 4 沖殿町遺跡 5 北白川廃寺

図版17 田中構え跡・北白川追分町遺跡・北白川追分町縄文遺跡・吉田二本松町遺跡・吉田上大路町遺跡・聖護院川原町遺跡・白河街区跡・岡崎遺跡・白河北殿跡・白河南殿跡・得長寿院跡・延勝寺跡・法勝寺跡

図版18 1 法成寺跡 2 中臣遺跡 3 法興院跡 4 坂尻須恵器窯跡 5 山科本願寺南殿跡 6 勧修寺境内

図版19 六波羅政庁跡・法住寺殿跡・方広寺跡・鳥部（辺）野

図版20 1 法性寺跡・伏見稻荷大社境内 2 唐橋遺跡 3 吉祥院西ノ内城跡 4 深草遺跡 5 淀城跡

図版21 鳥羽離宮跡・鳥羽遺跡

図版22・23 伏見城跡・黄金塚1号墳

図版24 長岡京跡・羽束師志水町遺跡・久我東町遺跡

図版25 1 上鳥羽遺跡 2 下三栖遺跡 3 おうせんでう廃寺 4 向島城跡 5 福西古墳群 6 榎原廃寺 7 上久世遺跡

図版26 1 長岡京跡・中久世遺跡・大藪遺跡 2 勝持寺古墳群・大原野神社遺跡

図版27・28 写真

図版27 遺物 平安京左京三条四坊八町、等持寺跡（02HL296）
平安京右京六条三坊七町、西院遺跡（03H R39）
鳥羽離宮跡（02TB126）

図版28 遺物 1 平安京左京六条二坊十町、烏丸綾小路遺跡（03HL64）
2 平安京右京六条三坊七町（03H R39）

挿 図 目 次

02HL296

図1	調査位置図	5
図2	遺構位置図	5
図3	遺構断面図	6
図4	出土遺物実測図	6

03HL82

図 5	調査位置図	8
図 6	遺構位置図	9
図 7	遺構断面図	9
図 8	No.13地点落込断面	9

03HL64

図 9	調査位置図	10
図10	遺構位置図	10
図11	遺構断面図	11
図12	No. 2 地点土壌群	11
図13	No. 3 地点土器出土状況	11
図14	出土遺物実測図	12

03HR39

図15	調査位置図	13
図16	遺構位置図	13
図17	遺構断面図	14
図18	No. 4 地点東西溝	14
図19	出土遺物実測図	15
図20	No. 2 地点土器出土状況	15

02TB126

図21	調査位置図	17
図22	柱状断面図	18
図23	出土遺物実測図	18

表 目 次

表 1	立会調査件数	1
表 2	年次別平安京路面・側溝検出件数	1
表 3	地区別平安京路面・側溝検出件数	1
表 4	路別平安京路面・側溝検出件数	2

I 調査概要

本報告は京都市文化市民局が(財)京都市埋蔵文化財研究所へ委託して実施した、文化庁国庫補助事業に伴う平成15年度の京都市内遺跡立会調査概要報告書である。本書では平成15年1月6日から3月31日までの平成14年度分と、同年4月1日から12月26日までの平成15年度分を合わせて報告する。調査件数は437件であり、平成14年度分が142件、平成15年度分が295件である。京都市内を便宜的に地区分けした調査件数は下表のとおりである(表1)。

地区	14年度1~3月	15年度4~12月	小計	地区	14年度1~3月	15年度4~12月	小計
平安宮(HQ)	30	62	92	洛東地区(RT)	22	23	45
平安京左京(HL)	27	79	106	鳥羽地区(TB)	13	27	40
平安京右京(HR)	19	37	56	伏見・醍醐地区(FD)	3	13	16
洛北地区(RH)	6	18	24	長岡京地区(NG)	3	4	7
太秦地区(UZ)	1	4	5	南・桂地区(MK)	2	6	8
北白川地区(KS)	16	22	38	計	142	295	437

表1 立会調査件数

京都市は、昭和52年から市街地をほぼ覆う平安京跡やその他の遺跡の小・中規模開発に伴う有効な埋蔵文化財調査方法として、立会調査を文化庁の国庫補助を得て実施し、多数の遺構・遺物を検出してきた。現在まで12,000件以上の立会調査を行ってきたが、その中で平安京の大路・小路の路面および側溝の検出は平安京復元の一助となっている。

1980年から今年までの調査で検出した平安時代から現代に至る大路・小路に関連する路面および側溝は、路面が222件、側溝が158件である(表2)。なお平安時代、鎌倉時代の遺構と思われるものは路面が31件、側溝が98件である。

年	側溝	路面	年	側溝	路面
1980	9	3	1992	7	10
1981	3	8	1993	11	12
1982	9	8	1994	5	11
1983	8	1	1995	7	9
1984	4	4	1996	10	8
1985	4	10	1997	10	18
1986	10	15	1998	10	10
1987	6	13	1999	14	13
1988	3	4	2000	8	4
1989	3	7	2001	5	2
1990	6	20	2002	1	6
1991	4	21	2003	1	5
合計			158 222		

表2 年次別平安京路面・側溝検出件数

平安京を左京と右京に分け検出件数(表3)をみると、左京の路面が175件、側溝が85件、右京の路面が47件、側溝が73件であった。右京に比べ左京の検出数が多いのは、立会件数に比例している部分が多いと思われる。しかし、左京では側溝の検出例より路面の検出

	右京側溝	右京路面	左京側溝	左京路面	側溝小計	路面小計
北辺~三条	25	18	28	73	53	91
四条~六条	29	10	40	58	69	68
七条~九条	19	19	17	44	36	63
合計	73	47	85	175	158	222

表3 地区別平安京路面・側溝検出件数

東 西 路	側溝件数	路面件数	南 北 路	側溝件数	路面件数
一条大路	0	1	西京極大路	0	0
正親町小路	0	0	無差小路	1	0
土御門大路	2	1	山小路	0	0
鷹司小路	1	0	菖蒲小路	1	0
近衛大路	2	4	木辻大路	0	0
勘解由小路	1	0	恵止利小路	0	0
中御門大路	1	2	馬代小路	2	2
春日小路	1	3	宇多小路	7	2
大炊御門大路	3	4	道祖大路	13	4
冷泉小路	1	3	野寺小路	7	5
二条大路	3	16	西堀川小路	4	5
押小路	0	3	西靱負小路	1	0
三条坊門小路	3	3	西大宮大路	10	0
姉小路	2	5	西櫛笥小路	0	1
三条大路	1	8	皇嘉門大路	0	1
六角小路	1	0	西坊城小路	2	0
四条坊門小路	1	0	朱雀大路	5	6
錦小路	3	1	坊城小路	4	2
四条大路	5	3	壬生大路	0	2
綾小路	0	1	櫛笥小路	2	2
五条坊門小路	2	1	大宮大路	1	7
高辻小路	2	1	猪隈小路	1	7
五条大路	5	12	堀川小路	0	7
樋口小路	3	2	油小路	5	7
六条坊門小路	5	2	西洞院大路	9	5
楊梅小路	0	0	町尻小路	2	3
六条大路	2	4	室町小路	0	2
左女牛小路	3	1	烏丸小路	1	0
七条坊門小路	1	6	東洞院大路	4	9
北小路	0	3	高倉小路	0	3
七条大路	4	17	万里小路	1	1
塩小路	3	3	富小路	3	11
八条坊門小路	0	0	東京極大路	6	20
梅小路	2	1	小 計	92	114
八条大路	2	4	合 計	158	234
針小路	1	2			
九条坊門小路	0	0			
信濃小路	0	0			
九条大路	0	3			
小 計	66	120			

路面の検出件数は222件であるが、交差点部分が12箇所含まれているので路別には234件となる

表4 路別平安京路面・側溝検出件数

例が多く、右京はその数が逆に表れているのは、その後の都市発展が、左京と右京で違うことを表わしているものと思われる。左京では都市が途切れることなく発展を続けたため、路面と側溝は継承され、特に路面は何面も積み重ねられ地中に埋蔵されていった。それに対して右京では、平安時代後期になると部分的には都市民の活動が盛んなところもみられるが、その大半が耕作地や荒地になり、都市として復活するのは明治以降のことである。かつての路面は耕作地として破壊され、むしろ深さをもつ側溝が遺構として残され、結果右京では側溝の検出例が多くなるのではないかと考えられる。

この24年間の立会調査で平安京の大路・小路の東西路39通の内34通、南北路33通の内29通に関連する路面および側溝を検出している(表4)。しかし、まだ立会調査で検出例のない大路・小路があるが、今後の立会調査によって路面および側溝などが検出できよう。

ここでは、本年の立会調査において知りえた新たな成果について以下概略を記す。なお今年6月からは『京都市遺跡地図^{註1}』および『京都市遺跡地図台帳^{註2}』が改訂され、新しい遺跡範囲で調査を行っている。大きな変化は洛北地区(RH)に上京遺跡が設定されたことである。南は一条通から北は上御霊通、西は智慧光院通から東は烏丸通に至る一帯が遺跡範囲となった。また太秦地区(UZ)では嵯峨折戸町遺跡、嵯峨北堀町遺跡、太秦馬塚町遺跡などの登録により太秦を中心として嵯峨野、鳴滝への土地が、ほぼ遺跡で網羅されるかたちとなった。今年の新遺跡の立会調査の件数はまだ少ないが、今後の調査結果に期待できる遺跡である。

平安宮(HQ) 主水司(02HQ343)では東側の発掘調査^{註3}で検出した古墳時代の土壌の一部を検出した。中和院(03HQ243)で緑釉瓦を含む包含層、平安時代前期の土器と凝灰岩片を含んだ土壌を検出した。平安時代の遺物包含層は御井(02HQ287)と中務省(03HQ16)で検出している。

平安京左京(HL) 左京域の平安時代の遺構は、四条二坊六町(03HL82)で四条坊門小路南側溝を検出したので報告する。四条一坊三町(03HL237)では、前期の土器を多量に含む池跡および錦小路の路面を検出した。ここは京都市埋蔵文化財調査センターが事前に試掘調査を行っており、試掘の成果と合わせて『京都市内遺跡試掘調査概報 平成15年度』に報告する。鎌倉時代の遺構は、六条二坊十町(03HL64)で包含層、土壌群を検出したので報告する。桃山時代から江戸時代は三条四坊八町(02HL296)で、土壌群を検出したので報告する。時期の確定はできないが路面は、三条四坊五町(03HL201)で三条大路、四条一坊八町(03HL229)で坊城小路、四条二坊十六町(02HL413)で西洞院大路、五条四坊十町(02HL411)で富小路を検出している。

平安京右京(HR) 右京域では、六条三坊七町(03HR39)で平安時代前期の溝を検出したので報告する。他に平安時代の遺構は前期の包含層を七条三坊八町(02HR309)で検出した。また中期の包含層を三条四坊七町(03HR2)、六条二坊十町(03HR70)、七条二坊十町(03HR283)で検出した。

洛北地区(RH) 河上瓦窯跡、松ヶ崎廃寺、上京遺跡、植物園北遺跡、相国寺旧境内、室町殿

跡（花の御所）、半木町塚跡、北野遺跡、北野廃寺、妙満寺裏庭窯跡、岩倉忠在地遺跡、八幡古墳群隣接地の12箇所の遺跡で調査を行った。植物園北遺跡（02RH306）では弥生時代後期から古墳時代前期の包含層を検出した。北野廃寺（03RH192）では飛鳥時代の包含層を検出した。

太秦地区(UZ) 仁和寺院家跡、太秦馬塚町遺跡、広沢西裏遺跡、広沢池遺跡、梅津萩原町遺跡の5箇所の遺跡で調査を行ったが、今回は概要報告を行うような成果は得られなかった。

北白川地区(KS) 法成寺跡、田中構え跡、北白川廃寺、沖殿町遺跡、北白川追分町遺跡、北白川追分町縄文遺跡、吉田二本松町遺跡、吉田上大路町遺跡、聖護院川原町遺跡、白河街区跡(白河北殿、白河南殿、法勝寺跡、延勝寺跡、得長寿院跡)、岡崎遺跡の16箇所の遺跡で調査を行った。白河街区跡・岡崎遺跡（02KS329）では平安時代後期の包含層を検出した。

洛東地区(RT) 鳥部（辺）野、坂尻須恵器窯跡、方広寺跡、六波羅政庁跡、法住寺殿跡、法性寺跡、法興寺跡、中臣遺跡、勸修寺境内、山科本願寺南殿跡の10箇所の遺跡で調査を行った。鳥部（辺）野（02RT313）では、調査地が泉涌寺の境内にあたり、近世の鬼瓦や「空」「風」の梵字を陰刻した石製の五輪塔の宝珠受花部を発見した。

鳥羽地区(TB) 鳥羽離宮跡、鳥羽遺跡、上鳥羽遺跡、下三栖遺跡、唐橋遺跡、吉祥院西ノ内城跡、久我東町遺跡、羽束師志水町遺跡、淀城跡、深草遺跡の10箇所の遺跡で調査を行った。鳥羽離宮跡（02TB126）では、遺跡範囲外から古墳時代前期の土師器を検出したため報告する。

伏見・醍醐地区(FD) 伏見城跡、黄金塚1号墳、法性寺跡、伏見稻荷大社境内、おうせんどろ廃寺隣接地、向島城跡の6箇所の遺跡で調査を行ったが、今回は概要報告を行うような成果は得られなかった。

長岡京地区(NG) 長岡京跡の左京三・四坊の北辺から五条の間で調査を行ったが、概要報告を行うような成果は得られなかった。

南・桂地区(MK) 上久世遺跡、中久世遺跡、大藪遺跡、檜原廃寺、福西古墳群、勝持寺古墳群、大原野神社遺跡の7箇所の遺跡でそれぞれ調査を行ったが、概要報告を行うような成果は得られなかった。
(吉本健吾)

註1 『京都市遺跡地図』京都市文化市民局埋蔵文化財調査センター 2003年

註2 『京都市遺跡地図台帳』京都市文化市民局埋蔵文化財調査センター 2003年

註3 上村和直「平安宮西院跡・聚楽遺跡」『京都市内遺跡発掘調査概報 平成14年度』京都市文化市民局 2003年

II 平安京跡

1 平安京左京三条四坊八町、等持寺跡 (02HL296)

調査経過 (図1)

中京区柳馬場通二条下る等持寺町14・17番地のマンション建築に伴う調査である。条坊復元では左京三条四坊八町の北東に位置する。

八町は北を二条大路 (現二条通)、南を押小路 (現押小路通)、東を万里小路 (現柳馬場通)、西を高倉小路 (現高倉通) に囲まれ、平安時代末期には後白河法皇の側近であった権大納言源資賢の邸宅、鎌倉時代前期には、右少将藤原親平の母親や権大納言源通光の邸宅の存在が知られている。室町時代前期には、足利尊氏創建による等持寺 (足利家の菩提寺) の存在が知られているが、応仁・文明の乱によって廃寺となり洛北等持院に合併された。近世にはいと、長崎糸割符商人などの富裕商人が居住していたことが文献史料に記されている。

これまでの周辺の調査では、西側隣接地で古墳時代の包含層を検出^{註1}、さらにその西側で平安時代後期・鎌倉時代前期の土壌、鎌倉時代の井戸などを確認^{註2}している。

調査は2003年1月6日から17日まで行い、古墳時代の流れ堆積、鎌倉時代の土壌、室町時代前期・中期の包含層、桃山時代から江戸時代初期の土壌、江戸時代後期・末期の包含層を検出した。そのうち、桃山時代から江戸時代初期の土壌3基が顕著に検出できたので、これを概要報告する。

遺構・遺物 (図版27、図2～4)

土壌1

地表下-1.86mで幅2.46m、深さ1.08mの規模を測り、埋土は大きく4層に分層できる。出土遺物は桃山時代から江戸時代初期の土師器および施釉陶器である。

第1層からは土師器皿、志野鉢、唐津 (輪花皿・輪花大皿・碗・甕)、第2層からは唐津 (鉢・輪花皿・瓶)、箸が出土した。第3層からは器形不明土製品および炭が出土しているが、時期が

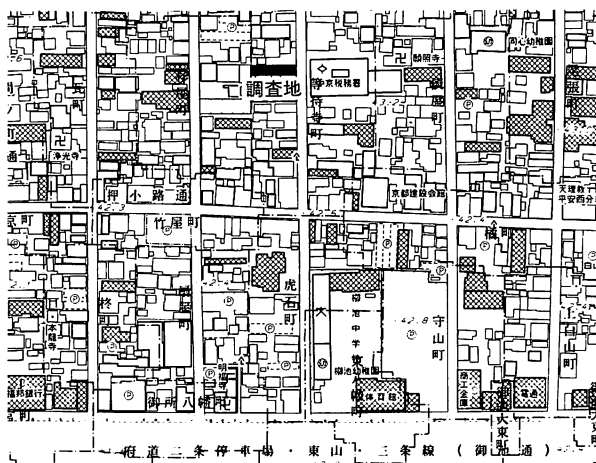


図1 調査位置図 (1:5,000)

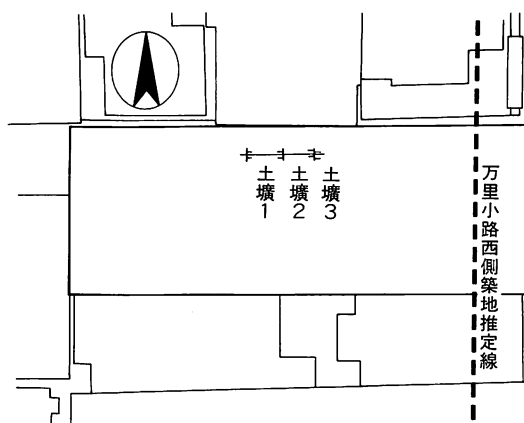
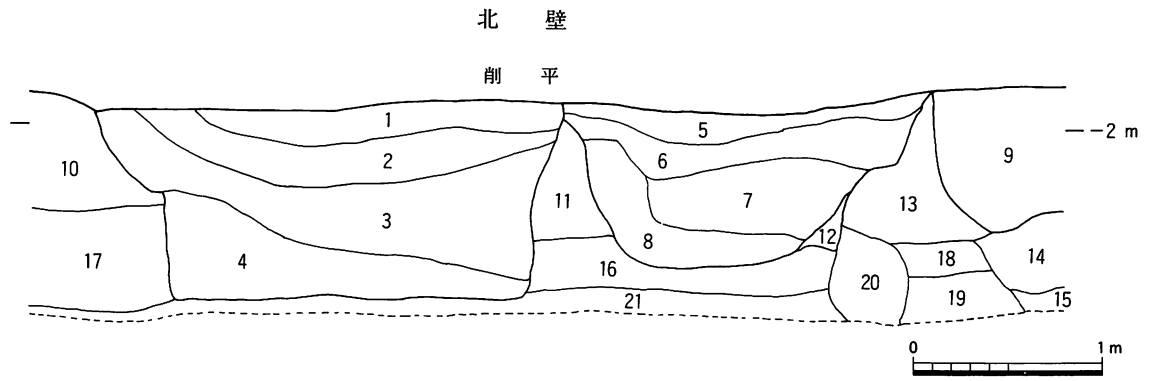


図2 遺構位置図 (1:500)



- | | | | |
|-----------------|-------------------|--------------|----------------|
| 1 黒褐色泥土 (土壌1) | 7 黒色泥土 (土壌2) | 13 黄褐色泥砂 | 18 褐灰色泥砂 |
| 2 黒色泥土 (土壌1) | 8 オリーブ灰色粘質土 (土壌2) | 14 灰黄褐色泥砂 | 19 オリーブ灰色粘質土 |
| 3 黒色泥土 (土壌1) | 9 黒褐色砂泥+粘質土 (土壌3) | 15 オリーブ褐色粘土 | 20 灰黄褐色泥砂 |
| 4 黒色砂泥+泥土 (土壌1) | 10 オリーブ褐色粘土 | 16 暗オリーブ灰色粘土 | 21 褐色砂礫 (古墳時代) |
| 5 黒褐色泥砂 (土壌2) | 11 オリーブ灰色粘質土 | 17 灰色粘土 | |
| 6 黒褐色砂泥 (土壌2) | 12 灰オリーブ色微砂 | | |

図3 遺構断面図 (1:40)

特定できる遺物はなかった。第4層からは土師器皿、天目茶碗、京焼系軟質陶器の小壺底部、箸が出土している。

土壌2

地表下-1.89mで幅1.98m、深さ1.1mの規模を測り、埋土は4層に分層できる。出土遺物は江戸時代初期の施釉陶器が主体である。第1層からは瀬戸黒茶碗(口縁)、唐津(碗・皿・鉢・浅鉢・輪花大皿・瓶)、高取(輪花皿・水指)、第2層からは産地は不明であるが鉄釉陶器(盤もしくは播鉢)、加工石片が出土した。第3・4層からの遺物の出土はなかった。

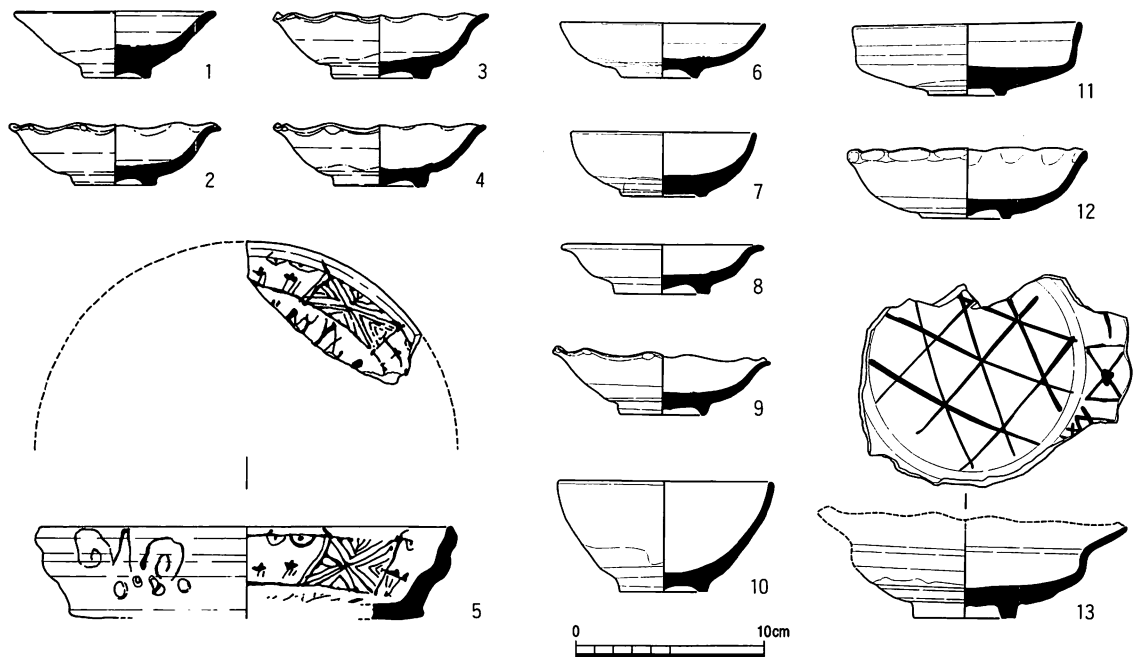


図4 出土遺物実測図 (1:4) 1~5・13:土壌1, 6~12:土壌2

土壙3

地表下-1.89mで実測可能範囲において、幅0.7m以上、深さ0.68mの規模を測るが、埋土の堆積層はみられなかった。江戸時代初期の土師器皿および施釉陶器皿が出土した。施釉陶器はいわゆる朝鮮唐津である。

ま と め

土壙1・2の出土遺物は唐津系陶器が大半を占める。そのうち、重ね焼きの目跡には、胎土目および砂目の2種類を確認した。胎土目を用いる生産年代は1610～15年頃まで、砂目は1620年代以降最も多くなる傾向があり、共伴出土の土師器編年によると、これらの出土した唐津系陶器は17世紀前半に廃棄されたものと考えられる。

土壙はすでに重機で削平され、残部からの採集ではあったが唐津系陶器の出土量が多く、それらの高台周辺には窯道具の熔着およびそれを打ち欠いたとみられる製品が確認できた。また、高台部分にロクロ目が際立ち、使用による磨滅痕が認められなかったことなどから、選別によって不良品を廃棄した可能性が考えられる。

土壙1の第1層から出土した絵志野鉢、土壙2の第1層から出土した瀬戸黒茶碗の各破片については使用痕が認められ、桃山時代から江戸時代初期に展開した茶の湯の好尚が窺える。

なお鎌倉時代の土壙、室町時代前期・中期の包含層については、鎌倉時代の邸宅や室町時代の等持寺と明確に関連づけられるものはなかった。

(堀内寛昭)

註1 「調査一覧表」『京都市内遺跡立会調査概報 平成10年度』京都市文化市民局 1999年

註2 「調査一覧表」『京都市内遺跡試掘立会調査概報 昭和59年度』京都市文化観光局 1985年

2 平安京左京四条二坊六町 (03HL82)

調査経過 (図5)

中京区堀川通の御池通交差点から四条通交差点までの西側歩道における水道配管工事に伴う調査である。当地は平安京左京三条二坊五・六町、四条二坊五・六・七・八町の中央部を縦断する位置にあたり、三条二坊五町、四条二坊六・八町には平安時代に貴族の邸宅があったと文献に記載されている土地である。三条二坊六町の発掘調査^{註1}では弥生時代から江戸時代にかけての多数の遺構を検出している。また平安時代から室町時代にかけての姉小路北側溝も検出している。今回の調査区間にも姉小路、三条大路、六角小路、四条坊門小路、錦小路、四条大路が推定地にあたる。

調査は2003年6月9日から8月4日まで行い、平安時代の遺物を含んだ四条坊門小路南側溝と考えられる落込を検出した。

遺構・遺物 (図6～8)

調査地は、堀川通の西側歩道部分にあたり、埋設管が多数配管されており、ほとんどの調査地点で土層は攪乱を受けており、遺構、遺物の検出はできなかった。

落込を検出したNo.13地点は、堀川通と蛸薬師通の交差点から南へ3.8mの地点に位置する。この地点は歩道中央に歩道橋の階段が設置され、この地点のみ水道配管の掘削部分が西に移動したため掘削壁面に残存状態の良好な土層を検出することができた。地表下-0.43mまでは盛土層、-0.43mから-0.72mまでは近世の包含層、-0.72m以下ではにぶい黄褐色砂泥層の地山となる。落込は地山をきって検出幅1.6m以上、深さ0.6mの南肩を検出した。肩部斜面には幅0.13m、深さ0.11mのピットがみられ、護岸の

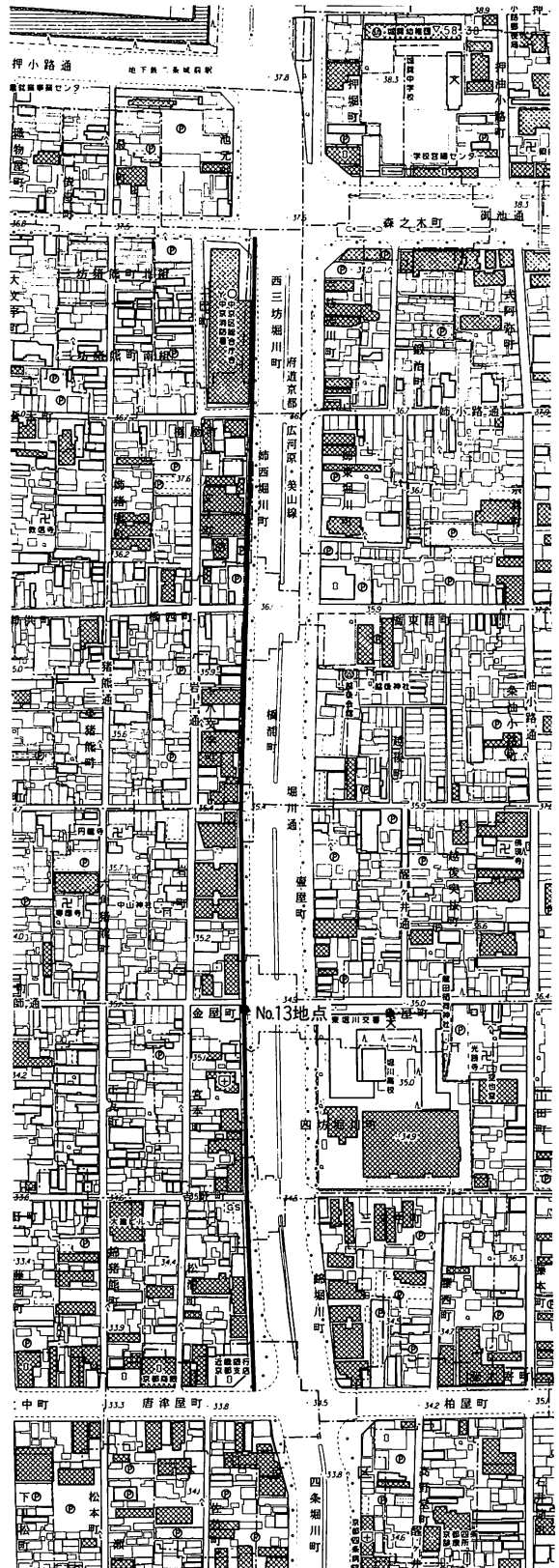


図5 調査位置図 (1:5,000)

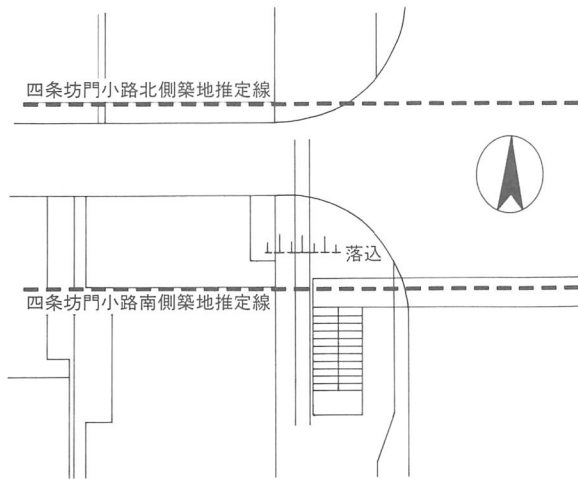


図6 遺構位置図 (1:500)

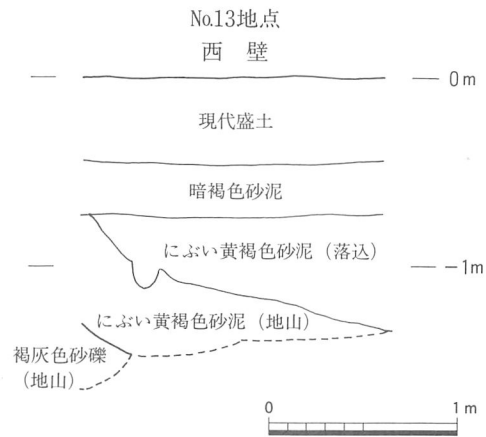


図7 遺構断面図 (1:40)

杭跡と考えられる。埋土は単一の粘質のにぶい黄褐色砂泥層で、平安時代の土師器皿、灰釉陶器、平瓦が出土している。

まとめ

No.13地点の落込の肩は、四条坊門小路南側築地推定線より北に約2.3mの地点に位置することと、溝埋土に平安時代の遺物が含まれるところから四条坊門小路南側溝の南肩と考えられる。立会調査においては四条坊門小路の側溝の検出例は初めてである。

(吉本健吾)

註1 丸川義広・辻裕司「左京三条二坊」『昭和56年度 京都市埋蔵文化財調査概要 (発掘調査編)』(財京都市埋蔵文化財研究所 1983年)



図8 No.13地点落込断面 (東から)

3 平安京左京六条二坊十町、烏丸綾小路遺跡 (03HL64)

調査経過 (図9)

調査は、下京区醒ヶ井通五条上る小泉町94番地での店舗建築工事に伴うものである。調査地は平安京左京六条二坊十町の北西付近にあり、弥生時代から古墳時代の集落遺跡である烏丸綾小路遺跡の南西部に位置する。この付近の調査では、十町北部で弥生時代と平安時代の土壌、調査地の南隣接地では古墳時代の遺物を含む流れ堆積、東隣接地では平安時代後期の遺物包含層^{註3}をいずれも立会調査で検出している。

調査は2003年5月26日から30日まで実施した。調査の結果、鎌倉時代の土壌2基・落込1基、時期不明の落込1基、平安・鎌倉時代の遺物包含層を検出した。

遺構 (図10~13)

調査地の基本層序は、東側では、No.2・3・5地点で見られるように、地表下-0.2~-0.3mの盛土直下で、遺物包含層や遺構を検出し、-0.3~-0.6mで黄褐色砂泥の地山となる。西側では、No.4地点で見られるように、-0.3mで暗褐色砂礫の氾濫堆積層を検出し、工事掘削深の-1.3mまで続いているのを確認した。この地点では、遺構は検出できず、また地山を確認することもできなかった。

鎌倉時代の土壌は2基をNo.2地点の地表下-0.25mで、南北に並列して検出した。北側の土壌(SK1)は幅0.65m、深さ0.27mを測り、地山を掘り込んで形成している。埋土からは土師器・瓦器が出土している。南側の土壌(SK2)はSK1に切られ、幅0.6m以上、深さ0.55mを測る。埋土からは土師器・瓦が出土している。

さらにこの土壌に切られる形で落込(SX3)を検出したが、土師器小片が出土したのみで、時期は特定できなかった。

鎌倉時代の落込(SX4)は、No.5地点の-0.5mで南北幅0.23m以上、東西幅0.4m以上、深さ

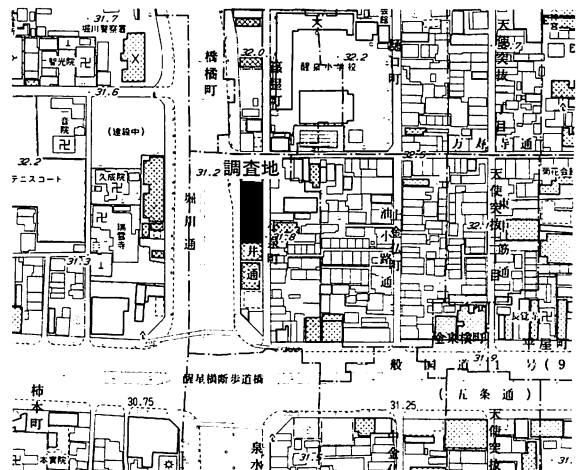


図9 調査位置図 (1 : 5,000)

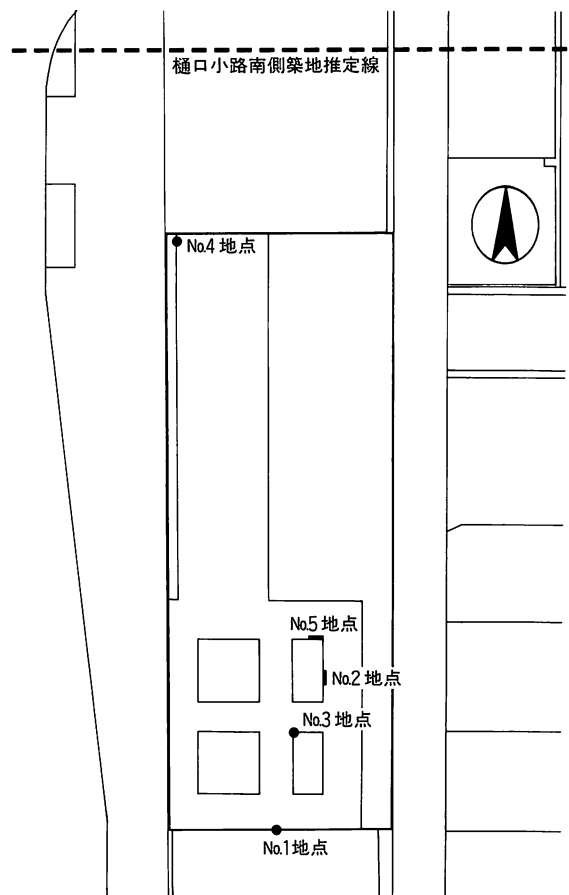


図10 遺構位置図 (1 : 500)

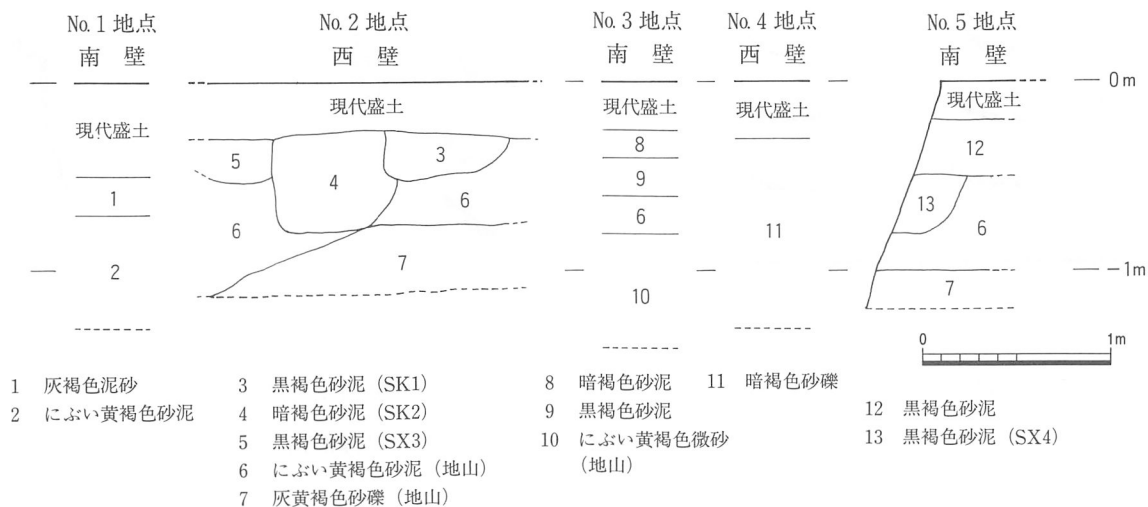


図11 遺構断面図 (1:40)

0.3mを測り、地山を掘り込んで形成している。埋土からは土師器が出土している。

遺物包含層は、No. 3 地点の-0.25mで時期不明の包含層と、-0.4mで鎌倉時代の包含層、No. 5 地点の-0.2mで鎌倉時代の包含層、No. 1 地点の-0.7mで平安時代末期の包含層を検出している。特にNo. 3 地点の鎌倉時代の包含層は、一箇所に集中して土器の包含が見られ、この地点に土壌等があった可能性もある。またNo. 1 地点で検出した平安時代末期の包含層も他の包含層に比べて約0.4m低いレベルで検出され、工事掘削深の-1.1mまで続いているので、これも土壌状の遺構の可能性がある。

遺物 (図版28-1、図14)

遺物は大半が土器類で、磨滅した丸瓦片が若干出土した。土師器皿が多数を占め、その他、瓦器、須恵器、輸入青磁片が出土した。図示した土器はNo. 3 地点の鎌倉時代の包含層からまとめて出土したものである。

土師器皿(1~9) 口径9.0cm以下(1~6)と11.0cm以上(7~9)の大小2種類に分類できる。口縁部はやや内弯気味に立ち上がるものと、屈曲して外反するもの



図12 No. 2 地点土壌群 (東から)



図13 No. 3 地点土器出土状況 (北から)

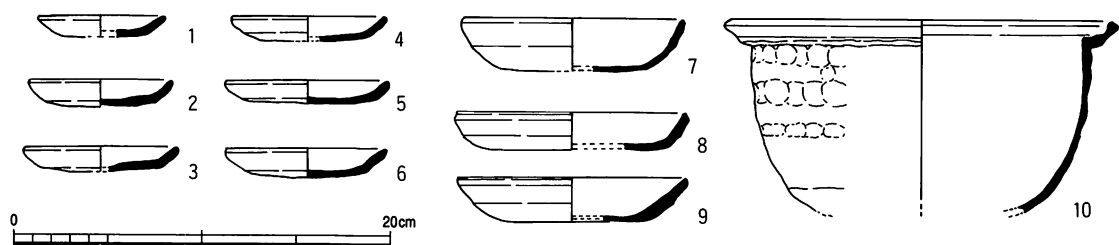


図14 出土遺物実測図（1：4）

がある。口縁端部は小型のものは外上方へ開き、大型のものは立ち上がる。底部外面は未調整で、内面はナデ、口縁部内外面は横ナデにより調整する。（1）の口縁部内外面には、煤が付着している。

瓦器鍋(10) 口縁部は屈曲して受け口となる。体部外面はオサエ、内面は横ハケ、口縁部内外面は横ナデにより調整する。

ま と め

今回の調査では、調査地の西側がすべて砂礫による氾濫堆積であったことを確認したが、このことは、調査地が堀川の東側にあたることから、この地点まで堀川の氾濫を受けていたものと考えられる。また調査地東側で遺構や包含層を検出したことは、平安時代末期から鎌倉時代にかけてこの地に生活空間が形成され、それが堀川の氾濫を受けずに現在まで残ったことを確認できた。しかし、隣接地で検出されている弥生時代や古墳時代の烏丸綾小路遺跡に関連する遺構は確認できなかった。

(近藤章子・吉本健吾)

註1 「調査一覧表」『京都市内遺跡試掘立会調査概報 昭和60年度』京都市文化観光局 1986年

註2 「調査一覧表」『京都市内遺跡立会調査概報 平成5年度』京都市文化観光局 1994年

註3 「調査一覧表」『京都市内遺跡試掘立会調査概報 昭和62年度』京都市文化観光局 1988年

4 平安京右京六条三坊七町、西院遺跡 (03HR39)

調査経過 (図15)

調査は、右京区西院西寿町での大型店舗建築工事に付随する、上下水道・ガス配管工事に伴うものである。当地は平安京右京六条三坊七町の東側中央部に位置する。2001年の調査地西側の大型店舗建築工事に伴う発掘調査では七・八町の調査を行い、七町部分では掘立柱建物10棟以上と平安時代前期の町を東西二分する道路とその側溝、町内を流れる河川、^{註1}平安時代中期の木棺墓等を検出している。そのためこれらと同様の遺構が今回の調査でも検出されると考えられた。

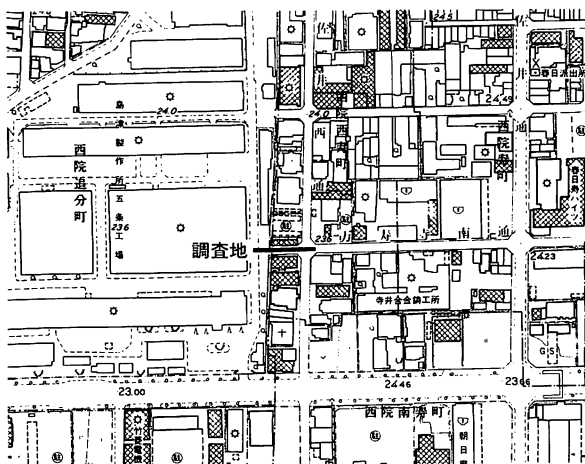


図15 調査位置図 (1 : 5,000)

調査は、下水道工事に伴うものを2003年5月12日から7月24日まで、ガス工事に伴うものを7月28日から8月5日まで、上水道工事に伴うものを8月11日から13日まで行い、調査の結果、平安時代前期の遺物を含む東西方向の溝を検出した。

遺 構 (図16~18)

調査地の基本層序は、No.4地点で地表下-0.5mで耕作土、-0.7mで平安時代前期の遺物を含む暗灰黄色砂泥層、-1.15m以下で黄褐色砂泥の地山となる。平安時代前期の溝はこの地山層を切って形成されていた。

溝はNo.4地点では地表下-1.15mで北肩を、No.5地点では-1.12mで南肩を検出した。いずれの地点も工事掘削幅が約1mと狭く同一地点で両肩を検出することはできなかったため、溝幅は確

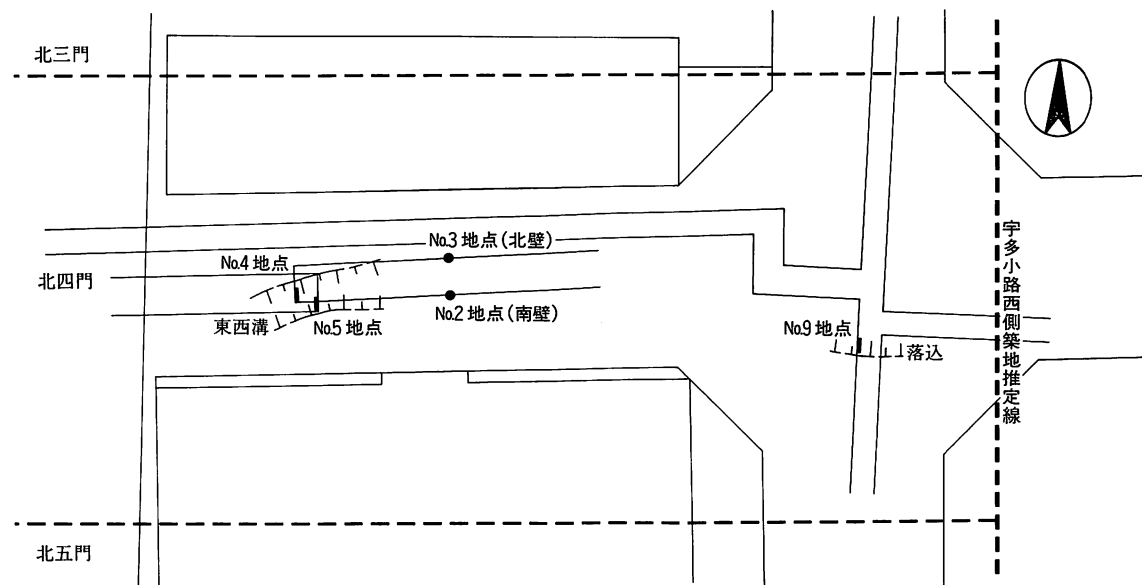


図16 遺構位置図 (1 : 250)

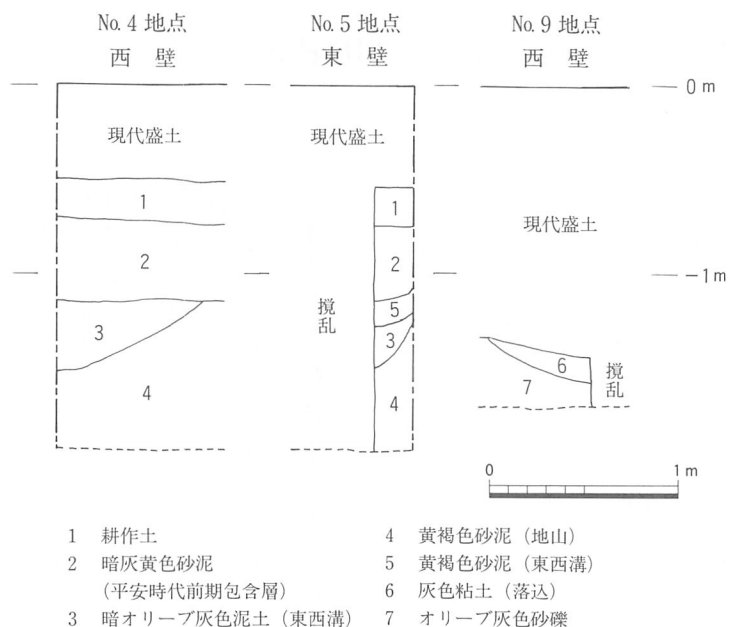


図17 遺構断面図 (1:40)



図18 No. 4 地点東西溝 (東から)

認できなかった。深さはNo. 5 地点で0.4mを測る。当初はNo. 4 地点の検出状況から東西方向に直進しているものと考えられたが、No. 4 地点よりさらに西へ工事掘削が進むと、溝が南に斜行して^{註2}いくことを確認した。溝の埋土は、No. 4 地点は単一層であるが、No. 5 地点では2層に分かれる。しかし、出土遺物に時期差はみられなかった。溝の埋土からは、平安時代前期の遺物が出土した。

東側ではNo. 2・3 地点で工事掘削深の-1.84mまで溝の堆積層と考えられる層を検出している。同一地点の下水道工事の北壁 (No. 3 地点) と南壁 (No. 2 地点) を実測したもので工事掘削幅は1.2mを測り、溝が幅広く深くなったものと考えられる。ただ埋土からは遺物は出土していない。さらに東では、No. 9 地点の-1.34mで湿地状堆積の落込の南肩を検出したが、遺物は出土せず、これが東西溝の延長にあたるかは不明である。

No. 4 地点で検出した平安時代前期の包含層はNo. 2 地点でも同様の遺物を伴い検出している。

遺物 (図版27・28-2、図19)

出土した遺物は整理箱に1箱で、すべて土器類である。土器類は平安時代前期のもので、土師器皿・高杯・甕、黒色土器小

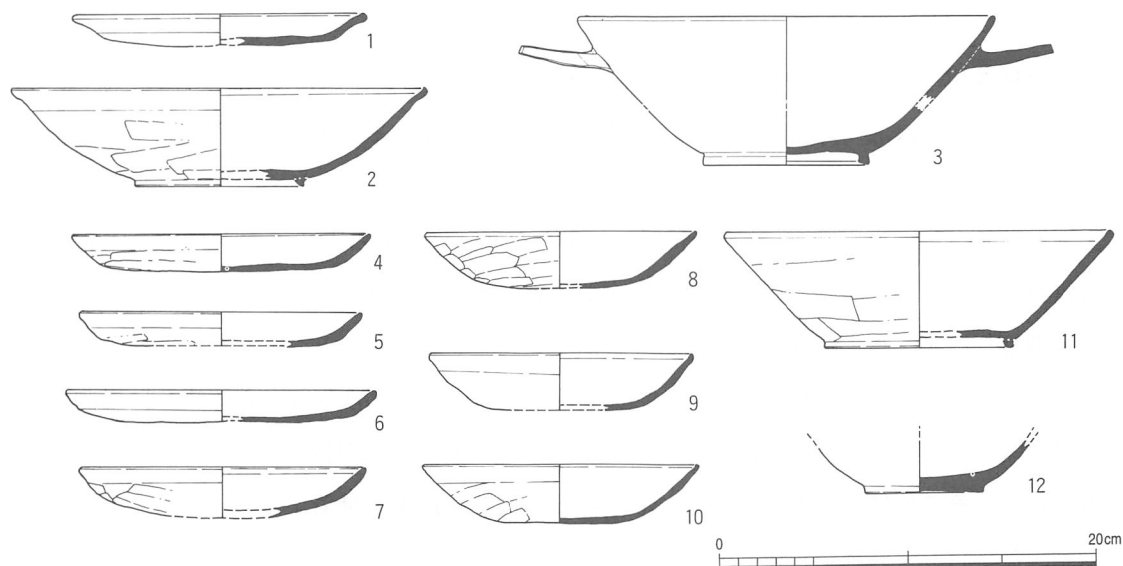


図19 出土遺物実測図（1：4）

片、須恵器蓋・甕・壺、緑釉陶器碗、灰釉陶器碗などがある。

No. 2・4 地点包含層出土遺物（1～3）

土師器皿A（1） 口径15.6cm、器高1.6cm。口縁部は底部から緩やかに開き、端部は肥厚する。底部外面はオサエ、その他はナデ調整による。胎土は雲母・砂粒を含む。

土師器杯B（2） 口径22.0cm、器高6.2cm。断面三角形の貼り付け高台が付く。器壁は全体に磨滅しているが、底部・体部外面にヘラケズリが確認できる。口縁部と内面はナデ調整による。

灰釉陶器双耳碗（3） 口径22.3cm、復元器高7.8cm。体部上位両側に耳が付く。耳部はヘラ調整、口縁端部はナデ、底部外面は糸切り後、ヘラケズリ、ナデ調整を施し、高台を貼り付ける。底部外面にトチンの痕跡がある。一部に降灰釉が認められるが施釉の痕跡はなく、いわゆる原始灰釉陶器とみられる。また通常の双耳碗より大型で、形式はK14新段階（K5）である。猿投産である。

溝出土遺物（4～12）

土師器皿A（4～6） 口径15.0～16.4cm、器高1.5～2.0cm。口縁部は底部から緩やかに屈曲して開く。5・6は磨滅が著しく調整は不明瞭であるが、5の外面にヘラケズリは認められる。4は底部内面オサエ後ナデ、外面はオサエ、口縁部外面はヘラケズリ、その他はヨコナデにより調整されている。胎土は砂粒を含み、4はさらに雲母が含ま



図20 No.2 地点土器出土状況（北から）

れる。

土師器杯A(7) 口径15.2cm、器高2.7cm。体部は底部から緩やかに屈曲して内弯気味に開く。底部はオサエ、口縁部内外面はナデ、体部外面はヘラケズリによる調整を施す。胎土は砂粒、雲母を含む。

土師器杯B(11) 口径20.6cm、器高6.5cm。平らな底部に断面台形の高台が付く。体部は底部から屈曲して外上方に開く。口縁端部はわずかに肥厚する。体部・口縁部外面はヘラケズリ、他はナデ調整を施す。胎土は砂粒が多い。

土師器碗(8~10) 口径14.0~14.6cm、器高2.9~3.1cm。体部は底部から緩やかに屈曲して内弯気味に開く。8・10は底部・体部外面にヘラケズリ、他はナデ調整を施す。9は体部外面に指圧痕が残り、その他はナデ調整を施す。8の口縁部内外面に煤が付着する。

緑釉陶器碗(12) 底部から体部の一部のみ残存しており、削り出し高台をもつ。底部外面はヘラケズリ後、ナデ調整、その他はナデにより調整している。釉薬は剥離している。

ま と め

今回の調査では、平安時代前期の遺物を含む東西方向の溝を検出した。調査地西側の発掘調査では、今回と同じ七町にあたる部分で、この東西溝とほぼ同時期である1町を東西二分する道路の側溝を検出している。今回の溝は東一行の北四門を南北に二分する地点にあたるが、溝は南に斜行し東西に直行しておらず、区画に関するものではないと考えられる。むしろ「9世紀前後に開削し、すぐに廃絶され9世紀前半に宅地内から道路部分へと川の付け替えが行われた^{註1}」七町内東側を流れていた川と同じ様な性格の遺構と考えられる。

(近藤章子・吉本健吾)

註1 『平安京右京六条三坊七・八町 発掘調査現地説明会資料』(財)古代学協会・古代学研究所 2001年

註2 調査中、集中豪雨となり実測等の記録作業はできなかった

III その他の遺跡

1 鳥羽離宮跡 (02TB126)

調査経過 (図21)

伏見区竹田西内畑町、竹田浄菩提院町、中島北ノ口町で行われた、阪神高速道路公団による京都市道高速道路2号線(油小路線)の橋脚工事に伴う立会調査である。当工事に関しては遺跡範囲内の橋脚は事前の発掘調査^{註1}が行われ、未調査部分の工事掘削地点については立会調査を行った。

当地の下層には、平安時代後期に鳥羽離宮が造営され、縄文時代から飛鳥時代の集落跡がある鳥羽遺跡が広範に広がっている。さらにその南方には、弥生時代から古墳時代の集落跡である下鳥羽遺跡がある。前述の発掘調査では平安時代前期から鎌倉時代にかけての石敷き地業、溝、柱穴、土壇などが出土している^{註1}。

調査は2002年7月23日に橋脚No.30地点、11月8日に橋脚No.42地点、11月21日と2003年1月14日に橋脚No.43地点を行い、橋脚No.30地点では平安時代後期の包含層を、橋脚No.43地点では古墳時代前期の遺物包含層を検出した。

遺構・遺物 (図版27、図22・23)

鳥羽離宮跡の遺跡範囲内である橋脚No.30地点の層位は、地表下-1.5mまで現代盛土層、-1.5mから-2.0mまで耕作土層、-2.0mから-2.3mまで平安時代後期の遺物包含層、-2.3m以下が砂礫層となる。平安時代後期の包含層からは土師器、瓦が出土している。

下鳥羽遺跡の隣接地である橋脚No.43地点は調査時には地表下-1.0mまで削平されており、層位は-1.5m以下は粘土層と粗砂層の互層が続い

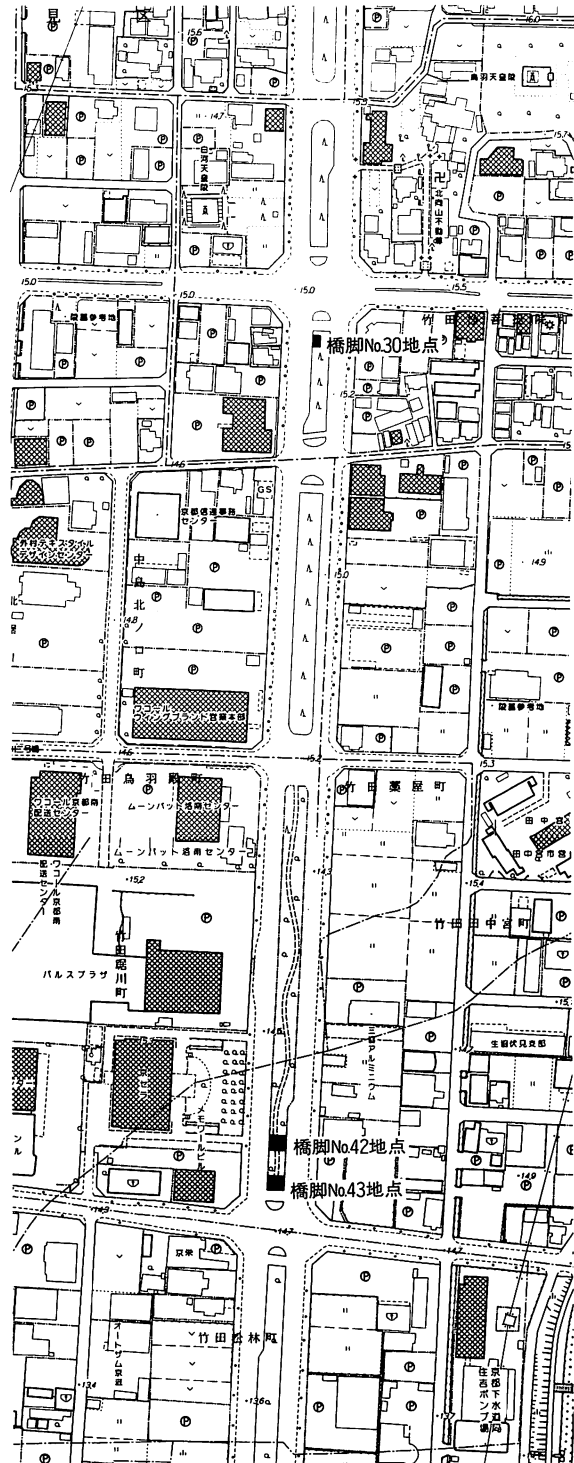


図21 調査位置図 (1:5,000)

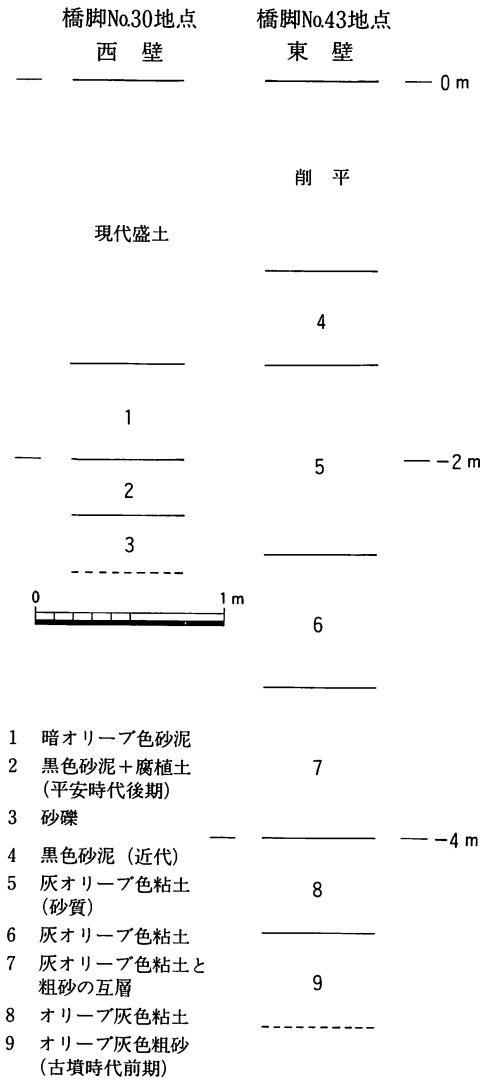


図22 柱状断面図 (1 : 40)

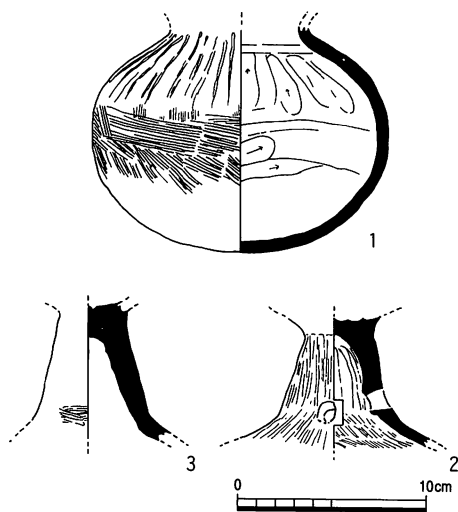


図23 出土遺物実測図 (1 : 4)

註1 尾藤德行・吉村正親・南出俊彦『鳥羽離宮跡・下鳥羽遺跡 京都市埋蔵文化財研究所発掘調査概報2001-8』(叻京都市埋蔵文化財研究所 2002年

ている。古墳時代前期の土器は-4.5mのオリーブ褐色粗砂層から出土している。

また橋脚No.43地点の北側の橋脚No.42地点からは、工事掘削中に地表下約-6mの砂層の地点から古墳時代前期の土師器壺が工事関係者によって発見されている。

橋脚No.42地点で出土した土師器壺(1)は、口縁部は欠損している。体部は丸いがやや扁平で、底部は丸底である。内面は上位は下から上方への縦方向の指ナデ、中位は横方向のヘラケズリ、下部から底部は粗いナデ・指オサエによる調整を施す。外面は上部は横ナデ後、縦方向のミガキ、体部はハケ目、下部から底部はナデ調整を施す。外面の底部から中位に煤が付着しており、また内面に焦げつきが認められるため、煮沸に用いられたと思われる。

橋脚No.43地点出土の土師器高杯(2・3)は、共に脚柱部のみである。2は外面は粗い縦方向のハケ目、内面は上部は強い縦方向のナデ、下部はハケ目、杯部との境に指オサエ痕が残る。胎土はやや粗く、砂粒を多く含み、焼成は良好である。3は外面は横ナデで整形後、丁寧な横方向のヘラミガキを施す。内面は横ナデ後、縦方向にもナデ調整を施す。胎土は精良で石粒を含み、焼成は良好である。

まとめ

今回、古墳時代の遺物が出土した地点(橋脚No.42・43)は、鳥羽離宮跡から南東に約200m、下鳥羽遺跡からは北東に約50mの位置にあたり、これらの遺跡範囲外である。下鳥羽遺跡が弥生時代から古墳時代の集落跡であることを考えれば、下鳥羽遺跡の範囲が北東へ広がることも考慮に入れることができる。この地点で遺物が出土したことは、同時期の集落の展開を考えるうえで貴重な成果を得ることができた。

(近藤章子・吉本健吾)

調査一覧表

I 2003年 1～3月期 (平成14年度)

平安宮 (HQ)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
大蔵省	上・仁和寺街道六軒町西入四番町125	3/10	巡回時、工事終了。	HQ353	1
大蔵省	上・仁和寺街道六軒町西入四番町125	3/10	巡回時、工事終了。	HQ354	1
大蔵省	上・仁和寺街道六軒町西入四番町125-10	3/10	巡回時、工事終了。	HQ355	1
大蔵省	上・仁和寺街道六軒町西入四番町125-9	3/18	巡回時、工事終了。	HQ388	1
右近衛府	上・下長者町通七本松西入鳳瑞町232-4	2/20	-0.3mまで現代盛土。	HQ335	1
宴松原	上・七本松通下長者町下る三番町273	2/14～19	-1.8m以下、黄褐色粘質土の地山。	HQ326	1
宴松原	上・下長者通七本松西入下る鳳瑞町247-23・6	3/11	巡回時、工事終了。	HQ365	1
内裏	上・下立売通千本東入中務町490-96・30・54の一部	2/4	-0.8m以下、にふい黄褐色砂泥の地山。	HQ319	1
内裏	上・下立売通千本東入中務町490-54の一部	2/4	-0.8m以下、にふい黄褐色砂泥の地山。	HQ320	1
真言院	中・聚楽廻中町～聚楽廻西町 地先	3/3	-1.0mまで現代盛土。	HQ344	1
真言院	中・聚楽廻西町163-99	3/11	巡回時、工事終了。	HQ356	1
真言院	中・聚楽廻西町163-63・66・67の一部	3/11	巡回時、工事終了。	HQ357	1
真言院	中・聚楽廻西町163-63・66・67の一部	3/11	巡回時、工事終了。	HQ358	1
真言院	中・聚楽廻西町163-63・66・67の一部	3/11	巡回時、工事終了。	HQ359	1
中和院	上・下立売通千本西入稲葉町472	3/18	巡回時、工事終了。	HQ387	1
中和院	上・下立売通千本東入田中町418-3・4	3/14	巡回時、工事終了。	HQ379	1
造酒司	中・聚楽廻松下町12	3/24	-0.9m、江戸末期の包含層。	HQ398	1
典薬寮	中・西ノ京車坂町1-7	3/11	巡回時、工事終了。	HQ360	1
典薬寮	中・西ノ京車坂町1-9	3/12	巡回時、工事終了。	HQ372	1
豊楽院	中・聚楽廻中町56-23、西町136-12	02/7/30～03/1/7	-0.15mまで現代盛土。	HQ141	1
朝堂院	中・聚楽廻東町14-19	3/4・5	-1.2mまで現代盛土。	HQ346	1
朝堂院	中・聚楽廻東町25の一部	3/12	巡回時、工事終了。	HQ369	1
主水司	上・丸太町通智恵光院西入中務町930、千本通二条下る東入主税町948-1	2/27、3/4～6	No.1 ; -0.87m、時期不明の包含層 (土師器、瓦)。No.3 ; -0.88m、褐色粘土の地山を切って時期不明のピット・落込。落込は東隣の発掘調査で検出した古墳時代の溝の延長。	HQ343	1
大膳職	上・日暮通丸太町下る南伊勢屋町760-8・9	3/12	巡回時、工事終了。	HQ370	1
大炊寮	中・丸太町通黒門東入藁屋町535-18	3/13	巡回時、工事終了。	HQ374	1
御井	中・左馬寮町6-24他 地内	02/12/12～03/1/22	No.2 ; -0.8m、平安の包含層 (平瓦)。-1.5m以下、灰オリーブ色粘土の地山。No.3 ; -0.5m以下、オリーブ黄色砂泥の地山。	HQ287	1
御井	中・西ノ京車坂町11-3	3/12	巡回時、工事終了。	HQ371	1
神祇官	中・二条城町541	02/10/16、03/3/28	-0.85m、鎌倉中～後期の包含層 (土師器皿・焙烙・甕)。	HQ410	1
式部省	中・西ノ京式部町1 朱雀高校	3/13	巡回時、工事終了。	HQ373	1
判事	中・西ノ京内畑町15-1	3/14	巡回時、工事終了。	HQ378	1

平安京左京 (HL)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
北辺四坊五町	上・京都御苑3 饗宴場跡地	02/4/18～03/10/16	-0.15m以下、江戸の包含層・焼土層。	HL024	3
二条三坊十六町	上・京都御苑3-1	02/11/5～03/2/13	No.3 ; -0.66m、江戸後期の包含層。No.4 ; -0.15m、江戸末期の包含層、-0.7m、江戸後期の包含層。	HL246	3
三条一坊二町	中・西ノ京職司町35	3/17～20・25	-0.24mで江戸後期の包含層。-0.94m以下、褐色砂礫の地山。	HL384	2
三条三坊五町	中・室町通姉小路下る役行者町371、373	3/24～4/3	-1.55m、鎌倉の包含層 (土師器皿)。-1.8m、時期不明の包含層 (土師器皿、輸入白磁碗)。-2.05m、平安後期の包含層 (土師器皿)。	HL401	3

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
三条三坊十六町	中・東洞院通二条下る瓦之町381	02/12/20～03/2/3	-0.5m、近世の包含層。	HL294	3
三条四坊 一町	中・東洞院通二条下る瓦之町380-1他	3/24～26	-1.8m、桃山の包含層（土師器皿）。	HL397	3
三条四坊 七町	中・御池通柳馬場西入御所八幡町229	02/12/20～03/1/17	-0.7m、江戸後期の包含層。-1.93m、鎌倉中期の包含層（土師器皿）。	HL293	3
三条四坊 八町	中・柳馬場通二条下る等持寺町14・17	1/6～17	桃山～江戸初期の土壌を3基。本報告5ページ。	HL296	3
三条四坊十一町	中・麩屋町通姉小路の上る中白山町277	1/22	-0.34mまで現代盛土。	HL304	3
四条二坊十六町	中・西洞院通三条下る柳水町74他	3/31～5/2	No.2；-0.41～0.63m、整地層。-0.48m、鑄造に用いた遺物が出土、関連施設の整地層か。No.3；-0.82m・-1.24m、時期不明の包含層（上層土師器、下層瓦）。-1.15m・-1.24m、路面状堆積。西洞院大路。	HL413	4
四条三坊 七町	中・蛸薬師通室町西入姥柳町206-2	3/19～26	-2.2mまで既存基礎。発掘調査済地点。	HL393	5
四条四坊 二町	中・六角通高倉西入勝屋町174	3/24・26	-0.5m、江戸末期の包含層。	HL402	5
五条二坊 五町	下・堀川通両側、四条通～松原通 地内	1/27～4/3	-0.9m以下、オリブ褐色細砂の地山。	HL311	4
五条二坊 五町	下・堀川通高辻下る高辻堀川町365	3/27・28・31	-0.9m、時期不明の包含層（土師器皿、須恵器鉢）。	HL406	4
五条三坊 六町	下・新町通仏光寺下る岩戸山町439、441、高辻通室町西入繁昌町291	3/26・28	-0.84m、近世の包含層。	HL407	5
五条四坊 九町	下・綾小路通麩屋町西入塩屋町59他	2/3～5・7	-0.98m、室町中期の包含層（土師器皿、須恵器甕、灰釉陶器盤、瓦器火鉢、輸入白磁碗、青磁碗）。-1.6m、鎌倉～室町の包含層（白磁碗）。	HL317	5
五条四坊 十町	下・麩屋町通綾小路下る俵屋町291	3/31～5/21	-1.2m、鎌倉の包含層（輸入白磁、土師器小片）。-1.45m、路面状堆積、富小路にあたる。	HL411	5
六条三坊十二町	下・烏丸通五条下る大阪町396-3	3/10～26	-1.35m、近世の包含層。	HL352	5
六条四坊十五町	下・寺町通五条上る西橋詰町777-1・2	2/25、3/4	-1.0m、氾濫堆積。	HL339	5
七条一坊十三町	下・大宮通七条上る御器屋町56他 8筆	1/14・16	-0.8m、江戸の包含層。	HL298	6
七条三坊十四町	下・不明門通下珠数屋町上る卓屋町60	2/17～20	No.2；-0.98m、平安の包含層（土師器皿、須恵器鉢）。No.3；-1.12m、時期不明の包含層（平瓦）。	HL331	7
七条四坊 五町	下・七条通間之町東入材木町474、505-9	3/12・14	-0.25mまで現代盛土。	HL366	7
八条三坊 四町	南・西九条院町1-2	02/11/5～03/2/17	-0.85m、炭ガラ層。	HL249	7
八条四坊 九町	下・上之町1-46・1-23の一部 地内	2/4	-0.65mまで現代盛土。	HL321	7
九条二坊 九町	下・北不動堂町～南区西九条鳥居口町地先（一般国道1号）	02/12/2～03/11/26	No.6；-3.8m以下、褐色砂礫の地山。No.8；-3.83m以下、褐色砂礫の地山。	HL276	6
九条三坊 一町	南・西九条院町26-1	3/18～27	No.1・2；-1.42m・-1.15m、江戸時代末期の氾濫堆積。No.7・8・11；-1.2mで鎌倉中期の包含層（土師器）。	HL389	7
九条四坊 三町	南・東九条南山王町5-1他	2/19	-0.25mまで現代盛土。	HL332	7

平安京右京（HR）

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
北辺二坊 六町	北・大將軍川端町112	2/24～3/4	-0.65m、江戸後期の包含層。	HR336	9
一条四坊 四町	右・花園藪ノ下町、花園木辻南町、花園中御門町（JR山陰線・花園駅～円町駅間）	02/12/18～03/1/6	巡回時、工事終了。	HR290	8
三条一坊 一町	中・西ノ京屋ヶ池町17-1	2/4・5	-0.3mまで現代盛土。	HR318	9
三条一坊十五町	中・西ノ京船塚町16-9・10	3/26～4/3	No.3；-0.26m、にぶい黄褐色砂泥の地山を切って室町の落込（土師器小片、瓦質土器火舎）。No.4；-0.72mで鎌倉の土壌（土師器、白磁）。	HR405	9
三条四坊 十町	右・山ノ内御堂殿町36-1	1/24～2/4	-1.4m以下、浅黄色砂泥の地山。	HR305	8
三条四坊十三町	右・山ノ内五反田町地先	3/14・17・24・31、4/3、6/9	No.1；-1.7m、時期不明の包含層（土師器、須恵器小片）。-2.5m以下、灰色砂泥の地山。	HR350	8
三条四坊十三町	右・太泰安井西沢町～山ノ内西八反田町地内	3/31～4/14	-2.4m以下、褐灰色砂礫の地山。	HR409	8
四条四坊十五町	右・山ノ内西裏町～山ノ内池尻町 地内	3/31・10/15	巡回時、工事終了。	HR408	10
五条二坊十一町	右・西院平町20	2/24～27	-0.2m、時期不明の流れ堆積。	HR337	11

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
五条二坊十二町	右・西大路通西側、松井通～万寿寺南通地内	1/27～3/14	-1.08m以下、暗灰黄色微砂の地山。	HR310	11
五条三坊 四町	右・西院矢掛町5 西院中学校	1/22	-0.3m、近世の包含層。	HR303	10
六条一坊 三町	下・中堂寺南町 地先 (一般国道9号)	02/12/9～03/1/21	-0.97m、暗オリーブ色砂泥の地山を切って平安の落込 (土師器)。	HR281	11
六条一坊 三町	下・中堂寺南町126	3/11	巡回時、工事終了。	HR368	11
六条一坊十四町	下・中堂寺栗田町 地先 (一般国道9号)	02/12/11～03/1/29	No.6 ; -1.2m、黄褐色砂泥の地山を切って時期不明の落込。No.7 ; -0.92m、江戸の包含層。-1.13m以下、灰褐色砂泥の地山。	HR285	11
七条二坊 五町	下・西七条北西野町38-4	3/24	巡回時、工事終了。	HR403	13
七条二坊十一町	下・西七条比輪田町8	3/11・13	-0.83m以下、灰色砂礫の流れ堆積。	HR361	13
七条三坊 八町	右・西京極北庄境町72	1/27～30	No.1 ; -0.9m、平安前期の包含層 (土師器皿・甕、須恵器鉢・甕・壺、黒色土器杯)。-1.18m以下、褐色砂泥の地山。No.2 ; -1.05m、平安の包含層 (須恵器甕)。	HR309	12
七条三坊 八町	右・西京極北庄境町73	2/14・17	-0.75m、時期不明の湿地状堆積。	HR327	12
八条三坊 十町	右・西京極下沢町6の一部、6-2の一部	3/18・20・24	-0.56m以下、にぶい黄褐色砂泥の地山。	HR390	12

洛北地区 (RH)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
八幡古墳群隣接地	左・岩倉幡杖町	02/11/15～03/10/20	No.1 ; -0.94m、江戸中期の包含層 (土師器)。No.3 ; -0.88m、鎌倉の包含層 (土師器)。No.25 ; -1.32mで灰色微砂の地山を切って落込。	RH261	14-1
岩倉忠在地遺跡	左・岩倉忠在地 地内	02/7/9～03/10/9	-1.8m以下、暗オリーブ色砂礫の地山。	RH115	14-2
植物園北遺跡	左・松ヶ崎芝本町17	1/24・27	-0.2m、室町後期の包含層 (土師器皿)。-0.6m、弥生後期～古墳前期の包含層 (土師器高杯、他)。	RH306	14-4
北野遺跡	上・今出川通西側、天神川～今小路通 地内	02/11/5～03/2/24	No.1 ; -1.28m、近世の包含層。No.2 ; -0.27m、時期不明の路面。No.4 ; -1.02m以下、黄褐色微砂の地山。No.10 ; -0.5m以下、褐色砂泥の地山。	RH245	15-1
北野遺跡・北野廃寺	北・北野下白梅町54-8	3/11	巡回時、工事終了。	RH362	15-1
相国寺旧境内・室町殿跡 (花の御所)	上・今出川町他 地内	02/11/6～03/5/2	No.10 ; -1.33m、室町前期の包含層 (土師器皿)。No.11 ; -1.4m、室町前期の包含層 (土師器皿)。No.13 ; -0.4m、室町の包含層 (青磁椀、樽)。No.20 ; -1.0m、室町後期の包含層 (土師器皿)。-1.22mで鎌倉の落込 (土師器皿、平瓦)。	RH250	15-4

太秦地区 (UZ)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
仁和寺院家跡	右・鳴滝桐ヶ淵町他 地内	3/17～7/10	No.22 ; -0.58m、時期不明の包含層 (土師器皿)。No.16 ; -0.13～0.37m、5層の路面。No.17 ; -0.14～0.48mで4層の路面。3層までは現代層。No.5 ; -0.7m以下、明褐色砂泥の地山。No.7 ; -0.15m以下、オリーブ褐色砂泥の地山。No.13 ; -0.5m以下、褐色砂泥の地山。No.26 ; -1.05m以下、にぶい黄褐色砂泥の地山。	UZ381	16-1

北白川地区 (KS)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
北白川廃寺	左・北白川山田町 地先	2/14・17	-0.55m、白鳳の包含層(平瓦)。	KS328	16-5
北白川廃寺	左・北白川大堂町57	2/17・18	-1.2m、オリーブ黒色泥砂層を検出。	KS330	16-5
北白川廃寺	左・北白川大堂町35-1	3/18	巡回時、工事終了。	KS391	16-5
北白川道分町遺跡	左・北白川東高町28-1・2	1/27・28	-1.5mまで白川の氾濫堆積の砂層。	KS308	17
吉田二本松町遺跡・ 吉田上大路町遺跡・ 白河街区跡	左・吉田下大路町他	02/11/7~9/11	No.1 ; -0.56m、江戸の包含層。-0.71m、時期不明の包含層(土器)。No.2 ; -0.46m、路面状堆積。-0.57m、時期不明の包含層(土師器)。-0.77m以下、黄褐色粗砂の地山。No.3 ; -0.47mで近世の包含層。No.4 ; -5.15m以下、にふい黄橙色細砂の地山。	KS252	17
白河街区跡	左・岡崎北御所町20-10	1/6、2/3	-0.95mまで現代盛土。	KS316	17
白河街区跡	左・仁王門通新東洞院西入新東洞院町252 新洞小学校	3/11~18	-0.48m、江戸末期の包含層。-0.55m、土間の整地層。	KS364	17
白河北殿跡	左・丸太町通南側、川端通~東大路通 地内	02/10/15~03/2/12	-0.55m以下、にふい黄褐色砂泥の地山。	KS223	17
白河北殿跡	左・聖護院蓮華蔵町、川原町、東竹屋町、 東丸太町 地内	02/11/8~03/2/17	No.2 ; -0.6m以下、にふい黄褐色砂泥の地山。 No.7 ; -1.3m、流れ堆積。	KS255	17
白河北殿跡	左・聖護院蓮華蔵町 地先	1/20~2/3	巡回時、工事終了。	KS300	17
岡崎遺跡・ 延勝寺跡	左・東大路通二条下る北門前町482、482-1、 483-2	1/21	-0.2mまで現代盛土。	KS301	17
岡崎遺跡・ 白河街区跡	左・岡崎天王町27の一部	2/10・12	-0.33mまで現代盛土。	KS324	17
岡崎遺跡・ 白河街区跡	左・岡崎天王町51-5、27の一部	2/10・12	-0.47mまで現代盛土。	KS325	17
岡崎遺跡・ 白河街区跡	左・岡崎円勝寺町 地内	2/17~5/14	No.1 ; -0.73m、平安後期の包含層(土師器皿、瓦)、時期不明の落込(土師器)。-0.86m以下、にふい黄褐色粗砂の地山。No.2 ; -0.55m、時期不明の路面。-1.3m以下、にふい黄褐色粗砂の地山。	KS329	17
岡崎遺跡・ 得長寿院跡	左・岡崎徳成町28	3/11	巡回時、工事終了。	KS363	17
法成寺跡	上・寺町通清和院口上る二丁目北之辺町 397、397-4	3/20	-0.45mまで現代盛土。	KS396	18-1

洛東地区 (RT)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
中臣遺跡	山・勸修寺東栗栖野町42 勸修小学校	1/16~2/24	-0.5m、時期不明の包含層。-1.1m以下、にふい黄褐色砂泥の地山。	RT299	18-2
中臣遺跡	山・勸修寺西栗栖野町269の一部	1/28	-0.2mまで現代盛土。	RT312	18-2
中臣遺跡	山・栗栖野華ノ木町21-1	1/29・30	-0.12m、江戸末期~近代の包含層(無釉筒形陶器)。	RT314	18-2
中臣遺跡	山・勸修寺西栗栖野町269の一部	2/19	掘削工事を行わず。	RT333	18-2
中臣遺跡	山・勸修寺西栗栖野町269の一部	2/19・21	-0.5mまで現代盛土。	RT334	18-2
中臣遺跡	山・柳辻番所ヶ口町37-7	2/27、3/3	-0.4mまで現代盛土。	RT342	18-2
中臣遺跡	山・栗栖野華ノ木町19-6	3/3~5	No.1 ; -0.4m、時期不明の溝。No.2 ; -0.26m、時期不明の溝。No.3 ; -0.42mで、黄褐色砂泥の地山を切って時期不明の土壌。	RT345	18-2
中臣遺跡	山・栗栖野華ノ木町	3/5	-0.6m、時期不明の土壌。	RT347	18-2
中臣遺跡	山・栗栖野華ノ木町	3/5	-0.57m、時期不明の耕作溝。	RT348	18-2
中臣遺跡	山・栗栖野華ノ木町	3/6	-0.68m以下、黄褐色砂泥の地山。	RT349	18-2
中臣遺跡	山・東野舞台町96-8・9	3/17	-0.2mまで現代盛土。	RT382	18-2
中臣遺跡	山・東野舞台町96-2	3/17	巡回時、工事終了。	RT383	18-2
中臣遺跡	山・東野舞台町95-5の一部	3/19	巡回時、工事終了。	RT394	18-2
中臣遺跡	山・勸修寺東栗栖野町	3/19	巡回時、工事終了。	RT395	18-2
坂尻須恵器窯跡	山・上山山桜谷、旭山、花ノ岡	1/27~2/21	-1.0m以下、黄褐色砂泥の地山。	RT307	18-4

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
法住寺殿跡・ 六波羅政庁跡・ 方広寺跡	東・茶屋町527 京都国立博物館	02/12/19~03/2/19	-1.3mまで現代盛土。	RT291	19
鳥部(辺)野	東・泉涌寺山内町27	1/29~10/8	No.1~3; -0.1~0.3m、旧路面。No.1~7・ 11~13; -0.3~0.9m、近世の包含層(棧瓦)。 No.13; 近世の鬼瓦を採取。No.9; 石製の五輪塔 の宝珠受花部出土。「空」「風」の梵字陰刻を確 認。No.14; -0.2m、時期不明の土壌。No.20; -0.17 m、時期不明の土壌。埋土内で0.07~0.28mの 炭化層を確認。No.26・34; 長さ0.5m、高さ約0.1 mの加工石が出土。近世の土壌。No.29; -0.3m で明褐色砂泥の地山を切って近世以降の瓦溜。	RT313	19
鳥部(辺)野	東・今熊野泉山町	3/25~4/4	-0.54mまで現代盛土。	RT404	19
六波羅政庁跡	東・鞆町五条下る二丁目大阪町372、375	3/12~26	No.1; -0.32mと-0.4mで氾濫堆積層。No.2; - 1.5mで氾濫堆積層。	RT367	19
法性寺跡	東・本町十五丁目 東福寺山内	1/22・24	-0.26m、江戸後期の土壌(平瓦・棧瓦)。	RT302	20-1
法性寺跡	伏・深草正覚町(鳥羽街道団地)	3/17~5/6	-1.0m以下、黒褐色砂泥の地山。	RT380	20-1
法性寺跡	伏・深草正覚町(鳥羽街道団地)	3/18~5/6	-1.05m、湿地堆積。	RT392	20-1

鳥羽地区 (TB)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
唐橋遺跡	南・唐橋大宮尻町22 洛陽工業高校	2/5~14	-0.4m、時期不明の流れ堆積。	TB322	20-2
吉祥院西ノ内城跡	南・吉祥院西ノ内町4の一部	3/31、4/1	-0.15m、時期不明の包含層(土師器)。	TB412	20-3
鳥羽離宮跡	伏・竹田西内畑町、竹田浄菩提院町、 中島北ノ口町	02/7/23~03/1/14	No.1; -2.0m、平安後期の包含層(土師器、瓦)。 No.2; -6.0m砂泥より庄内期の壺。No.3; -5.0 m、オリープ灰色粗砂から庄内~布留期の高杯 脚部。本報告17ページ。	TB126	21
鳥羽離宮跡	伏・竹田西内畑町158-5・6・7	1/30~2/6	-0.65m、室町中期の包含層(土師器皿、輸入 白磁皿)。-1.15m、鎌倉の包含層(土師器、灰 釉陶器壺)。	TB315	21
鳥羽離宮跡	伏・竹田西内畑町158-5	3/17	-0.2mまで現代盛土。	TB385	21
鳥羽離宮跡	伏・竹田西内畑町158-6	3/17	-0.35mまで現代盛土。	TB386	21
鳥羽遺跡・ 鳥羽離宮跡	伏・竹田西内畑町158-3	3/10	巡回時、工事終了。	TB351	21
鳥羽遺跡・ 鳥羽離宮跡	伏・下鳥羽離宮町70	3/13	巡回時、工事終了。	TB375	21
鳥羽遺跡・ 鳥羽離宮跡	伏・竹田東小屋ノ内町7	3/13・17・18	-0.77m、平安末期の包含層(土師器皿)。	TB376	21
鳥羽遺跡・ 鳥羽離宮跡	伏・竹田東小屋ノ内町7	3/13	巡回時、工事終了。	TB377	21
鳥羽遺跡・ 鳥羽離宮跡	伏・竹田西内畑町158-2	3/24~26	-0.3mまで現代盛土。	TB399	21
鳥羽遺跡・ 鳥羽離宮跡	伏・竹田西内畑町158-1	3/24~26	-0.25mまで現代盛土。	TB400	21
下三栖遺跡	伏・横大路下三栖辻堂町~下三栖里ノ内町	02/10/3~03/5/16	-4.0mまで現代攪乱。	TB213	25-2

伏見・醍醐地区 (FD)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
伏見城跡	伏・深草大亀谷六鉢町～深草大亀谷万帖敷町地先	1/10・21	-1.34m以下、明褐色砂泥の地山。	FD297	23
伏見城跡 おうせんどう鹿寺隣接地	伏・深草大亀谷万帖敷町170-27 伏・深草鞍ヶ谷町	2/28, 3/4 02/11/13～03/3/24	-0.48m以下、にぶい橙色砂泥の地山。 No.2 ; -1.0m、湿地状堆積。No.3 ; -1.6m以下、 オリーブ褐色粗砂の地山。No.4 ; -0.63m以下、 灰色粘土の地山。No.6 ; -1.15m以下、黄褐色 砂礫の地山。	FD340 FD259	23 25-3

長岡京地区 (NG)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
左京二条三坊八町	南・久世東土川町180-5	2/24～27	-2.7mまで時期不明の湿地状堆積。	NG338	24
左京二条四坊三・四町	伏・久我西出町2-14の一部	2/27	-1.3m、湿地状堆積。	NG341	24
左京四条四坊五町	伏・羽束師菱川町741 神川中学校	02/10/11～03/4/21	-1.2mまで現代盛土。	NG221	24

南・桂地区 (MK)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
中久世遺跡	南・久世殿城町105-2の一部	2/6, 4/21	巡回時、工事終了。	MK323	26-1
勝持寺古墳群・ 大原野神社遺跡	西・大原野南春日町地内	02/11/18～03/7/25	No.5 ; -0.33m以下、黄褐色砂泥の地山。No.6 ; -0.6mで近世の包含層(瓦)。-1.2m以下、黄 褐色砂礫の地山。No.7～13 ; -0.1～0.48m以下、 黄褐色系の地山。No.17 ; -0.28m以下、岩盤。 No.18・19・21 ; -0.2～1.8m以下、黄褐色およ び褐色系の砂泥層の地山。	MK264	26-2

II 2003年 4～12月期（平成15年度）

平安宮（HQ）

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
大蔵省	上・一番町87-2	6/18・23・25	-0.12m、近世の包含層。	HQ095	1
大蔵省	上・上長者町通千本西入五番町168	7/14～17	-0.55m、江戸の包含層（土師器皿）。	HQ122	1
大蔵省	上・七本松通一条下る三軒町71-8	9/3・4	-0.17m、黒色砂泥層。	HQ184	1
大蔵省	上・仁和寺街道七本松東入一番町103-11	9/26	-0.1mまで現代盛土。	HQ206	1
大蔵省	上・仁和寺街道七本松東入一番町86-5	11/14	-0.3m・-0.5m、江戸以降の包含層。	HQ259	1
大蔵庁	上・仁和寺街道七本松西入上る二番町194	7/30・31、8/1・4～7	-0.3m、幅0.8m以上、深さ0.57mの時期不明の落込。-0.55m以下、褐色砂泥の地山。	HQ144	1
正親司	上・二番町190	11/18	掘削工事なし。	HQ265	1
右近衛府	上・御前通下立売上る天満屋町316-3	12/1	-0.1mまで現代盛土。	HQ280	1
図書寮	上・下長者町通七本松西入鳳瑞町245-34	10/22・28	-0.5mまで現代盛土。	HQ236	1
宴の松原	上・下立売通七本松東入長門町402	6/24～7/2	-0.3m、近世以降の包含層（染付）。	HQ105	1
宴の松原	上・六軒町通出水上る七番町329-3	6/25・26	-0.2mまで現代盛土。	HQ106	1
宴の松原	上・下長者町通七本松西入鳳瑞町255-31	8/5・27	-0.25mまで現代盛土。	HQ149	1
宴の松原	上・西東町364-19	10/20・27	巡回時、工事終了。	HQ231	1
宴の松原	上・西東町364-19	10/20・27	巡回時、工事終了。	HQ232	1
掃部寮	上・下長者町通六軒町西入利生町294-177・178	10/14	-0.3mまで現代盛土。	HQ224	1
掃部寮	上・六軒町通仁和寺街道下る四番町146-3	11/4	-0.2m、近世の包含層。	HQ247	1
内裏	上・裏門通出水上る白銀町246-6	12/3	-0.2mまで現代盛土。	HQ286	1
右兵衛府	上・御前通下立売上る天満屋町318-9	6/12	-0.1mまで現代盛土。	HQ088	1
右兵衛府	上・御前通下立売上る天満屋町316-1	9/29	-0.15mまで現代盛土。	HQ204	1
真言院	上・下立売通千本西入稲葉町472	4/18・21	-0.4mまで現代盛土。	HQ022	1
真言院	中・聚楽廻西町163-100	4/30、5/1	-0.2mまで現代盛土。	HQ031	1
真言院	中・聚楽廻西町163-105	6/10	巡回時、工事終了。	HQ085	1
真言院	中・聚楽廻西町163-106	6/16・18・19	掘削工事なし。	HQ094	1
真言院	中・聚楽廻西町163-107	7/29	-0.2mまで現代盛土。	HQ140	1
中和院	上・下立売通千本西入稲葉町454	10/17・20	-0.25m、暗褐色砂泥層。	HQ230	1
中和院	上・千本通下立売下る小山町892	10/28～31、11/4・5	No.4；-0.37m、緑釉瓦を含む黒褐色砂泥層。 No.5；-0.25m、幅1m以上、深さ0.65mの平安前期の土壌（土師器皿・杯、須恵器杯）。下層から凝灰岩片が廃棄された状態で多量に出土。加工した痕跡を確認。	HQ243	1
東雅院	上・榎木町通大宮西入中書町674、674-1、675-1	6/23	-0.3mまで現代盛土。	HQ102	1
東雅院	上・榎木町通大宮西入中書町674、674-1、675-1	6/23	-0.3mまで現代盛土。	HQ103	1
典薬寮	中・西ノ京車坂町4-16	6/3	-0.25mまで現代盛土。	HQ076	1
豊楽院	中・聚楽廻南町8-14	6/16～20	-0.7mまで現代盛土。	HQ093	1
豊楽院	中・聚楽廻中町40	6/23・25	遺構・遺物検出できず。	HQ101	1
豊楽院	中・聚楽廻中町41	7/17	掘削工事なし。	HQ129	1
豊楽院	中・聚楽廻西町188-89	9/18	-0.25mまで現代盛土。	HQ198	1
朝堂院	中・聚楽廻南町30-17	5/13・14	-0.5m以下、明黄褐色砂泥の地山。	HQ041	1
朝堂院	中・聚楽廻南町41-4	6/16・18・19	-0.4m、近世の包含層。	HQ090	1
朝堂院	上・千本通二条下る主税町813の一部	8/11～13	-0.28m、明黄褐色砂泥の地山を切って時期不明の落込。	HQ156	1
朝堂院	上・千本通二条下る主税町813の一部	8/11～13	-0.35mまで現代盛土。	HQ157	1
朝堂院	上・千本通丸太町上る小山町	9/3	巡回時、工事終了。	HQ183	1
内舎人	上・下立売通千本東入中務町490-46	5/26・28	BM-0.12mまで現代盛土。	HQ062	1
中務省	上・丸太町通千本東入中務町491-8	4/10・14	No.1；-0.5m、平安の包含層（瓦）。-0.8m以下、黄褐色粘土の地山。	HQ016	1
主水司	上・竹屋町通千本東入主税町943	5/23・26	No.1；+0.28m、時期不明の包含層（土製品）。 No.2；+0.07m、近世の包含層。	HQ055	1
大膳職	上・松屋町通丸太町上る三町目668-1、670-2・3	5/7、8/20	-0.4mまで現代盛土。	HQ034	1
大炊寮	上・竹屋町通日暮西入四町目802	6/19・20	-0.4mまで現代盛土。	HQ097	1

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
大炊寮	上・日暮通丸太町下る伊勢屋町773	7/25・28	-0.6mまで現代盛土。	HQ133	1
六炊寮	上・松屋町通丸太町下る左馬松町787	12/22	-0.46m、時期不明の整地層。	HQ300	1
太政官	上・千本通二条下る東入主税町827-10の一部	4/14	-0.3mまで現代盛土。	HQ018	1
太政官	上・千本通二条下る東入主税町827-10の一部	6/5	-0.34mまで現代盛土。	HQ078	1
太政官	上・千本通二条下る東入主税町827-10の一部	6/30、9/26	巡回時、工事終了。	HQ116	1
右馬寮	中・西ノ京右馬寮町7-18	4/3・4	-0.05mまで現代盛土。	HQ003	1
右馬寮	中・西ノ京右馬寮町7-17	4/3・4	-0.1mまで現代盛土。	HQ004	1
右馬寮	中・西ノ京右馬寮町7-20	4/23	-0.1mまで現代盛土。	HQ026	1
右馬寮	中・西ノ京右馬寮町7-19	5/15	-0.05mまで現代盛土。	HQ046	1
右馬寮	中・西ノ京右馬寮町7-21	8/25	-0.2mまで現代盛土。	HQ169	1
右馬寮	中・西ノ京右馬寮町8-70	10/2	-0.3mまで現代盛土。	HQ211	1
右馬寮	中・西ノ京右馬寮町8-73	10/3	-0.05mまで現代盛土。	HQ212	1
右馬寮	中・西ノ京右馬寮町8-74	10/16・17	-1.0mまで近現代層。	HQ226	1
右馬寮	中・西ノ京右馬寮町8-75	11/13	-0.72m、湿地状堆積。	HQ257	1
右馬寮	中・西ノ京右馬寮町8-76	11/13、12/24	巡回時、工事終了。	HQ258	1
治部省	中・西ノ京内畑町11-19	5/29・30、6/2	遺構・遺物検出できず。	HQ067	1
治部省	中・西ノ京内畑町3	7/28	-0.45mまで現代盛土。	HQ135	1
兵部省	中・西ノ京内畑町26-4	9/26	-0.2mまで現代盛土。	HQ205	1
判事	中・西ノ京内畑町16	12/10	-0.3mまで現代盛土。	HQ293	1

平安京左京 (HL)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
北辺三坊一町	上・新町通一条上る一条殿町～新町通武者小路下る武者小路町 地先	7/14～8/20	No.8 ; -1.2m、室町の湿地状堆積 (土師器皿)。この層はNo.5・6・7・13でも検出。南北方向の溝か。No.11で-0.5m、No.13で-0.15mで江戸の包含層 (陶器播鉢、染付鉢、施釉陶器皿、棧瓦)。No.12 ; -0.09m、幅0.3m、長さ1.12m以上の方形の石柱を検出。	HL123	3
北辺四坊八町	上・京都御苑3 饗宴場跡地	4/7～6/2	No.3 ; -0.15mで江戸の包含層。-0.66m以下、褐色微砂の地山。	HL009	3
一条二坊五町	上・下立売通西入西橋詰町274-30	7/16～24	-0.4mまで現代盛土。	HL126	2
一条三坊十一町	上・室町通下立売上る勘解由小路町169	5/22・23・26	No.1 ; -0.6m、近世の包含層。	HL054	3
一条三坊十三町	上・京都御苑3	6/30	巡回時、工事終了。	HL115	3
一条三坊十三町	上・京都御苑3	12/2～22	No.1 ; -1.04m、江戸の路面状堆積 (土師器、瓦器、白磁)。No.2 ; -0.27m、江戸の包含層 (土師器)。No.3 ; -0.28m、江戸の包含層 (土師器皿)。No.4 ; -0.35m、江戸の包含層 (棧瓦)。No.5 ; -0.64m、江戸の瓦溜。	HL285	3
二条三坊七町	中・衣棚通丸太町下る玉植町229	7/24・25・28	No.1 ; -0.55m、近世の包含層。No.2 ; -1.3m、室町の包含層 (土師器皿・瓦器火舎)。-1.6mで黄褐色砂泥の地山を切って中世の土壌2。	HL132	3
二条三坊十五町	中・東洞院竹屋町上る三本木町452	5/23・26～6/2	No.1 ; -0.7m、時期不明の包含層 (土師器皿)。No.2 ; -0.03m、近世の焼土層 (棧瓦確認)。	HL056	3
二条三坊十六町	上・京都御苑3の一部	6/2～7/14	-0.15～0.6m、近世の包含層を7箇所確認。No.3 ; -0.31m、-0.75mで焼土層。焼土層に挟まれて棧瓦が多量に出土。No.6・8・9・11・12地点で焼土層確認。	HL074	3
二条四坊二町	中・高倉通竹屋町上る坂本町706-3	9/4	-0.3mまで現代盛土。	HL187	3
二条四坊四町	中・間之町通二条上る夷町582	6/26・27	-0.56m、近世の焼土層。	HL107	3
二条四坊十五町	中・富小路通丸太町下る料屋町326	8/25・26	-0.35m、江戸の包含層。	HL171	3
二条四坊十二町	中・夷川通柳馬場東入俵屋町293-1	4/7～25	-1.9～2.75mまで湿地状堆積。-2.6m、室町～桃山の包含層 (土師器皿、須恵器鉢)。-2.75m以下、オリープ灰色粗砂の地山。	HL010	3

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
三条一坊 二町	中・西ノ京北聖町15-1、18-1・2、19-1・2	5/26~28	-0.47m、中世の包含層（土師器皿、黒色土器、灰釉陶器、平瓦）、平安の土器混入。-1.0m以下、黄褐色砂泥の地山。	HL063	2
三条一坊十二町	中・西ノ京池ノ内町30-2	12/3・4	-0.16m以下、近世以降の包含層2。-1.3m以下、江戸の池状堆積（陶器摺鉢）。	HL287	2
三条二坊 四町	中・猪熊通姉小路下る姉猪熊町327	11/17	-0.2mまで現代盛土。	HL261	2
三条二坊十四町	中・姉小路通油小路東入宮木町483	4/21~5/1	-0.6m、室町の包含層（土師器皿、焼締陶器甕）。	HL023	2
三条二坊十五町	中・御池通西洞院西入押西洞院町	7/9~16	No.1；-0.96m、鎌倉の包含層（土師器皿、焼締陶器鉢）。	HL119	2
三条二坊十五町	中・小川通御池上る下古城町391	9/24、10/1~3・6	No.1；-0.15m、江戸の包含層。No.2；-0.55m、平安の包含層（土師器皿、須恵器、白磁片）。-0.72m、平安中期の包含層（土師器小片、須恵器鉢）を切って平安の落込（土師器片、須恵器甕、灰釉陶器壺）の東肩。	HL203	2
三条三坊 二町	中・御池通西洞院東入橋之町738 他4筆	8/21・22	-0.3m、江戸の包含層。	HL165	3
三条三坊 八町	中・二条通室町西入大恩寺町252-1	10/3・6	No.2；-0.25m・-0.47mで路面状の層、二条大路に位置する。-0.28m、江戸の包含層（棧瓦）。-0.57m以下、流れ堆積。	HL213	3
三条三坊十一町	中・室町通御池下る円福寺町350-1他	5/15・16・19~22	-1.6m~-2.7m、桃山~江戸前期（土師器皿、瓦器、施釉陶器皿、瓦質陶器火鉢、輸入染付）の湿地状堆積。-2.7m以下、灰色粘土の地山。	HL047	3
三条三坊十二町	中・両替町通姉小路下る柿本町393	8/12・13・18~21	No.1；-0.53m、江戸初期の包含層（土師器皿、唐津椀・黄瀬戸皿・志野、焼締陶器）。-1.72m以下、灰黄褐色砂礫の地山。No.2；-1.7m、江戸初期の落込（土師器皿、平瓦）の東肩。-1.9m以下、褐色微砂の地山。No.3；-1.16m、室町後期の包含層（土師器皿）。-1.7m、室町中期の包含層（土師器皿）。	HL159	3
三条三坊十五町	中・東洞院通押小路下る船屋町411-1・2	11/10~17	No.1；-3.6mまで江戸の湿地状堆積。No.2；-3.3mまでNo.1と同様の湿地状堆積。-3.3m以下、暗オリーブ灰色細砂の地山。No.3；-2.4mで灰オリーブ色砂泥の地山を切って、湿地状堆積の東肩。調査地の西半分が湿地状堆積。	HL252	3
三条四坊 二町	中・間之町通押小路下る高田町500	4/22・23	-1.15mまで時期不明の整地層。	HL024	3
三条四坊 三町	中・東洞院通御池下る笹屋町444、444-1	6/11~13・18	No.2；-1.36~-2.0mまで江戸の湿地状堆積（土師器皿、施釉陶器椀）。No.3；-2.0mで灰オリーブ色砂泥の地山を切って鎌倉の落込（土師器皿）。No.4；-2.0m、灰オリーブ色砂泥の地山を切って室町の土壌（土師器皿）。	HL086	3
三条四坊 四町	中・姉小路通東洞院東入登華院前町706-3 元初音中学校	5/27・28、6/2	-1.0m、近世の包含層。-1.6m、室町の包含層（土師器）。	HL066	3
三条四坊 五町	中・堺町通御池下る丸木材木町~立売中之町	9/22~11/13	No.2；-0.17m、焼土層。No.3；-0.15m・-0.2m、近世以降の路面。No.5；-0.16~-1.24m間で14層の三条大路路面及び整地層。遺物は出土せず。No.8；-1.14m、室町の包含層（土師器皿）。	HL201	3・5
三条四坊 六町	中・堺町通御池下る丸木材木町648-1	11/20~12/2	-0.5m以下、近世の包含層3（土師器、磁器、棧瓦確認）。-1.8m、平安後期の包含層（土師器皿、須恵器甕、緑釉陶器片、白磁片）。	HL267	3
三条四坊十五町	中・麩屋町通御池上る上白山町258-1	6/13・18	-0.7m、近世の包含層。	HL089	3
三条四坊十五町	中・麩屋町通御池上る上白山町258-2	6/20、7/2	-0.2m以下、近世の包含層。-1.65m、時期不明の包含層（土師器皿）。	HL099	3
四条一坊 三町	中・壬生御所ノ内町17-3・15、16-1	10/22~29	No.3；-0.78m、錦小路路面。-1.03m、平安前期の湿地状堆積。No.5；-1.18m、平安前期の遺物を多量に含む池、洲浜検出。No.6；池の肩口を検出。北部の肩口、洲浜を検出。平安前期の土器多量に出土。No.7；No.6の南肩口の続きと思われる層より土器が多量に出土。詳細は京都市埋蔵文化財調査センターが報告。	HL237	4

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
四条一坊 八町	中・壬生馬場町15-5	10/17	-0.82m、室町前期の包含層（土師器皿・ミニチュアの羽釜、須恵器）。-0.95m、路面、坊城小路。	HL229	4
四条一坊 十町	中・壬生馬場町45-2・3	6/30～7/16	No.1；-0.5m以下、近世・鎌倉の包含層（土師器皿）。No.2；-0.4m、湿地状堆積、-2.2m以下、黄褐色砂礫の地山。No.3；-1.1mで室町の包含層（土師器皿）。	HL113	4
四条二坊 六町	中・堀川通西側、御池通～四条通	6/9～8/4	-0.72m、にふい黄褐色砂泥の地山を切って、平安の落込、四条坊門小路南側溝の南肩。本報告8ページ。	HL082	2・4
四条二坊十二町	中・醒ヶ井通錦小路下る藤西町598-1	6/12・13・18	No.1；-0.8m、にふい黄褐色砂泥の地山を切って鎌倉の落込（土師器皿、須恵器甕、瓦器）。No.2；-1.1m、室町の包含層（土師器皿）。	HL087	4
四条二坊十三町	中・錦小路通油小路東入空也町494、495-1・2、497-1・2・3	5/15・16・19、10/9	-1.2m、江戸の包含層。-1.55m以下、暗灰黄色細砂の地山。	HL044	4
四条二坊十三町	中・油小路通四条上る藤本町550、550-1	11/26～28、12/1	No.1；-0.9m、室町の包含層（土師器皿、瓦器羽釜、天目椀）。-1.1m、鎌倉～室町の包含層。-1.35m、平安の包含層（平瓦）を切って時期不明の土塋（土師器皿）。No.3；-1.84m以下、暗オリーブ色砂泥の地山。	HL277	4
四条三坊 八町	中・室町通三条下る烏帽子町500、六角通室町西入玉蔵町135	5/15・16・20	-1.0m、近世の包含層。	HL045	5
四条三坊十二町	中・室町通錦小路下る菊水鉾町576	8/7～26	No.1；-0.65m、江戸の包含層。No.2；-0.3m、鎌倉の包含層（土師器皿、瓦器片）。No.3；-0.9m、室町の包含層（土師器皿）。-1.2m、室町の落込（土師器皿）の東肩。No.4；-2.2m以下、暗褐色砂礫層の氾濫堆積。	HL152	5
四条三坊十四町	中・東洞院通蛸薬師下る元竹田町642、640-1・2	9/29、10/1～8	No.1；-1.5m、平安末期～鎌倉・室町の土器を含む落込2。-1.7m以下、にふい黄褐色粘土の地山。No.3；-1.7m、江戸の包含層（土師器皿）。	HL207	5
四条四坊十六町	中・寺町通三条下る永楽町225	7/29、8/1・6・27	-0.35m、江戸の包含層。-0.49～-0.96mまで路面状の堆積。東京極大路西築地付近に位置する。	HL143	5
五条二坊 一町	下・黒門通四条下る下り松町158他	12/1・9	No.1；-0.65m、近世の包含層。-1.15m、室町の包含層（土師器皿）。No.3；-0.9m、室町の包含層（土師器皿、輸入青磁、平瓦）。-1.0m以下、オリーブ褐色砂泥の地山。	HL281	4
五条二坊 五町	下・猪熊通高辻下る高辻猪熊町362	4/3～9	No.1；-0.43m・-1.0m、室町の包含層（土師器皿）。No.2；-1.3m、にふい黄褐色粘土の地山を切って室町の土塋（土師器皿・甕）。No.3；-1.23m、平安後期の包含層（土師器皿）。	HL005	4
五条二坊 七町	下・堀川通綾小路下る綾堀川町302	9/17・18・22・26	-2.3mまで攪乱土塋内。	HL194	4
五条二坊十二町	下・松原通油小路西入橘町41-10	5/23・26	-0.35m、-0.7m、近世の包含層2。	HL057	4
五条二坊十六町	下・西洞院通四条下る妙伝寺町705	4/10、5/2・13	-0.44m、近世の包含層。-1.05m以下、流れ堆積。	HL015	4
五条二坊十六町	下・油小路通四条下る石井筒町530、532-1	11/5～7・12～14・17	No.1；-1.0m、室町の包含層（土師器皿、白磁椀、瓦）。No.2；-0.52m、江戸の土塋（土師器皿）。No.3；-1.23m、江戸の包含層。	HL249	4
五条三坊 一町	下・新町通四条下る四条町370-1	6/9・10	-0.9mまで現代盛土。	HL081	5
五条三坊 一町	下・新町通四条下る四条町359-1	11/7・12～14	-1.36m、漆喰層。-1.37m、室町の包含層。	HL251	5
五条三坊 六町	下・室町通高辻上る山王町535、537、538	5/12～21	No.1；-0.88m以下、室町の包含層（土師器皿、焼締陶器甕、平安の須恵器甕混入）3。-1.64m以下、オリーブ色砂の地山。No.2；-0.4m、近世の焼土層。-1.4m、室町の包含層（焼締陶器鉢、瓦器、瓦）。	HL038	5
五条三坊 七町	下・新町通綾小路下る船鉾町395-4	8/29	-1.5m以下、にふい黄褐色砂泥の地山。	HL178	5
五条三坊十五町	下・東洞院通綾小路下る扇酒屋町299	12/16・18・22	-1.65m、にふい黄褐色泥砂の地山を切って江戸の落込。	HL295	5
五条四坊 五町	下・高倉通松原上る本燈竜町 地先	7/28～8/7	-0.7m、近世の包含層。	HL138	5

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
五条四坊 八町	下・綾小路通柳馬場西入綾材木町195、197-2	4/28~5/6	-1.43m、室町の包含層（土師器皿、輸入白磁、須恵器鉢、瓦）。	HL027	5
五条四坊十一町	下・富小路通仏光寺下る筋屋町148-2他	4/1~21	-2.35m以下、オリーブ色砂礫の地山。	HL001	5
五条四坊十六町	下・四条通寺町西入奈良物町359	9/22・24・26	-0.75m・-1.13m、江戸の包含層。	HL199	5
六条二坊 一町	下・松原通大宮下る西門前町418	5/21・22	-0.15m、時期不明の包含層（土師器皿小片）。	HL051	4
六条二坊 十町	下・醒ヶ井通五条上る小泉町94	5/26~30	平安末期、鎌倉の包含層、土壌群を検出。本報告10ページ。	HL064	4
六条三坊 一町	下・新町通松原下る富永町120	8/18~29	No.1；-0.26m、近世の包含層。-0.73m、焼土層。No.3；-1.25m、鎌倉の包含層（土師器）。-1.45mで灰オリーブ色砂泥の地山を切って鎌倉の落込（焼締陶器）の東肩。No.4；-1.32~1.49m、平安末期~鎌倉（土師器）・鎌倉（土師器）・江戸（京焼）の遺構3。-1.62m以下、褐色砂泥の地山。	HL161	5
六条三坊 一町	下・西洞院通松原下る永倉町562	11/4~13	-0.9m以下、江戸の包含層。	HL248	5
六条三坊 七町	下・五条通新町東入東鋸屋町175	6/5・6	No.2；-0.83m、時期不明の土壌状遺構（土師器片、須恵器）。	HL077	5
六条三坊 八町	下・室町通松原下る元両替町259-1	4/7・9・10・14	-1.08m、中世の包含層（土師器皿、焼締陶器甕）。-1.4m、平安後期の落込（土師器皿、瓦器鍋、焼締陶器甕、白磁）。	HL008	5
六条三坊 八町	下・松原通新町東入中野之町185	8/28・29、9/1~4	No.1；-2.4m、灰オリーブ色砂泥の地山を切って鎌倉の土壌（土師器皿）。No.2；-1.5m、室町の包含層（土師器皿）。-1.85m、時期不明の包含層（土師器、灰釉陶器）。-2.0m以下、灰黄色砂泥の地山。No.3；-1.5m、室町の包含層（土師器皿）。-1.75m、平安後期の包含層（土師器皿）。	HL177	5
六条三坊十三町	下・不明門通五条下る二丁目下平野町477-1、479	10/3・6	-0.67m以下、江戸の包含層。	HL214	5
六条三坊十五町	下・烏丸通五条上る悪王子町420他	12/5~18	-0.9m、江戸の包含層（土師器羽釜）。	HL290	5
七条一坊 七町	下・二人司町21-1他	7/7~11	-0.3m、近世の包含層（棧瓦、染付、土師器）。	HL118	6
七条三坊 五町	下・烏丸通七条上る常葉町754	10/6・7	-0.27mまで現代盛土。	HL219	7
七条三坊十三町	下・七条通烏丸東入真苧屋町200、202-1、202、不明門通七条上る粉川町223-1・3、224	5/30、6/2・3、7/4・17	No.1；-0.95m・-1.55m、時期不明の包含層（土師器）。No.2；-2.3m以下、氾濫堆積。	HL068	7
八条二坊十三町	南・西九条院町13-1~北ノ内町13-2、下・東塩小路高倉町32-1、33-1他	8/25~11/28	-0.2m、近世の包含層。	HL173	6・7
八条三坊 二町	下・西洞院通塩小路下る東塩小路町930他	8/7~12/24	-2.43m、室町の包含層（土師器皿、瓦器鍋）。	HL151	7
八条三坊 八町	下・七条通新町東入西境町148-2・4・5	11/21・26	-0.1m、近世の包含層。	HL273	7
八条三坊十五町	下・東洞院通七条下る塩小路町533、533-2・3	11/28、12/2・3	No.1；-1.15m、湿地状堆積。-1.3m、礫を多量に含む砂泥層、池の底部か路面か不明。No.2；-1.32m、平安の湿地状堆積（須恵器短頸壺）。	HL279	7
八条三坊十五町	下・東洞院通七条下る東塩小路町719-6、575-1	11/20・26・28、12/2	-2.0m、湿地状堆積。-3.0m以下、明黄褐色砂礫の地山。調査地全域に池状堆積が広がる、時期不明。	HL272	7
八条三坊十六町	下・真苧屋町218	8/6~8	-0.2m、近世の瓦溜、瓦は二次焼成を受ける。-1.0m、近世の包含層。	HL150	7
八条四坊 七町	下・上之町19-9	7/14・15	-0.25m、氾濫堆積。	HL124	7
八条四坊 八町	下・七条通間之町東入材木町471-1・2・5・6	8/25	-0.1m以下、時期不明の包含層。	HL175	7
九条一坊 十町	南・壬生通八条下る東寺町 地先	10/23	-0.77m、時期不明の包含層。-0.9m以下、湿地状堆積。	HL239	6
九条四坊 六町	南・東九条南山王町52-1他7筆	8/25・26	-0.4m以下、流れ堆積。	HL172	7

平安京右京 (HR)

遺 跡 名	所 在 地	調 査 日	調 査 概 要	調 査No	図版
北辺三坊 四町	北・大將軍一条町18	9/17~19	-0.5m、時期不明の包含層(土師器小片)。-1.2m以下、にふい黄褐色砂泥の地山。	HR195	8
一条四坊十五町	右・御室堅町~花園寺ノ内町	9/1~11/14	-0.65m以下、オリープ黄色細砂の地山。	HR179	8
二条二坊十一町	中・西ノ京南上合町93-1・2、90-4	11/18	-1.15mまで現代盛土。	HR264	9
二条三坊 五町	中・西ノ京徳大寺町2	10/8・9	-0.37m・-0.52m、平安の包含層(土師器皿、須恵器、緑釉陶器)。	HR221	8
三条一坊 一町	中・西ノ京梅尾町44-8	4/4・10・14	-0.5mまで現代盛土。	HR006	9
三条一坊 七町	中・西ノ京星池町 地先	11/17~12/1	№1~4; -0.9~1.8mまで現代盛土。	HR263	9
三条二坊 十町	中・西ノ京東中合町48	10/14	-0.56m、中・近世の包含層(須恵器甕、瓦)。 -1.2m以下、明黄褐色粘質土の地山。調査区南東端で時期不明の土壌。	HR235	9
三条二坊十四町	中・西ノ京西中合町	8/25~29	№3; -0.52m・-0.59m、時期不明の包含層(須恵器、土師器、磁器)。 -0.6m、湿地状の包含層(土師器)。 -0.97m、にふい黄橙色粘土の地山を切って室町の南北方向の溝(土師器)。	HR174	8・9
三条二坊十五町	中・西ノ京東中合町1、西中合町72、桑原町1	8/8~9/9	№3; -1.04m、湿地状堆積。№5; -0.67m、鎌倉の包含層(土師器皿、須恵器鉢)。№6; -0.8m以下、オリープ褐色砂泥の地山。№9; -0.7m、時期不明の包含層(土師器小片)。	HR154	8・9
三条三坊 二町	中・西ノ京中合町67-1	4/10・14	-0.97m、時期不明の包含層(土師器)。	HR013	8
三条四坊 七町	右・山ノ内御堂殿町43-1、44-1、45-1	4/2~16	№2; -0.65m、オリープ色砂泥の地山を切って時期不明の土壌。№5; -0.77m、時期不明の土壌。№6; -0.15m、平安中期の包含層(土師器小片、須恵器壺)。調査地全域に平安中期の包含層が広がっていた。	HR002	8
三条四坊十四町	右・葛野大路通東側、御池通~西高瀬川 地内	6/30~9/10	-2.35m以下、にふい黄褐色粘土の地山。	HR114	8
四条二坊 九町	右・西院上今田町20、20-4、 中・壬生上大竹町2-1の一部、2-2	8/11・12・18・19	-0.5mまで現代盛土。	HR153	11
四条二坊十二町	右・西院東淳和院町32-4	6/26・27	-1.2mでオリープ黒色泥土の湿地状堆積。調査地は御土居にあたるため、御土居の濠の可能性あり。	HR108	11
四条三坊 七町	右・西院下花田町8-2	7/28~31、8/4・5	-1.36m以下、オリープ黄色粘土の地山。	HR136	10
四条四坊十六町	右・葛野大路通西側、三条通~四条通	10/27~12/2	-0.93m以下、黄褐色泥土・黄橙色粘土の地山。	HR238	10
五条一坊十六町	中・壬生森前町16-5	11/25	-0.2mまで現代盛土。	HR275	11
五条四坊 八町	右・西院安塚町21	6/6・9	-1.2m、湿地状堆積。	HR079	10
六条一坊 三町	下・五条通、七本松通東入~千本通 地内	6/2~27、7/8~24	-1.02m以下、黄褐色砂泥の地山。	HR072	11
六条一坊 六町	下・中堂寺北町~中堂寺坊城町 地内	6/2~18、7/14~24	-1.2m以下、微砂層と細砂層、河川の可能性あり。	HR071	11
六条一坊 六町	下・中堂寺南町109~115	9/17~10/28	-0.9m、平安末期~鎌倉の包含層(土師器皿、須恵器)。 -1.04m、時期不明の土壌(土師器皿、瓦)。 -1.1m以下、オリープ褐色砂泥の地山。	HR193	11
六条一坊 六町	下・五条通北側、七本松通~千本通 地内	11/18~12/18	-0.69m、時期不明の包含層(土師器小片)。 -0.96m以下、オリープ褐色細砂の地山。	HR266	11
六条二坊 十町	右・西院南高田町18-2	5/30、6/2・3	№1; -0.77m以下、氾濫堆積層。№2; -0.5mで平安中期の包含層(土師器皿、須恵器甕)。	HR070	11
六条二坊十五町	右・西院寿町40-1・3、42-1	8/22・25	-0.44m以下、耕作土。	HR166	11
六条三坊 七町	右・西院西寿町 地内	5/12~8/13	平安前期の溝を検出。本報告13ページ。	HR039	10
六条三坊十一町	右・西院追分町 地先	5/21~9/9	№2; -1.65m以下、黄褐色砂泥の地山。№5; -0.52m、江戸の包含層。 -0.7m以下、湿地状堆積。この層は西方へ深くなる。	HR052	10
六条三坊十五町	右・西院久保田町6-4他	4/11・14~16	-0.85mまで現代盛土。	HR017	10
六条四坊 三町	右・西院六反田町3	12/1・2	-0.92m、江戸の包含層(土師器皿、焼締陶器火舎)。 -1.03m以下、にふい黄色砂泥の地山。	HR282	10
七条一坊十六町	下・西七条西八反田町8	6/19・23・25~27	-0.62m以下、灰黄褐色細砂の地山。	HR098	13
七条二坊 九町	下・西七条掛越町34	12/2・3	-0.26m、時期不明の包含層(土師器皿)。	HR284	13
七条二坊 十町	下・西七条比輪田町12-1	12/1・2	№1; -0.7m、氾濫堆積。№2; -0.64m、平安中期の包含層(土師器皿・甕)。	HR283	13

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
九条一坊 七町	南・唐橋井園町14-1	10/7・8	-0.27m、時期不明の包含層。	HR220	13
九条二坊 九町	下・七条御所ノ内南町95-1	6/27、7/2～9	No.1；-0.6m・-0.8m、時期不明の包含層（土師器皿）。No.2；-0.68m、近世の包含層。	HR109	13
九条三坊 七町	南・吉祥院西ノ庄猪之馬場町1、2	12/3・4	-0.55m以下、オリーブ褐色砂礫の地山。	HR288	12
九条四坊 一町	南・吉祥院宮ノ西町 地先	10/27～11/12	No.1；-0.5m以下、天神川の氾濫堆積層。No.3；-0.36m、炭を下層に敷きつめた時期不明の包含層（土師器、瓦器）。	HR242	12
九条四坊 一町	南・吉祥院中河原里南町7、7-1	12/24・25	-0.4m以下、オリーブ褐色砂礫の地山。	HR303	12
九条四坊 三町	南・吉祥院中河原里北町32-1の一部、32-2、32-3の一部	4/10・14	遺構・遺物検出できず。	HR014	12

洛北地区 (RH)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
妙満寺裏庭窯跡	左・岩倉幡枝町91	10/17、12/8	-1.55m、灰オリーブ色砂泥層、炭を多く含む。	RH228	14-1
河上瓦窯跡	北・西賀茂丸川町61-2	9/8・9	-0.15m、時期不明の包含層（土師器小片）。	RH189	14-3
植物園北遺跡	左・松ヶ崎芝本町 地内	6/2～27	-1.75mまで現代盛土。	RH073	14-4
植物園北遺跡	北・上賀茂榊田町70-4	6/6	+0.09mまで現代盛土。	RH080	14-4
植物園北遺跡	北・上賀茂藪田町20-2・3、19-1	6/10～12	遺構・遺物検出できず。	RH084	14-4
植物園北遺跡	左・下鴨南野々神町1-2	9/4・5・8	No.1；-1.0m以下、暗褐色砂泥の地山。No.3；-0.75m以下、流路状堆積。	RH188	14-4
北野遺跡・北野廃寺	北・北野西白梅町70-1、71-1の一部	5/14	遺構・遺物検出できず。	RH042	15-1
北野遺跡・北野廃寺	北・西大路通東側、盧山寺通～今小路 地内	9/2～11/25	No.2；-0.65m、時期不明の落込の北肩。No.5；-0.15m、時期不明の土壌、幅3.5m以上、深さ0.85m。No.6；-0.4m以下、褐色砂泥の地山。No.9；-0.62m、時期不明の落込の北肩。No.9より南へ1.35mの地点で時期不明の土壌2。No.12；-0.35m、時期不明の落込の南肩（土師器）。	RH182	15-1
北野遺跡・北野廃寺	北・北野紅梅町49、50、51	9/12・16・17	No.2；-0.45m、飛鳥の包含層（土師器小片、須恵器杯・甕、丸瓦）。	RH192	15-1
北野遺跡・北野廃寺	北・北野下白梅町24	10/23・27	-1.2mまで現代盛土。	RH240	15-1
北野遺跡・北野廃寺	北・北野下白梅町81-2	12/5	-0.55mまで現代盛土。	RH289	15-1
松ヶ崎廃寺	左・松ヶ崎堀町40	7/25・28	-0.4mまで現代盛土。	RH134	15-2
半木町塚跡	左・下鴨半木町65-2	9/1	-0.04mまで現代盛土。	RH180	15-3
室町殿跡 (花の御所)	上・葺鳥屋町147-2	12/22	-0.85m、近世の包含層（土師器、焼締陶器播鉢、丸瓦）。	RH299	15-4
上京遺跡	上・堀川通上立売下る北舟橋町843	10/17・21・22	-0.59m以下、江戸の包含層（土師器皿）。	RH227	15-4
上京遺跡	上・新町通今出川上る元新在家町161-2	10/20～22・28	No.1；-0.5m、江戸の包含層。-0.8m、室町の包含層（土師器皿）。No.2；-1.2m以下、にぶい黄褐色砂礫の地山。	RH233	15-4
上京遺跡	上・烏丸通一条上る西入広橋殿町411-2	12/8・10・11・15	No.1；-0.25m・-0.53m、江戸の包含層（土師器皿）。No.2；-1.5m、江戸の包含層（土師器、軒丸瓦、須恵器瓶子混入）。-1.92m、室町の包含層（土師器皿）。	RH292	15-4
相国寺旧境内	上・柳岡子町、寺門前町	7/28～12/2	No.7；-0.74m、室町の土壌（土師器皿）。No.22；-1.3m、室町の包含層（土師器皿、焼締陶器）。	RH137	15-4

太秦地区 (UZ)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
広沢池遺跡	右・山越乾町1他	5/22～6/11	No.1 ; -1.0m、近現代の湿地状堆積。-2.7m以下、灰白色粗砂の地山。No.2 ; -0.9m以下、灰白色粘土の地山。	UZ065	16-1
太秦馬塚町遺跡	右・太秦北路町20-1、7-2、8-2の一部	6/24～26	No.1 ; -0.64m、時期不明の包含層。No.2 ; -0.86m以下、オリーブ褐色粘土の地山。	UZ104	16-1
広沢西裏遺跡	右・嵯峨一本木町～広沢西裏町	7/9～9/17	No.1 ; -1.87m、湿地状堆積。No.7 ; -1.22mで湿地状堆積。No.12 ; -1.34m以下、明黄褐色粘土の地山。No.14 ; -0.96m、中世以降の包含層(平瓦)。	UZ120	16-2
梅津萩原町遺跡	右・梅津萩原町～梅津前田町 地先	8/28～10/20	No.4 ; -1.2m、氾濫堆積。No.5 ; -1.5m以下、湿地状堆積。No.9 ; -0.45m、近世以降の包含層。	UZ176	16-3

北白川地区 (KS)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
冲殿町遺跡	左・修学院川尻町19-11	10/29・30	-1.1m、オリーブ灰色微砂層を検出。	KS244	16-4
北白川麿寺	左・北白川山田町54	1/10・12・13・26	BM+1.04m以下、粗砂、細砂、泥土の互層堆積。	KS253	16-5
吉田二本松町遺跡・ 吉田上大路町遺跡	左・吉田上大路町27-3	10/2・3・7・8	BM+1.78m、近世の包含層。	KS210	17
聖護院川原町遺跡	左・聖護院川原町(鞆小路通、近衛通～春日 上通)	8/11～9/29	No.2 ; -0.37m、江戸の包含層。-0.67～-1.47m、流れ堆積。No.4～6 ; -0.85m以下、流れ堆積。No.8 ; -0.45m・-0.6m、時期不明の包含層(土師器)。	KS158	17
田中構え跡	左・東大路通東側、一乗寺道～叡山電鉄 地内	5/6～7/14	No.1 ; -0.37m、時期不明の包含層(土師器)。 No.2・3 ; -0.4m、近世の包含層。No.4 ; -0.66m、時期不明の包含層(土師器皿)。No.6 ; -0.7mで時期不明の土壌。遺構・遺物を検出した地点は、該当遺跡の範囲外である。	KS033	17
北白川追分町縄文遺跡・ 北白川追分町遺跡	左・北白川西町73	7/3・4・7	No.1 ; -0.15m、近世の包含層。-1.2m以下、にぶい黄褐色細砂の地山。No.2・3 ; -0.35m、時期不明の包含層(土師器皿)。包含層の下層の黒色砂泥層は縄文～弥生の包含層の可能性あり。	KS117	17
岡崎遺跡	左・白川通、岡崎東天王町～永観堂西町 地内	6/2～9/1	No.3 ; -1.7m以下、灰オリーブ色砂礫の白川の氾濫堆積。No.6 ; -1.22mで固くしまる黒褐色砂泥層を検出。	KS075	17
岡崎遺跡・ 白河街区跡	左・岡崎円勝寺町151、151-2～6、南禅寺草 川町38-1・4～6、40、49-1・2	4/15～7/2	-0.18～-1.15m、近世の包含層(土師器、陶器)。 -1.25m、中世の包含層(瓦器)。-1.56～-2.12m以下、黄褐色砂礫・暗オリーブ色粗砂・にぶい黄橙色細砂の地山。	KS019	17
岡崎遺跡・ 法勝寺跡	左・岡崎法勝寺町77	4/23	-0.2mまで現代盛土。	KS025	17
岡崎遺跡・ 法勝寺跡	左・岡崎法勝寺町82-9の一部	8/25・26	BM+0.27mまで現代盛土。	KS170	17
岡崎遺跡・ 法勝寺跡	左・岡崎法勝寺町 岡崎動物園内	10/6～8	-0.6m、江戸以降の包含層。	KS215	17
岡崎遺跡・ 法勝寺跡	左・岡崎東天王町1 市立岡崎中学校	11/20～12/9	No.1 ; -0.6m、平安末期～鎌倉の包含層(土師器皿、丸瓦、平瓦)。No.3 ; -1.0m、鎌倉の包含層(土師器皿、平瓦)。-1.1m、平安末期の包含層(土師器皿、瓦器甕)。No.4 ; -0.54m、平安末期～鎌倉の包含層(土師器皿、須恵器甕、瓦器鍋、輸入青磁、格子目叩き瓦)。No.5 ; -0.2m、近世以降の包含層(棧瓦、染付)。-0.5m、平安末期の包含層(土師器皿、丸瓦、平瓦)。 調査地全体に平安末期から鎌倉の包含層が広がるが、土層の状態から客土の可能性あり。	KS270	17

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
岡崎遺跡・法勝寺跡	左・岡崎天王町62-15	11/25	-0.25mまで現代盛土。	KS276	17
岡崎遺跡・法勝寺跡	左・岡崎南御所町19	12/5	-0.1mまで現代盛土。	KS291	17
得長寿院跡	左・聖護院蓮華歳町1-1	4/17	-0.45mまで現代盛土。	KS020	17
白河街区跡	左・岡崎真如堂前町6-21	10/29・30	遺構・遺物検出できず。	KS245	17
白河南殿跡	左・聖護院蓮華歳町地先	5/21	遺構・遺物検出できず。	KS053	17
白河南殿跡	左・聖護院蓮華歳町54-19	8/21	-0.2mまで現代盛土。	KS164	17
白河南殿跡	左・杉本町263-1	10/20、12/24	巡回時、工事終了。	KS216	17
白河北殿跡	左・聖護院河原町2-4、4-15	6/27	-0.65mまで現代盛土。	KS110	17
白河北殿跡	左・聖護院川原町25-13の一部	11/13、12/24	巡回時、工事終了。	KS255	17
白河北殿跡	左・聖護院川原町26-1	11/13	-0.5m、近世の包含層。	KS256	17

洛東地区 (RT)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
中臣遺跡	山・勸修寺西金ヶ崎町260、261	4/7・16	-0.32mまで現代盛土。	RT007	18-2
中臣遺跡	山・東野舞台町95-5	5/13	-0.3mまで現代盛土。	RT040	18-2
中臣遺跡	山・勸修寺東金ヶ崎町65-15・16の一部	6/16	-0.35mまで現代盛土。	RT092	18-2
中臣遺跡	山・勸修寺東金ヶ崎町64-18	9/3・4	-0.15mまで現代盛土。	RT185	18-2
中臣遺跡	山・勸修寺東金ヶ崎町64-20	9/3	-0.2mまで現代盛土。	RT186	18-2
中臣遺跡	山・柳辻番所ヶ口町37-2	9/17・18・22	-1.5m以下、灰黄褐色粘土の地山。	RT197	18-2
中臣遺跡	山・勸修寺東金ヶ崎町64-15	10/1	-0.15mまで現代盛土。	RT209	18-2
中臣遺跡	山・勸修寺西金ヶ崎町18-1	11/19	-0.2mまで現代盛土。	RT268	18-2
中臣遺跡	山・勸修寺西栗栖野町269-4	11/19	-0.2mまで現代盛土。	RT269	18-2
中臣遺跡	山・勸修寺東栗栖野町18-12の一部	11/25・26、12/1	-0.3m、時期不明の包含層。	RT274	18-2
中臣遺跡	山・勸修寺東金ヶ崎町113	12/12	-0.51mまで現代盛土。	RT294	18-2
中臣遺跡	山・勸修寺西金ヶ崎町245、256	12/22	遺構・遺物検出できず。	RT302	18-2
法興院跡	中・河原町通二条下る清水町345	5/21	-0.1mまで現代盛土。	RT050	18-3
山科本願寺南殿跡	山・音羽伊勢宿町32-15	8/1	-0.1mまで現代盛土。	RT146	18-5
山科本願寺南殿跡	山・音羽伊勢宿町32	8/4	-0.25mまで現代盛土。	RT148	18-5
勸修寺境内	山・勸修寺本堂山町3-4・37	10/31・11/4	-0.4mまで現代盛土。	RT246	18-6
法住寺殿跡	東・日吉南通、東大路通～今熊野日吉町地内	5/12・29	夜間工事のため観察できず。	RT036	19
六波羅政庁跡	東・本町三丁目105、103	5/30、6/2～4	-0.7m、時期不明の整地層。	RT069	19
六波羅政庁跡	東・門脇町181-2	7/28～30	-0.3m、近世の包含層。-0.95m以下、灰白色粘土の地山。	RT139	19
六波羅政庁跡	東・石垣町東側59	7/29・30	-0.7m以下、オリーブ色細砂・粗砂の地山。	RT142	19
六波羅政庁跡	東・山田町498、500-1	9/2～5・8	No.1；-0.75m、氾濫堆積層。氾濫堆積層の間に2面の整地層。No.2・3；No.1と同一堆積。上層の整地層より江戸の土師器皿。No.4；-0.25m以下、漆喰と砂泥層を互層にした面4面検出。-0.28mの砂泥層から江戸の染付、陶器が出土。-0.67m以下、粗砂の氾濫堆積層。	RT181	19
法性寺跡	東・本町十五丁目794	9/18・19・22・24	No.1；-1.0m以下、中世の湿地状堆積(平瓦)。No.2；-0.4mでオリーブ色粘土の地山を切って湿地状の落込の東肩。No.3；-0.25m以下、オリーブ色粘土の地山。	RT196	20-1
法性寺跡	東・福稲御所ノ内町11-4	10/8	-1.1m以下、にぶい黄褐色砂泥の地山。	RT222	20-1

鳥羽地区 (TB)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
上鳥羽遺跡	南・上鳥羽鴨田17-1	9/10	-0.14m、褐色砂泥の地山を切って東西方向の耕作溝(土師器)。	TB190	25-1

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
唐橋遺跡	南・吉祥院清水町2、1の一部	12/24	-0.68m、砂礫の氾濫堆積。	TB305	20-2
深草遺跡	伏・深草町通町22-4・6	11/27・28	-0.34m以下、オリープ褐色泥砂の地山。	TB278	20-4
淀城跡	伏・淀木津町	10/16	淀城の本丸堀部分にあたるため、湧水が著しく、 工事中止。観察できず。	TB225	20-5
鳥羽遺跡・ 鳥羽離宮跡	伏・竹田西内畑町159の一部	4/15	-0.12mまで現代盛土。	TB011	21
鳥羽遺跡・ 鳥羽離宮跡	伏・竹田西内畑町159の一部	4/15	-0.15mまで現代盛土。	TB012	21
鳥羽遺跡・ 鳥羽離宮跡	伏・中島北ノ口町2・3	12/15	-1.0mまで現代盛土。	TB297	21
鳥羽離宮跡	伏・竹田東小屋ノ内町99	4/28	-0.3m、時期不明の包含層（土師器）。	TB029	21
鳥羽離宮跡	伏・竹田西内畑町159の一部	5/19	-0.1mまで現代盛土。	TB048	21
鳥羽離宮跡	伏・竹田西内畑町159の一部	5/19	-0.1mまで現代盛土。	TB049	21
鳥羽離宮跡	伏・竹田浄菩提院町307の一部	5/26・27・30	-0.4mまで現代盛土。	TB058	21
鳥羽離宮跡	伏・竹田浄菩提院町307の一部	5/26・27・30	-0.4mまで現代盛土。	TB059	21
鳥羽離宮跡	伏・竹田浄菩提院町307の一部	5/26・27・30	-0.4mまで現代盛土。	TB060	21
鳥羽離宮跡	伏・竹田浄菩提院町307の一部	5/26・27・30	-0.4mまで現代盛土。	TB061	21
鳥羽離宮跡	伏・中島秋ノ島町55-6	6/10～12	-0.3mまで現代盛土。	TB083	21
鳥羽離宮跡	伏・竹田中殿町78-2	7/16	-0.1mまで現代盛土。	TB127	21
鳥羽離宮跡	伏・竹田中殿町78	7/16	-0.1mまで現代盛土。	TB128	21
鳥羽離宮跡	伏・竹田東小屋ノ内町 地先	7/17・18・22	-0.7m以下、湿地状堆積。	TB130	21
鳥羽離宮跡	伏・竹田浄菩提院町307の一部	7/30	-0.1mまで現代盛土。	TB141	21
鳥羽離宮跡	伏・竹田中殿町78-3	7/30	-0.15mまで現代盛土。	TB145	21
鳥羽離宮跡	伏・竹田浄菩提院町307-6	8/19	-0.3mまで現代盛土。	TB162	21
鳥羽離宮跡	伏・中島前山町69、70	9/22・24	-0.72m以下、湿地状堆積。	TB200	21
鳥羽離宮跡	伏・竹田中殿町 地先	10/6～8	-0.65m、湿地状堆積。	TB218	21
鳥羽離宮跡	伏・竹田中殿町78-1	11/14・17	-0.3mまで現代盛土。	TB260	21
羽東師志水町遺跡	伏・羽東師志水町41の一部	8/4・18	-0.41mまで現代盛土。	TB147	24
久我東町遺跡	伏・羽東師鴨川町～久我東町	11/17～12/2	No.1；-1.37m、湿地状堆積。No.2；-0.66～0.99 m、旧耕作土層と床土の互層堆積。No.4；-0.25 m、固く締まった礫層、近現代の路面か。	TB262	24
下三栖遺跡	伏・横大路下三栖里ノ内10-2	8/18	-1.18mまで現代盛土。	TB160	25-2

伏見・醍醐地区 (FD)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
黄金塚1号墳・ 伏見城跡	伏・桃山町遠山28-19	8/22・25	BM+0.41m以下、にぶい黄褐色微砂の地山。	FD168	23
伏見城跡	伏・桃山紅雪町61	4/18	BM+2.22mまで現代盛土。	FD021	23
伏見城跡	伏・京町三丁目198-1、199-1	5/12・13	-0.45mまで近世の焼土層。	FD037	22
伏見城跡	伏・深草大亀谷万帖敷町	5/19・20	-0.5mまで現代盛土。	FD043	23
伏見城跡	伏・桃山町伊庭31	6/19・20	-0.2m以下、明黄褐色微砂の地山。-0.35mで 岩盤。	FD096	23
伏見城跡	伏・桃山福島太夫西町25-1	6/30～7/25	No.1；-0.32m、近世の包含層（陶器）。No.2； -0.67m以下、明黄褐色細砂の地山。No.3；-0.72 m、近世の包含層。	FD111	22
伏見城跡	伏・深草大亀谷六鉢町～桃山町正宗	7/9～8/6	-0.14m以下、黄褐色粘土・砂泥・明褐色砂泥 の地山。	FD121	23
伏見城跡	伏・京町北七丁目13-1	7/15～25	No.1；-0.5m、焼土を含む江戸の包含層（土師 器、瓦、棧瓦）。No.2；-0.15m、江戸の包含層。	FD125	22
伏見城跡	伏・京町四丁目142-1	8/19～21・25	BM+0.9m、江戸の包含層。+0.3m以下、黄 褐色砂礫の地山。	FD163	22
伏見城跡	伏・桃山町島津58-11	8/22・25・26	BM+2.65m以下、黄褐色粗砂混礫の地山。	FD167	23
伏見城跡	伏・桃山紅雪町38	11/20・21	-0.55mまで現代盛土。	FD271	23
向島城跡	伏・向島庚申町52-1の一部	4/30	-0.4mまで現代盛土。	FD030	25-4
法性寺跡・ 伏見稲荷大社境内	伏・深草車阪町20-43	6/30、7/3・4・8	BM+6.4m以下、岩盤。	FD112	20-1

長岡京地区 (NG)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
左京北辺四坊十一町	南・久世築山町212-1	6/20・23・25～27	-1.55mまで現代盛土。	NG100	26-1
左京一条四坊十二町	伏・久我本町11-260	6/16・18	-1mまで現代盛土。	NG091	24
左京四条三坊一・八町	伏・羽束師菱川町 地先	5/7・8・12・13	-1.02m以下、オリーブ褐色粘土の地山。	NG035	24
左京五条三坊七・十一町	伏・羽束師菱川町351-1、古川町273	10/6	-0.5mまで現代盛土。	NG217	24

南・桂地区 (MK)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
福西古墳群	西・大枝中山町3-210	7/22	-0.5mまで現代盛土。	MK131	25-5
福西古墳群	西・大枝東長町3-24・652	10/14	-0.25mまで現代盛土。	MK223	25-5
櫻原廃寺	西・櫻原内垣外町9-6	5/1	-0.1mまで現代盛土。	MK032	25-6
上久世遺跡	南・久世上久世町161	4/28～5/2	-0.5mまで現代盛土。	MK028	25-7
上久世遺跡	南・久世上久世町127-5	11/12	-0.3mまで現代盛土。	MK254	25-7
大藪遺跡	南・久世大藪町	9/29	巡回時、工事終了。	MK208	26-1

報告書抄録

ふりがな	きょうとしなにいせきたちあいちょうさがいほう							
書名	京都市内遺跡立会調査概報 平成15年度							
副書名								
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	近藤章子、堀内寛昭、吉本健吾							
編集機関	(財)京都市埋蔵文化財研究所							
所在地	〒602-8435 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265-1 TEL075-415-0521							
発行機関	京都市文化市民局							
所在地	〒604-0925 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488 TEL075-222-3108							
発行年月日	西暦2004年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	遺跡番号					
平安京跡 左京三条四坊八 町、等持寺跡	京都府京都市中京区 柳馬場通二条下る 等持寺町	26100		35度0分35秒	135度45分59秒	2003.1.6 ～1.17		マンション
平安京跡 左京四坊六 町	京都府京都市中京区 堀川通西側御池通～ 四条通	26100		35度0分10秒	135度45分15秒	2003.6.9 ～8.4		水道工事
平安京跡左京六 条二坊十町、烏 丸綾小路遺跡	京都府京都市下京区 醍醐井通五条上る小 泉町 地内	26100		34度59分38秒	135度45分19秒	2003.5.26 ～5.30		店舗
平安京跡 右京六条三坊 七町、西院遺跡	京都府京都市右京区 西院西寿町 地内	26100		34度59分37秒	135度43分52秒	2003.5.12 ～8.13		水道工事、ガ ス工事
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
平安京跡 左京三条四坊八 町、等持寺跡	都城	江戸	土壌		土器類			
平安京跡 左京四坊六 町	都城	平安	落込		土器類・瓦類			
平安京跡左京六 条二坊十町、烏 丸綾小路遺跡	都城	鎌倉	包含層、土壌		土器類			
平安京跡 右京六条三坊 七町、西院遺跡	都城	平安	溝		土器類			

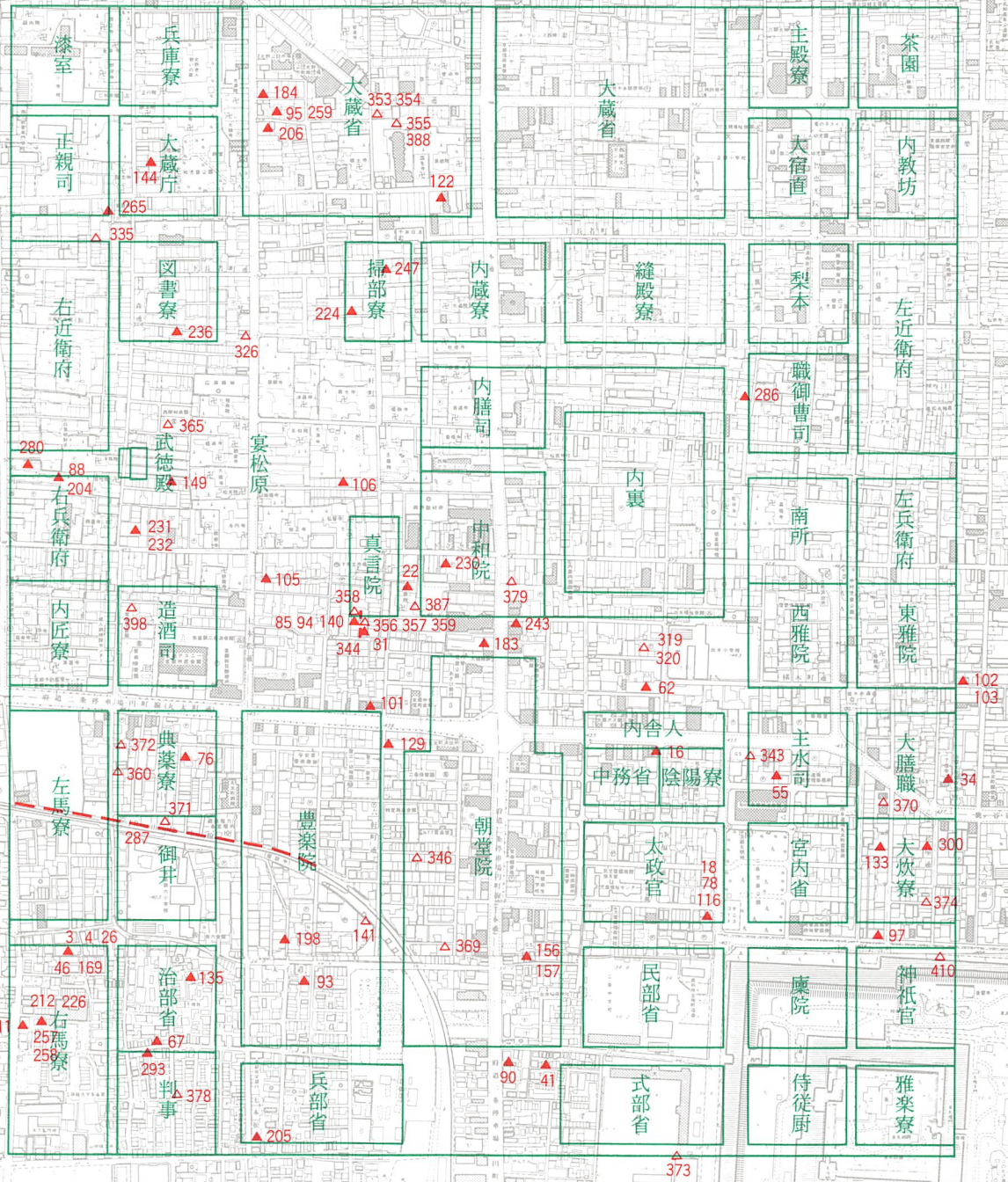
報告書抄録

ふりがな	きょうとしなないせきたちあいちょうさかいほう							
書名	京都市内遺跡立会調査概報 平成15年度							
副書名								
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	近藤章子、堀内寛昭、吉本健吾							
編集機関	(財)京都市埋蔵文化財研究所							
所在地	〒602-8435 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265-1 TEL075-415-0521							
発行機関	京都市文化市民局							
所在地	〒604-0925 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488 TEL075-222-3108							
発行年月日	西暦2004年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	遺跡番号					
とばり 離宮跡	京都市伏見区 竹田西内畑町、竹田 浄菩提院町他	26100		34度56分34秒	135度45分16秒	2002. 7. 23 ~2003. 1. 14		高速道路
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
とばり 離宮跡	離宮	古墳	包含層	土器類				

版 圖

凡 例

- △ — — 2003年1～3月期（平成14年度）立会調査地点
▲ ——— 2003年4～12月期（平成15年度）立会調査地点



漆室
兵庫寮
正親司
大藏省
大藏省
大藏省

大藏省
大藏省
大藏省
大藏省

大藏省
大藏省
大藏省
大藏省

主殿寮
茶園
大宿直
内教坊

右近衛府
圖書寮
武德殿
右兵衛府
内匠寮

掃部寮
内藏寮
内膳司
真言院
中相院

縫殿寮
内裏
南所
西雅院
東雅院

梨本
職御書司
左近衛府
左兵衛府

左馬寮
典藥寮
御井
治部省
右馬寮
判事

豐樂院
兵部省

内舎人
中務省
陰陽寮
太政官
民部省
式部省

主水司
宮内省
大膳職
大炊寮
神祇官
雅樂寮

左馬寮
典藥寮
御井
治部省
右馬寮
判事

豐樂院
兵部省

内舎人
中務省
陰陽寮
太政官
民部省
式部省

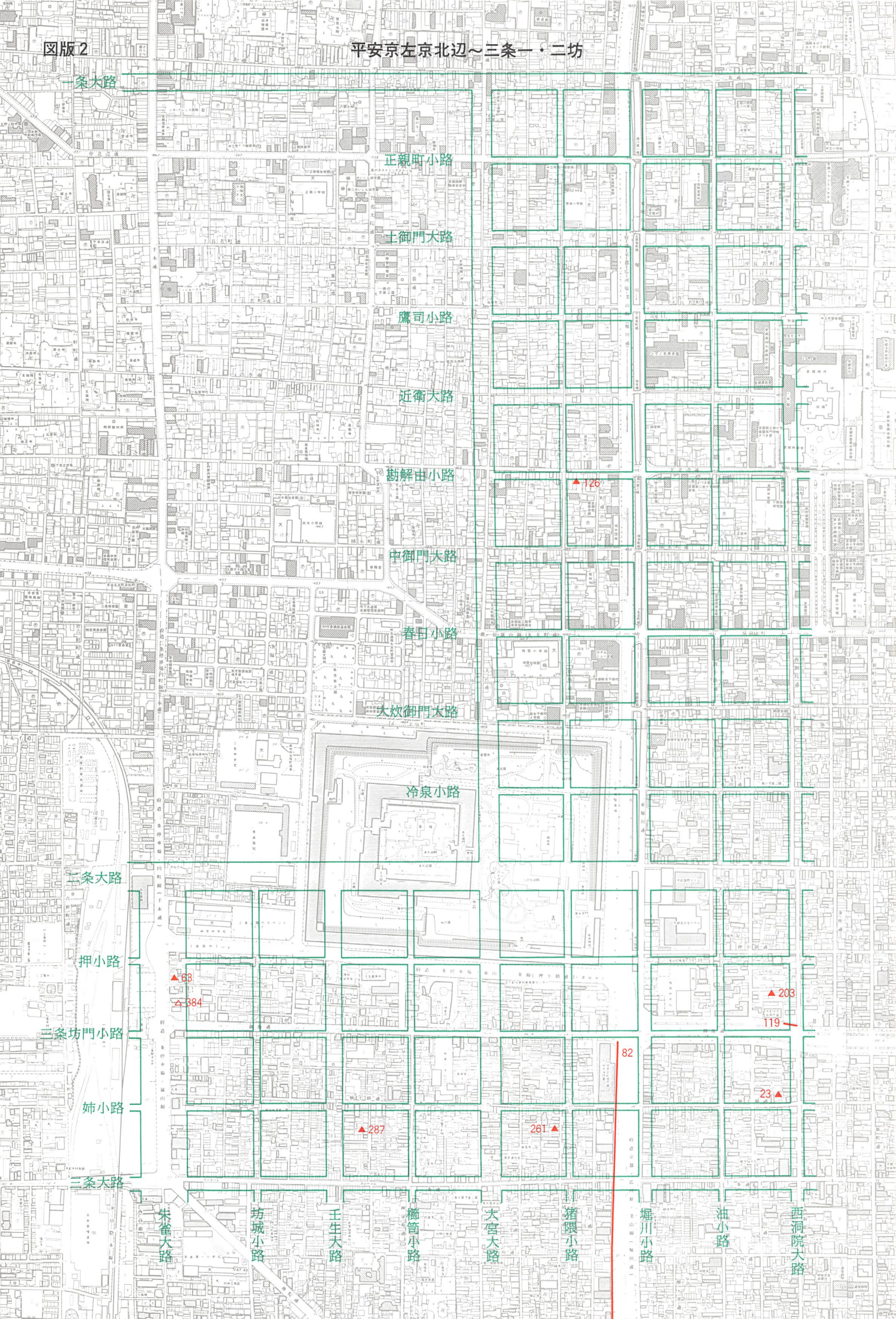
主水司
宮内省
大膳職
大炊寮
神祇官
雅樂寮

左馬寮
典藥寮
御井
治部省
右馬寮
判事

豐樂院
兵部省

内舎人
中務省
陰陽寮
太政官
民部省
式部省

主水司
宮内省
大膳職
大炊寮
神祇官
雅樂寮



一条大路

正親町小路

土御門大路

鷹司小路

近衛大路

勘解由小路

中御門大路

春日小路

大炊御門大路

冷泉小路

二条大路

押小路

三条坊門小路

姉小路

三条大路

朱雀大路

坊城小路

壬生大路

櫛笥小路

大宮大路

猪隈小路

堀川小路

油小路

西洞院大路

▲126

▲63
▲384

▲203
119

▲287

261 ▲

82

23 ▲

平安京左京北辺～三条三・四坊

図版 3

123

一条大路

正親町小路

土御門大路

鷹司小路

近衛大路

勘解由小路

中御門大路

春日小路

大炊御門大路

冷泉小路

三条大路

押小路

三条坊門小路

姉小路

三条大路

西洞院大路

町尻小路

室町小路

烏丸小路

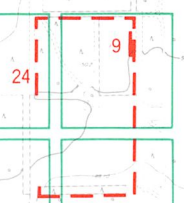
東洞院大路

高倉小路

万里小路

富小路

東京極大路



▲ 54

▲ 115

▲ 285

▲ 74

▲ 246

▲ 132

▲ 56

▲ 187

▲ 171

▲ 107

▲ 10

▲ 213

▲ 294

▲ 397

▲ 296

▲ 165

▲ 252

▲ 24

▲ 293

▲ 99

▲ 89

▲ 47

▲ 86

▲ 267

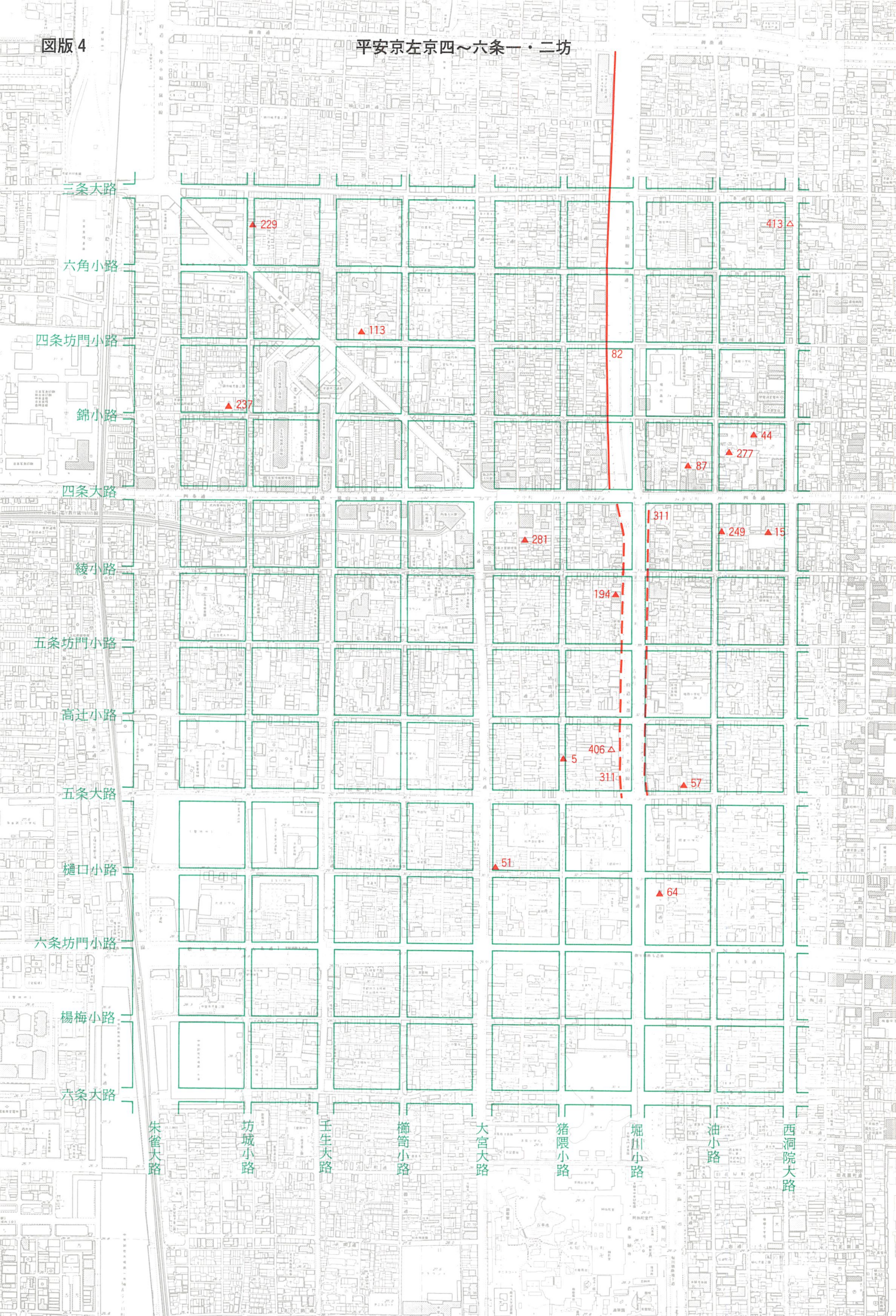
▲ 304

▲ 401

▲ 159

▲ 66

▲ 201



三条大路

六角小路

四条坊門小路

錦小路

四条大路

綾小路

五条坊門小路

高辻小路

五条大路

樋口小路

六条坊門小路

楊梅小路

六条大路

朱雀大路

坊城小路

壬生大路

櫛笥小路

大宮大路

猪隈小路

堀川小路

油小路

西洞院大路

▲229

▲413△

▲113

82

▲237

▲87

▲44

▲277

▲281

311

▲249

▲15

194▲

▲5

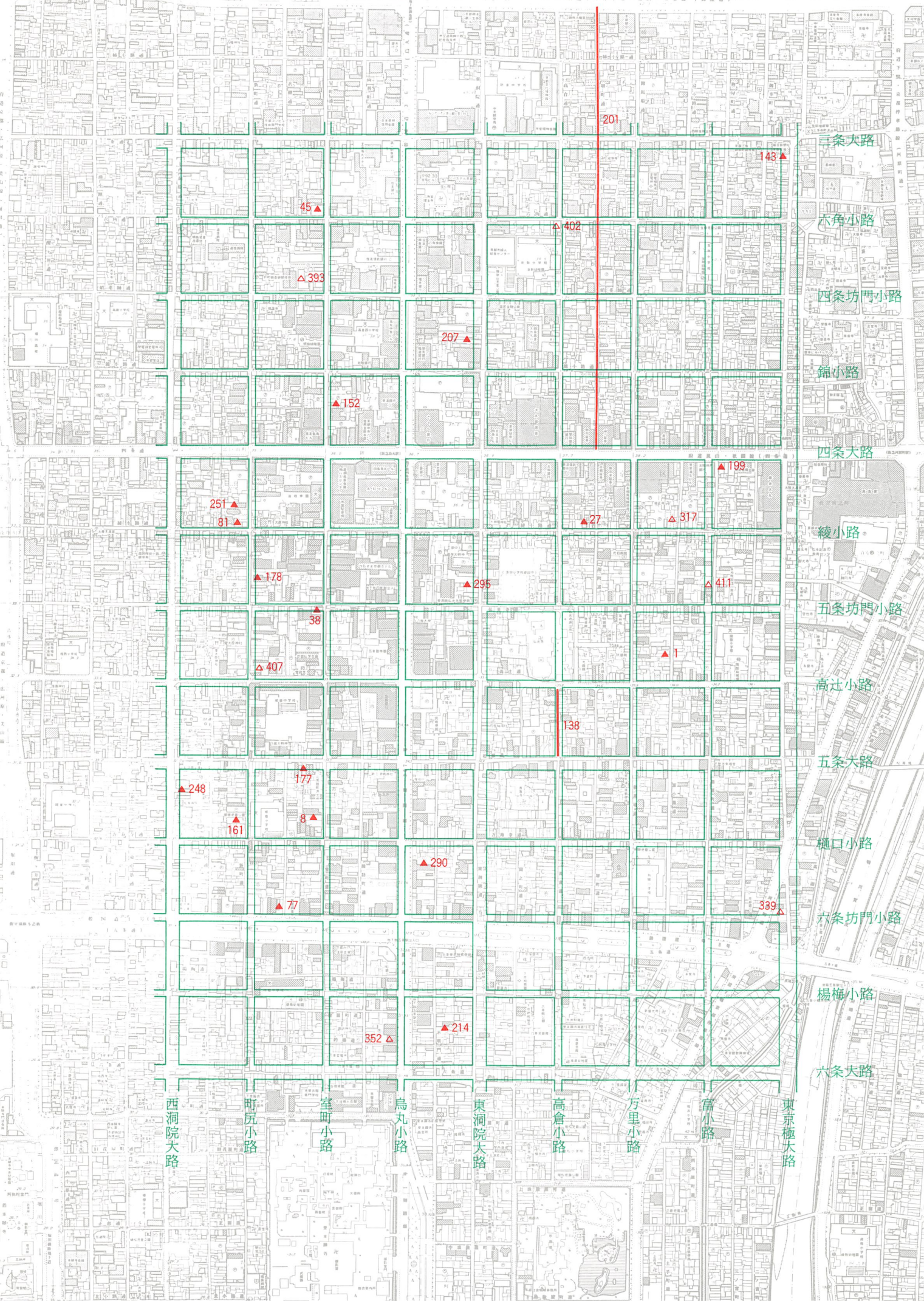
406△

311

▲57

▲51

▲64



三条大路

六角小路

四条坊門小路

錦小路

四条大路

綾小路

五条坊門小路

高辻小路

五条大路

樋口小路

六条坊門小路

楊梅小路

六条大路

西洞院大路

町尻小路

室町小路

烏丸小路

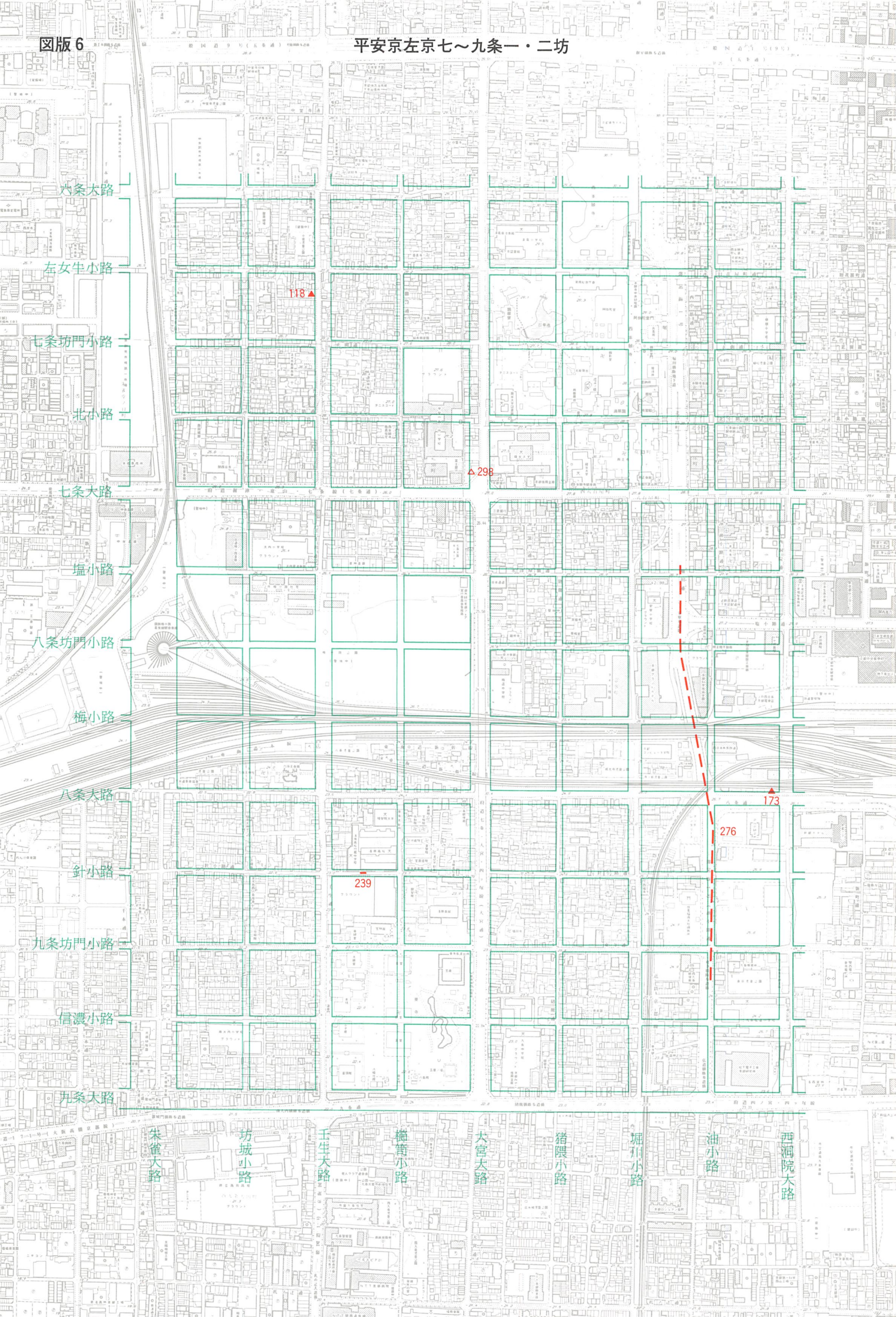
東洞院大路

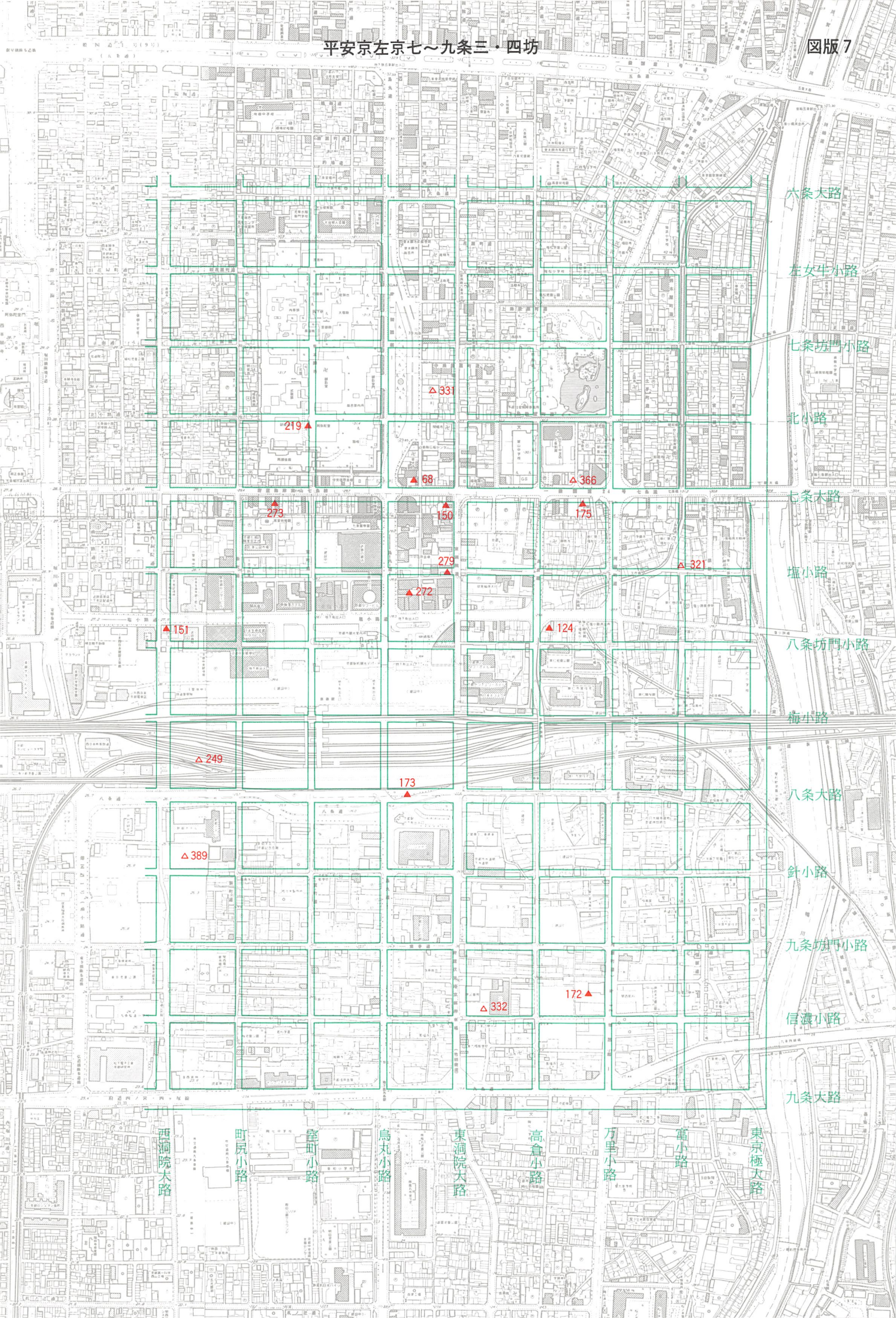
高倉小路

万里小路

富小路

東京極大路





六条大路

左女牛小路

七条坊門小路

北小路

七条大路

塩小路

八条坊門小路

梅小路

八条大路

針小路

九条坊門小路

信濃小路

九条大路

西洞院大路

町尻小路

壺町小路

烏丸小路

東洞院大路

高倉小路

刀里小路

藁小路

東京極大路

219 ▲

▲ 331

▲ 68

▲ 366

▲ 273

▲ 150

▲ 175

▲ 279

▲ 321

▲ 272

▲ 151

▲ 124

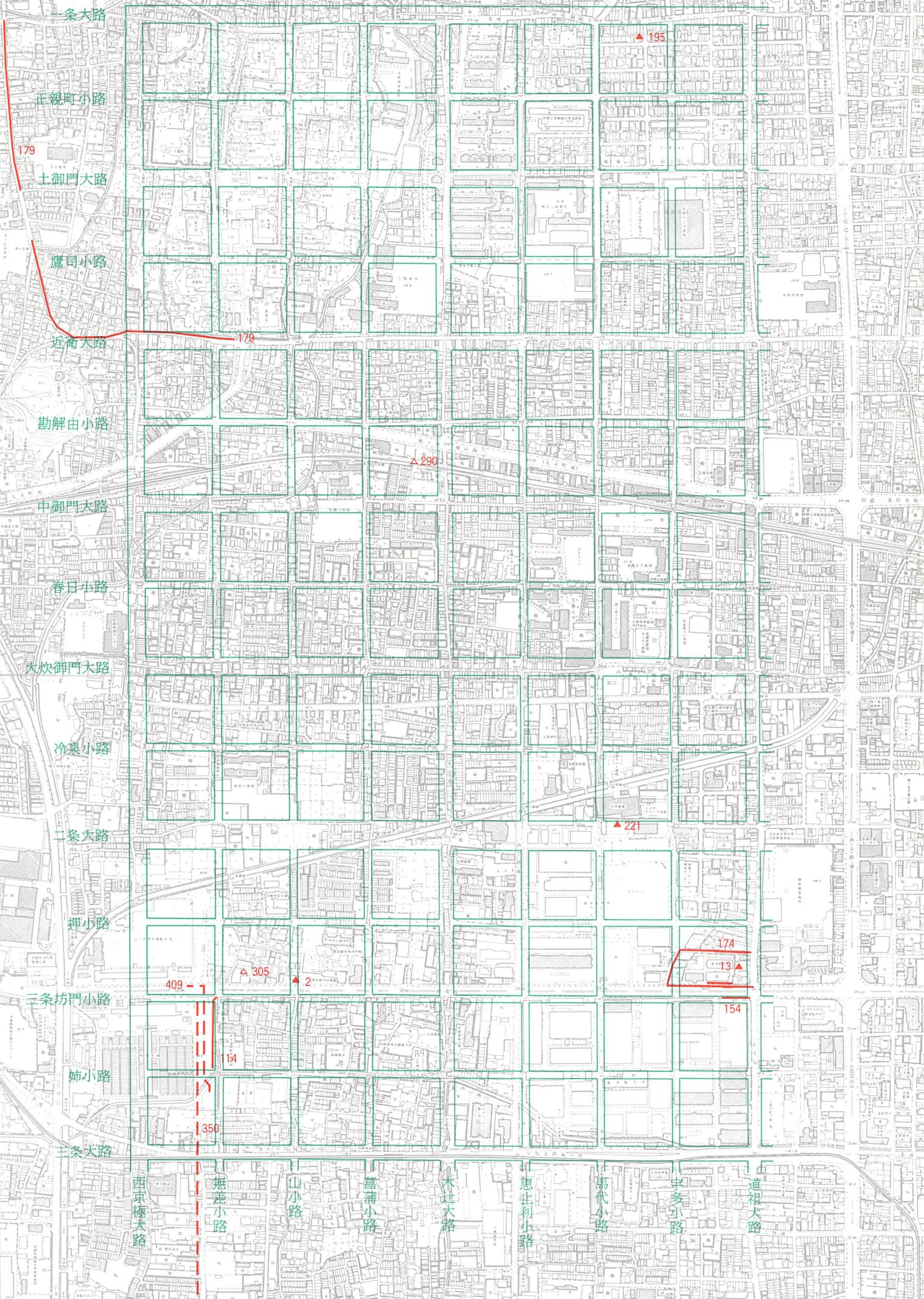
▲ 249

▲ 173

▲ 389

▲ 332

▲ 172



一条大路

正親町小路

179

土御門大路

鷹司小路

近衛大路

179

勘解由小路

△ 290

中御門大路

春日小路

大炊御門大路

冷泉小路

二条大路

△ 221

堀小路

409

△ 305

▲ 2

174

▲ 13

154

三条坊門小路

14

350

姉小路

三条大路

西京極大路

無差小路

山小路

菅浦小路

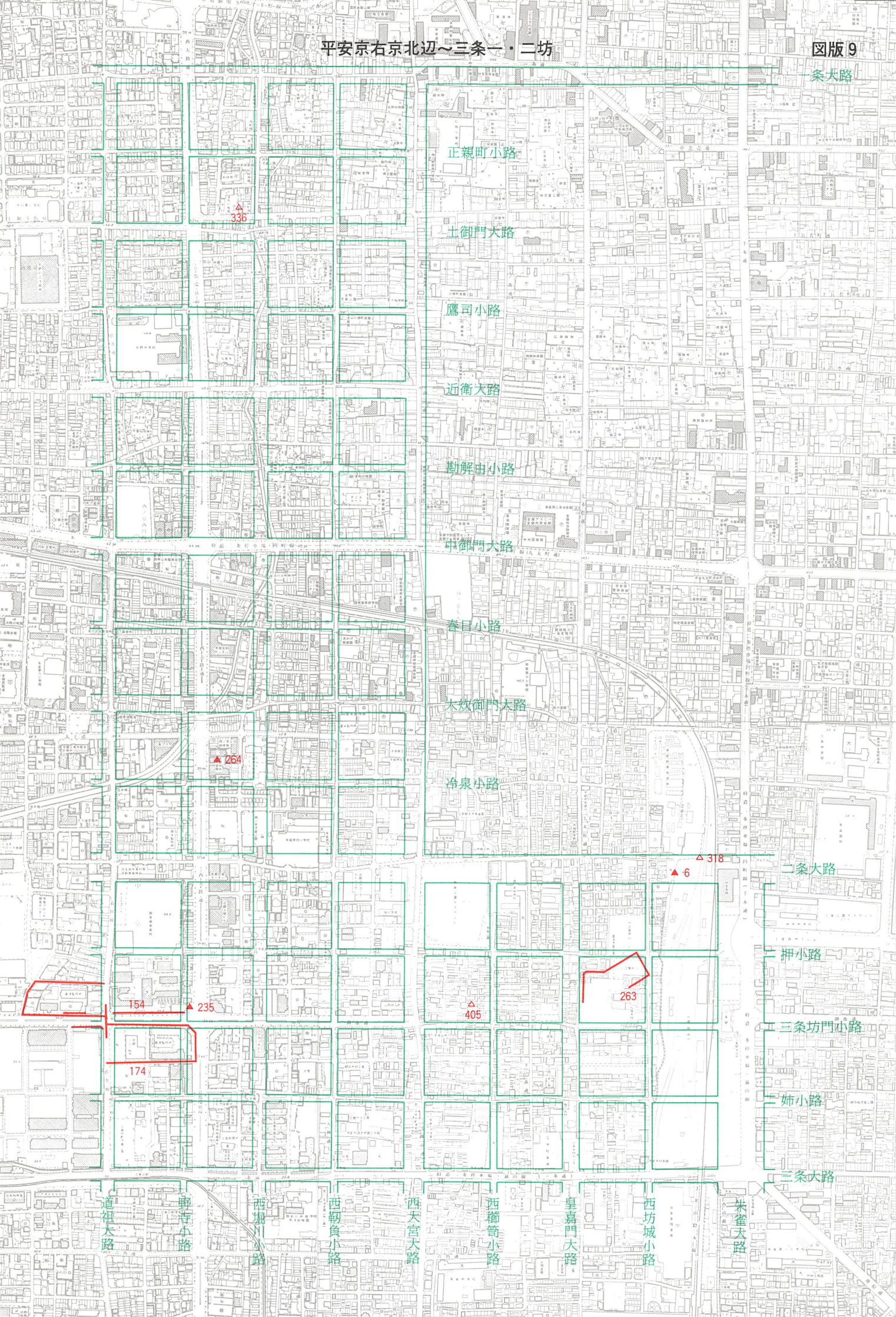
木辻大路

惠正利小路

馬代小路

宇多小路

道祖大路



一条大路

正親町小路

▲ 336

上御門大路

鷹司小路

近衛大路

勸解由小路

中御門大路

春日小路

大炊御門大路

冷泉小路

▲ 264

▲ 318

二条大路

▲ 6

一押小路

154

▲ 235

263

▲ 405

二三条坊門小路

174

姉小路

二条大路

道祖大路

野寺小路

西堀川小路

西御負小路

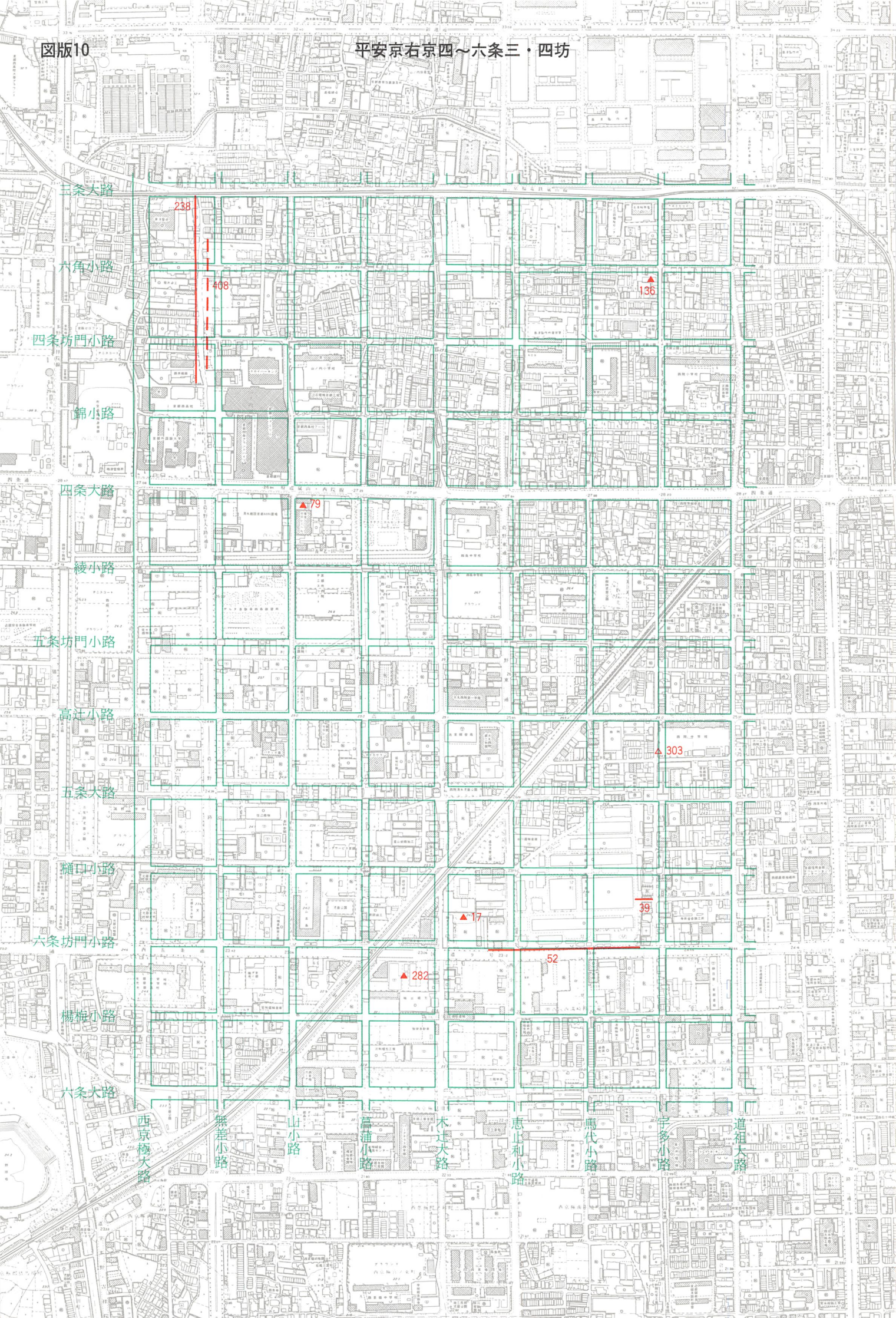
西天宮大路

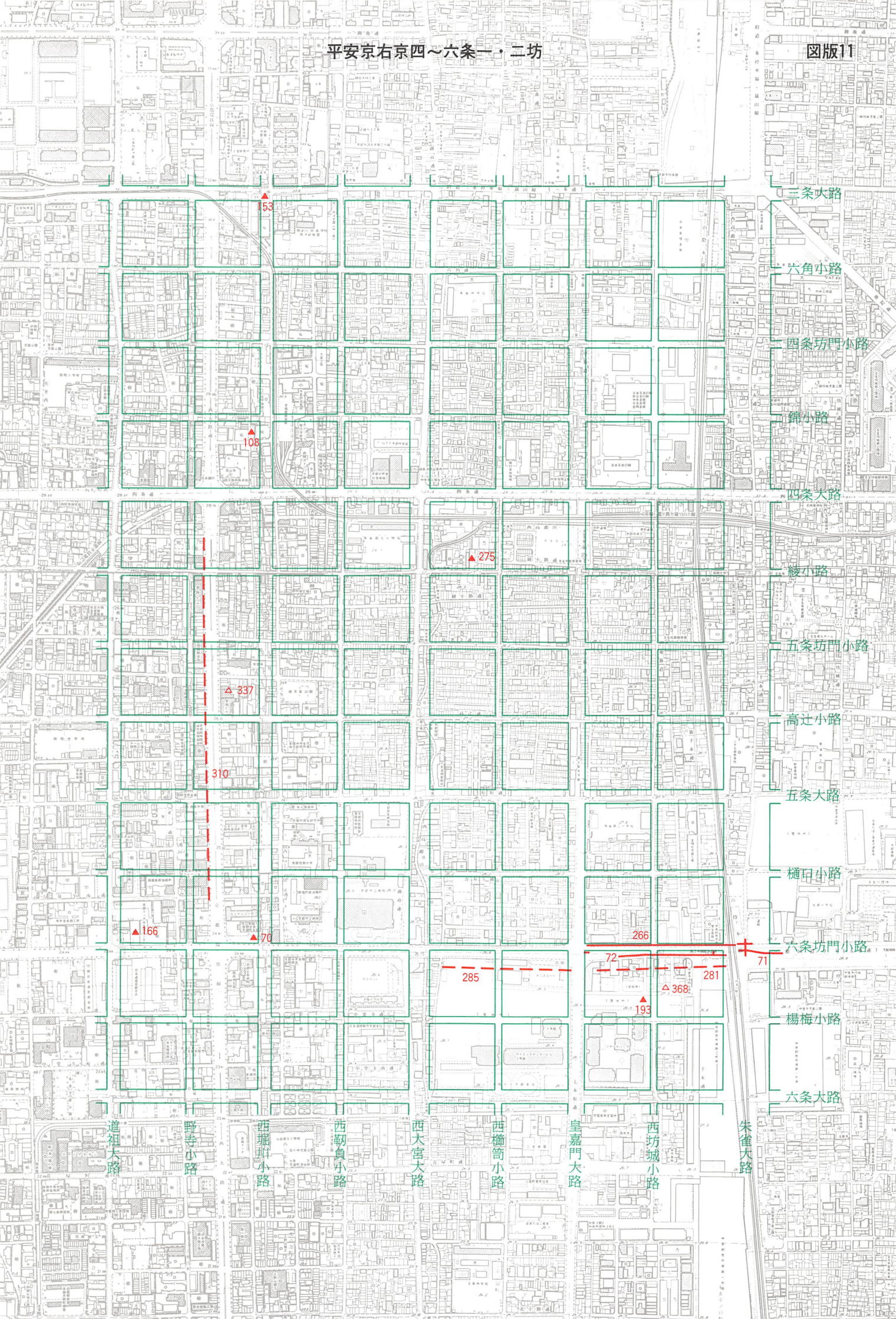
西櫛笥小路

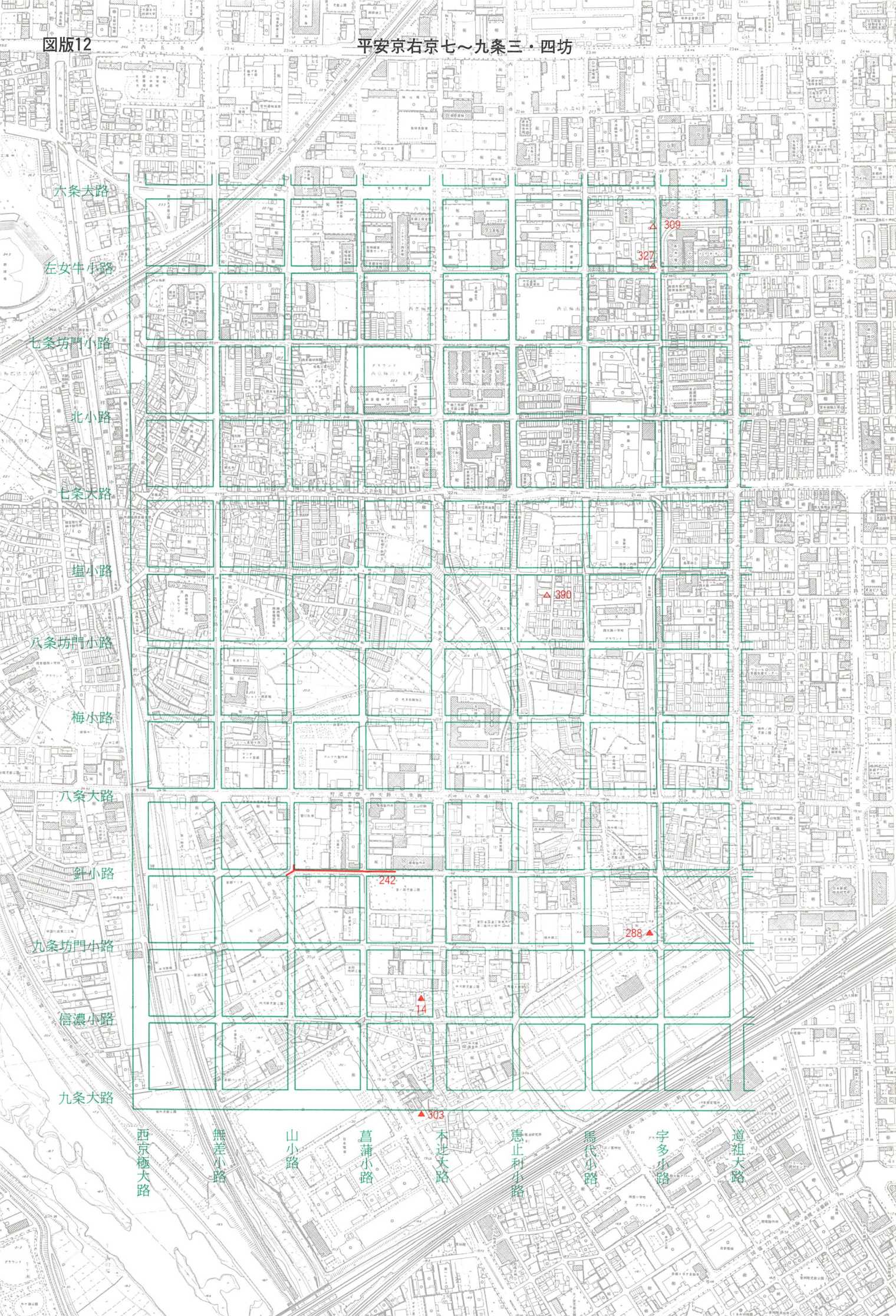
皇嘉門大路

西坊城小路

朱雀大路







六条大路

左女牛小路

七条坊門小路

北小路

七条大路

塩小路

八条坊門小路

梅小路

八条大路

針小路

九条坊門小路

信濃小路

九条大路

西京極大路

無差小路

山小路

菖蒲小路

木辻大路

惠止利小路

馬代小路

宇多小路

道祖大路

309

327

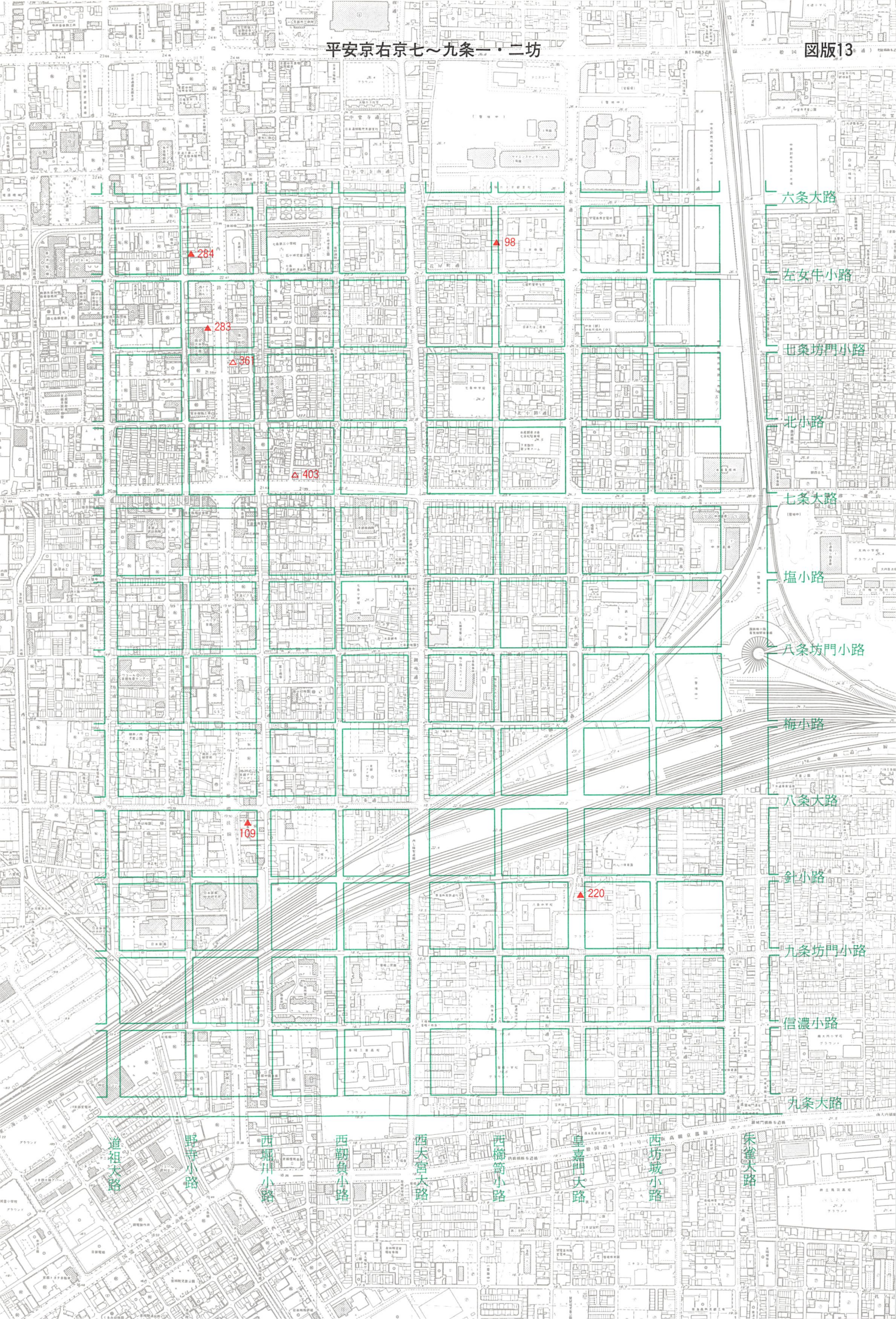
390

242

288

14

303



六条大路

左女内小路

七条坊門小路

北小路

七条大路

塩小路

八条坊門小路

梅小路

八条大路

針小路

九条坊門小路

信濃小路

九条大路

道祖大路

野寺小路

西堀川小路

西鞠負小路

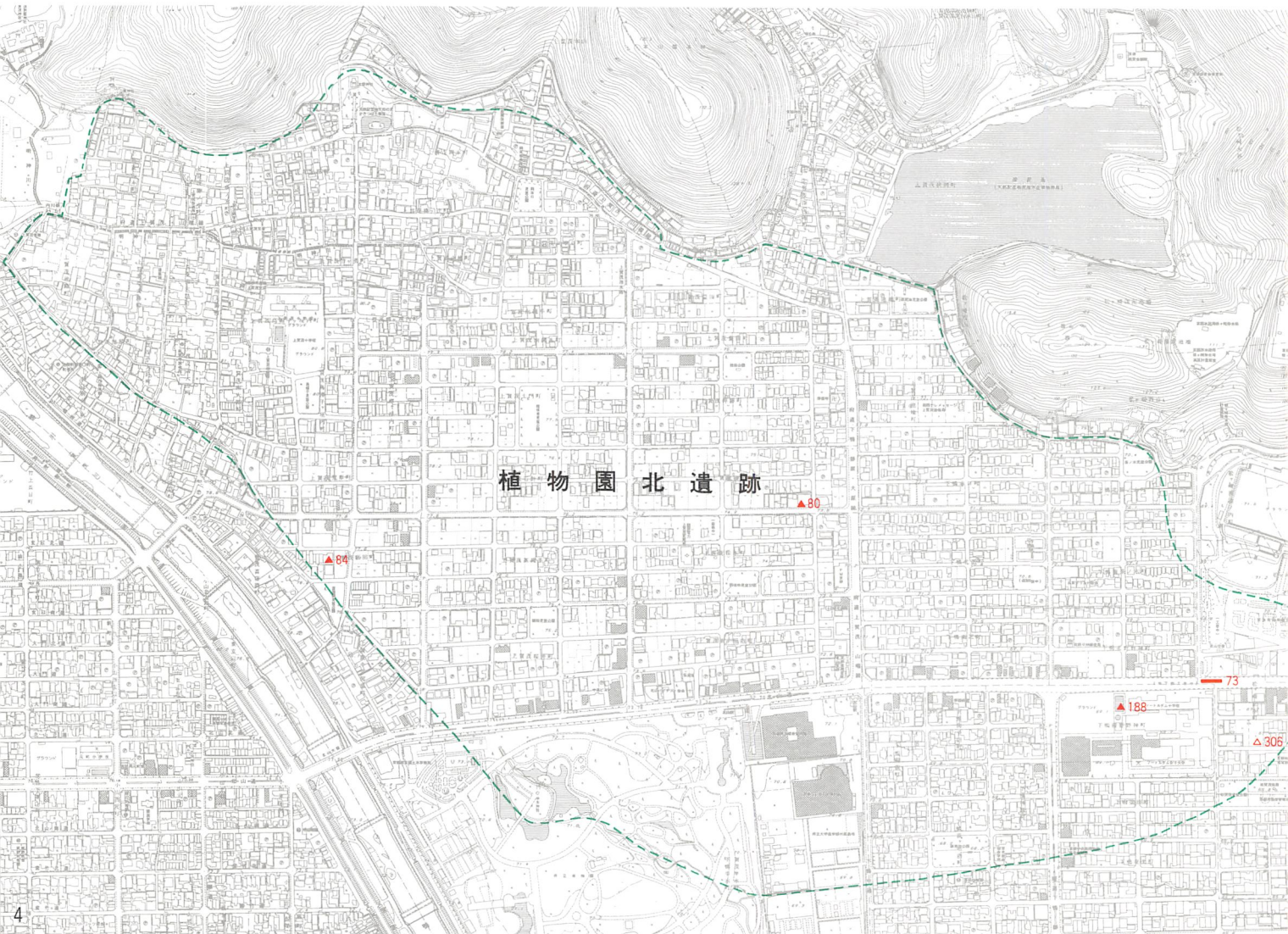
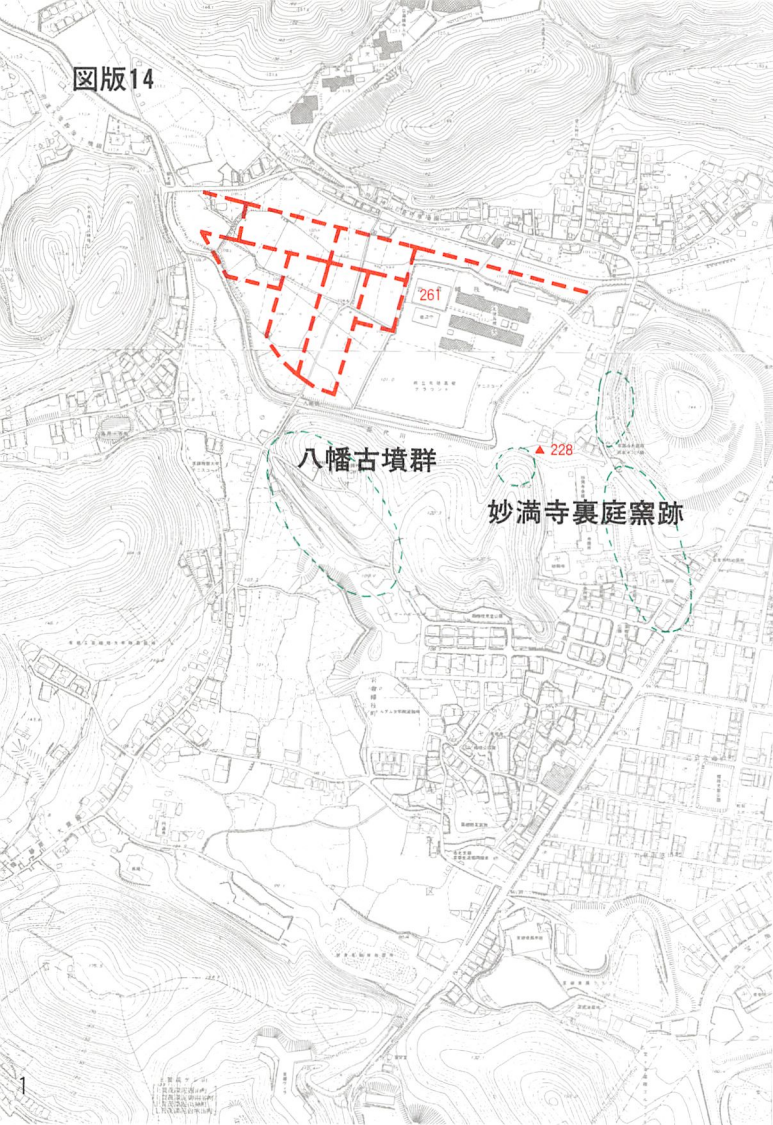
西大宮大路

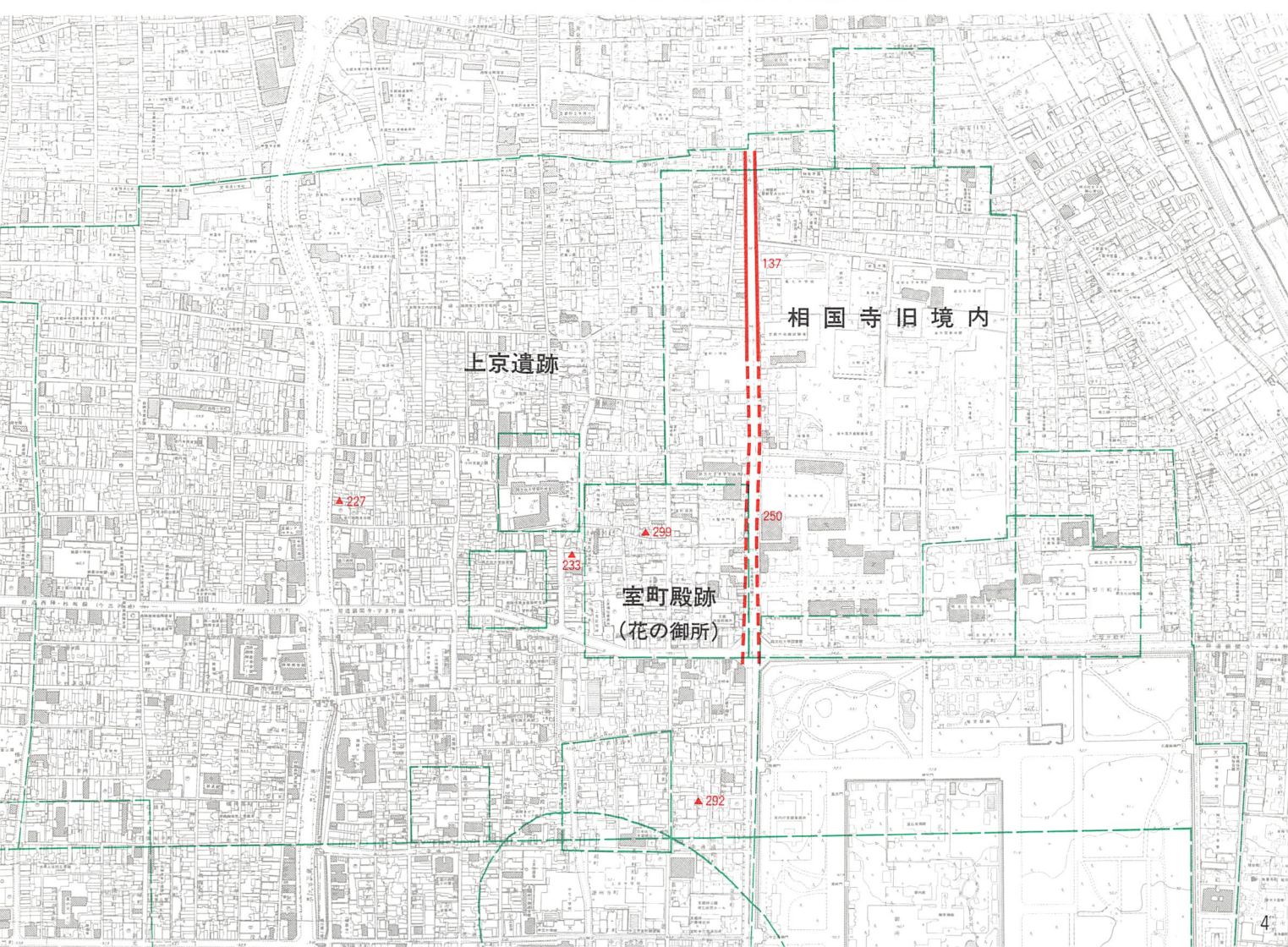
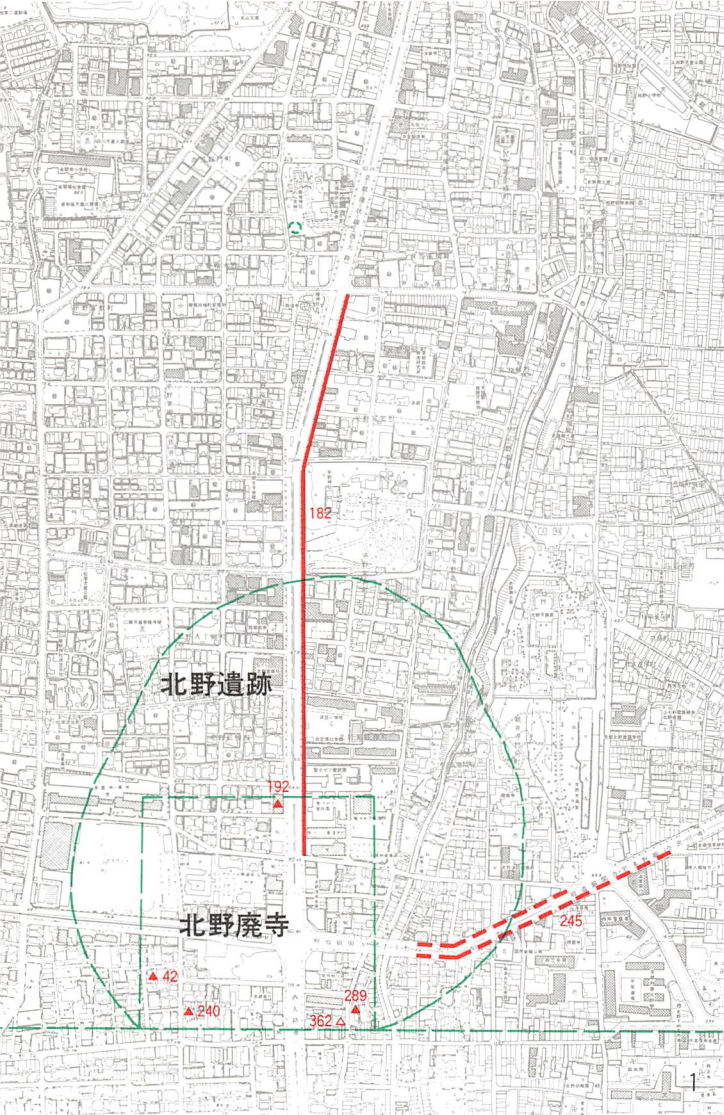
西備前小路

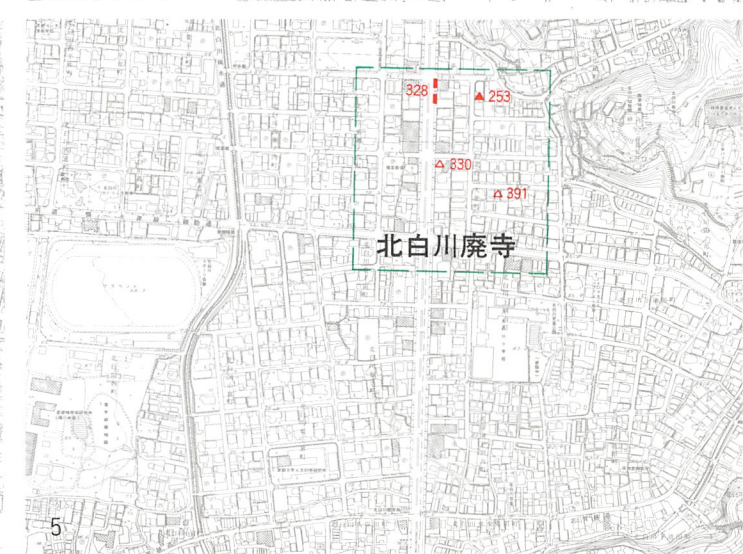
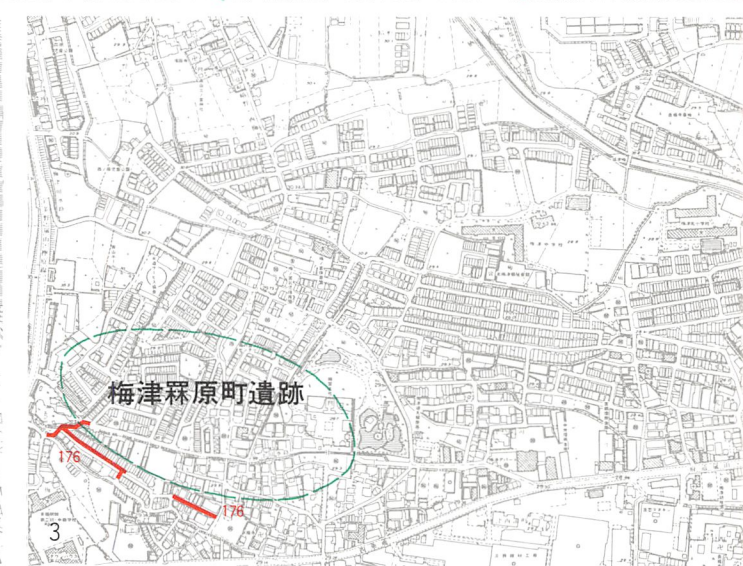
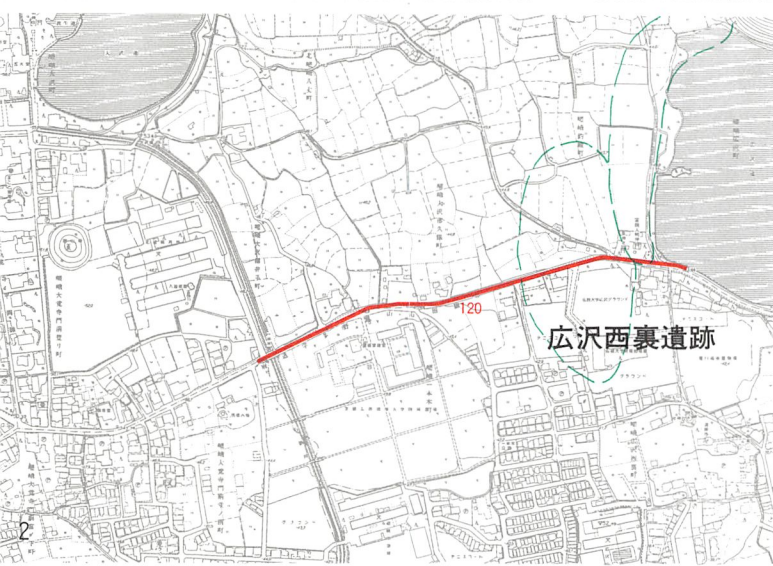
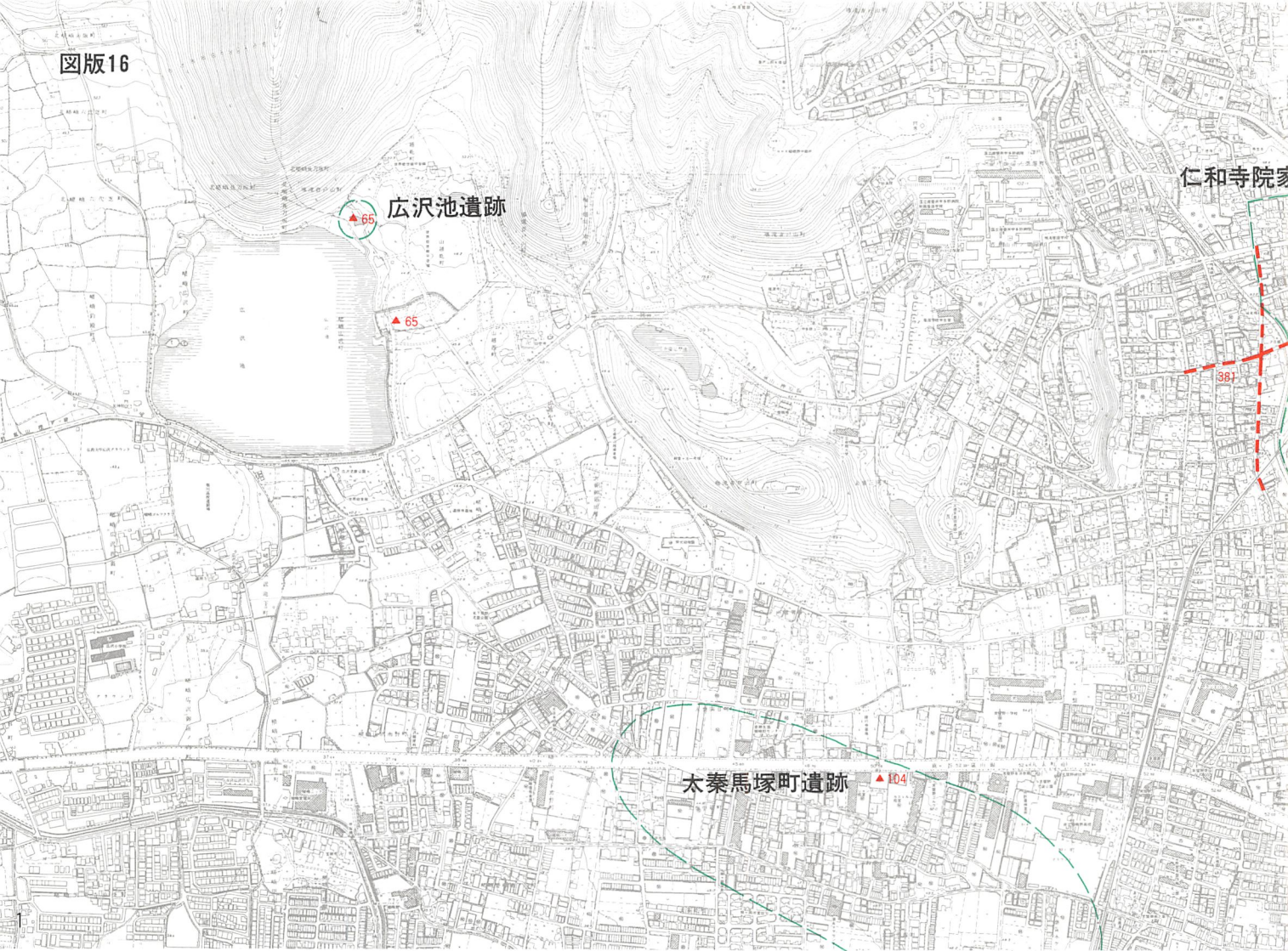
皇嘉門大路

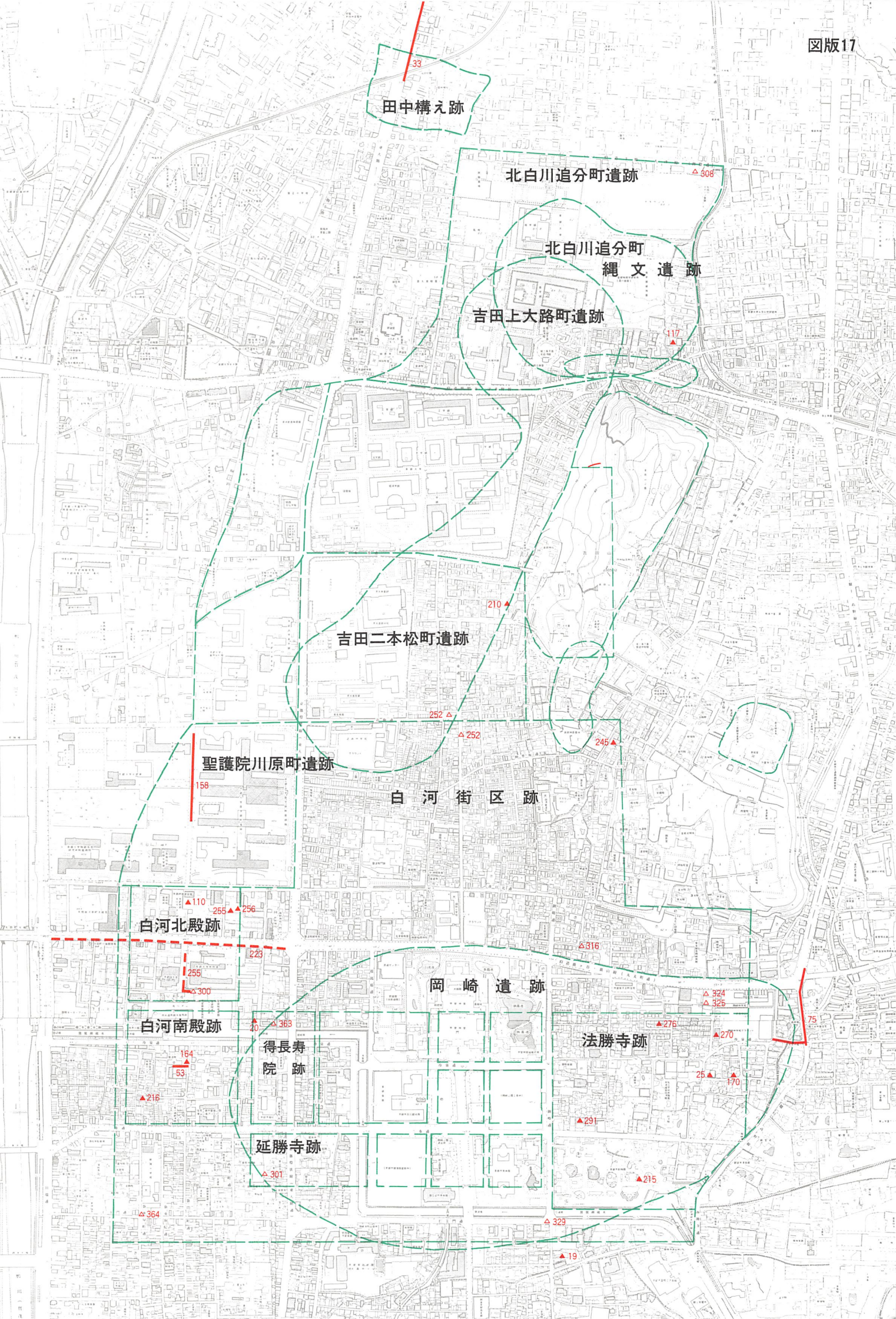
西坊城小路

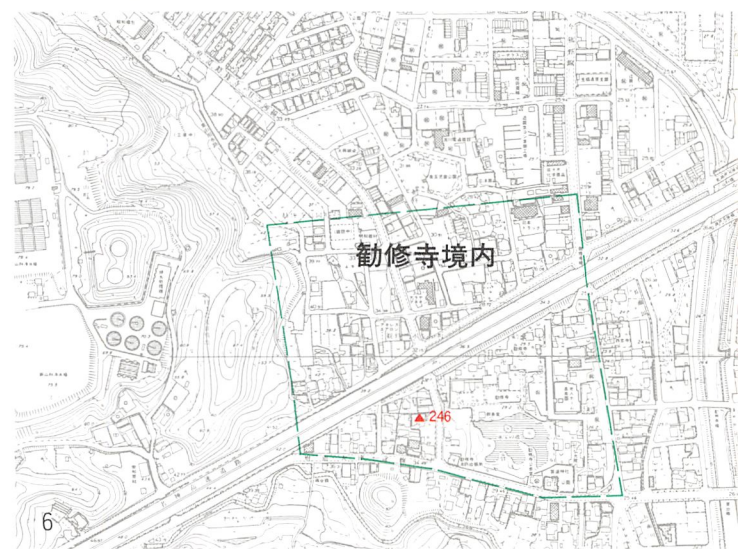
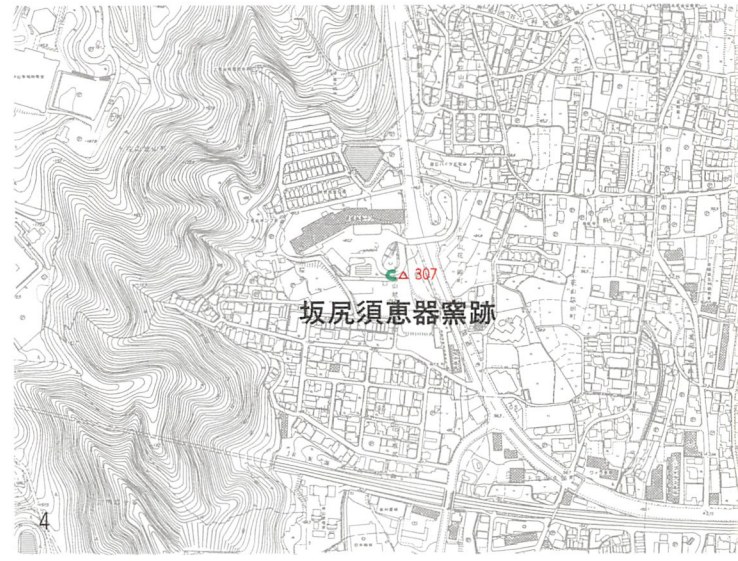
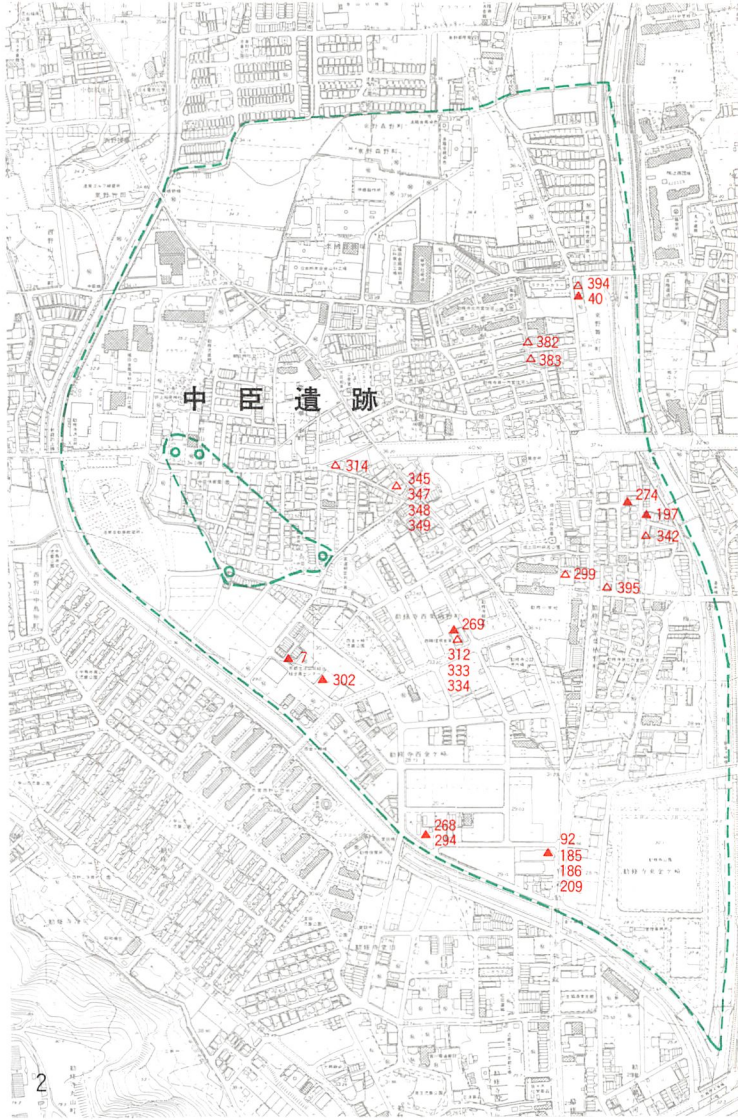
朱雀大路

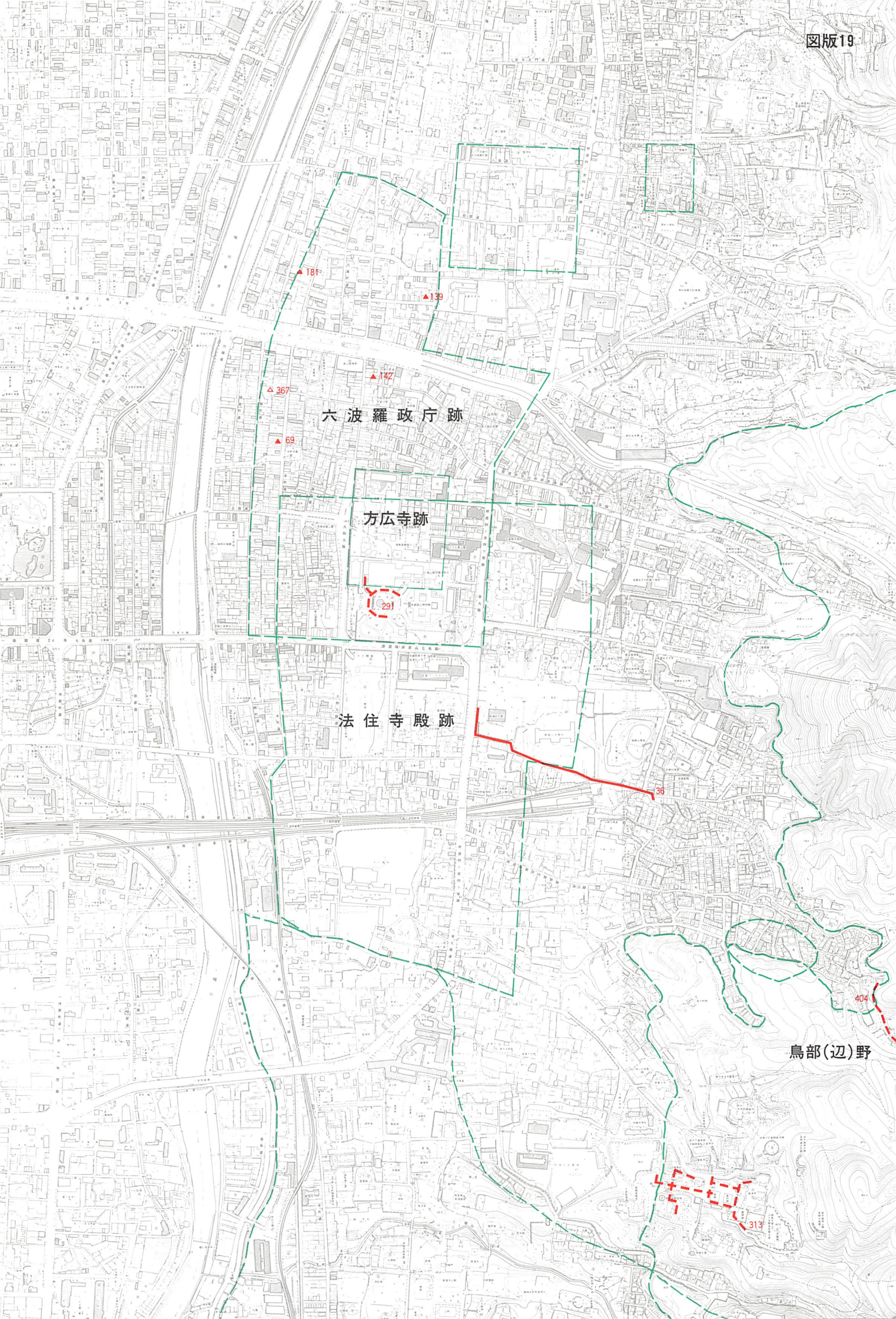












六波羅政庁跡

方広寺跡

法住寺殿跡

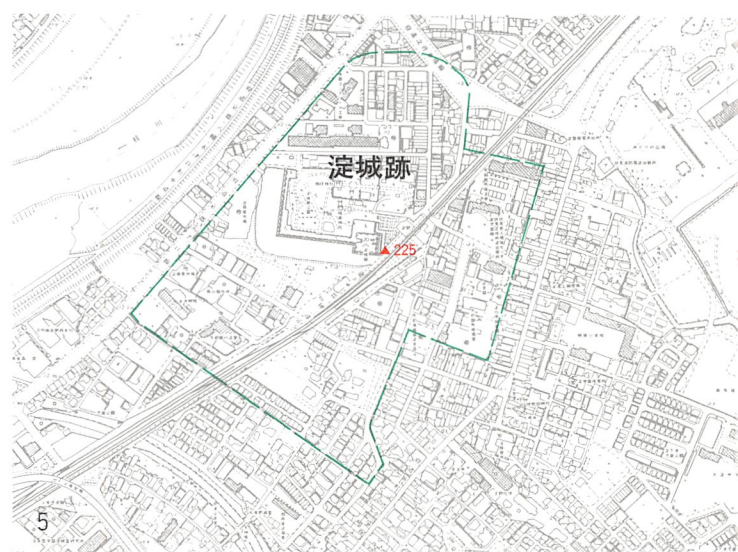
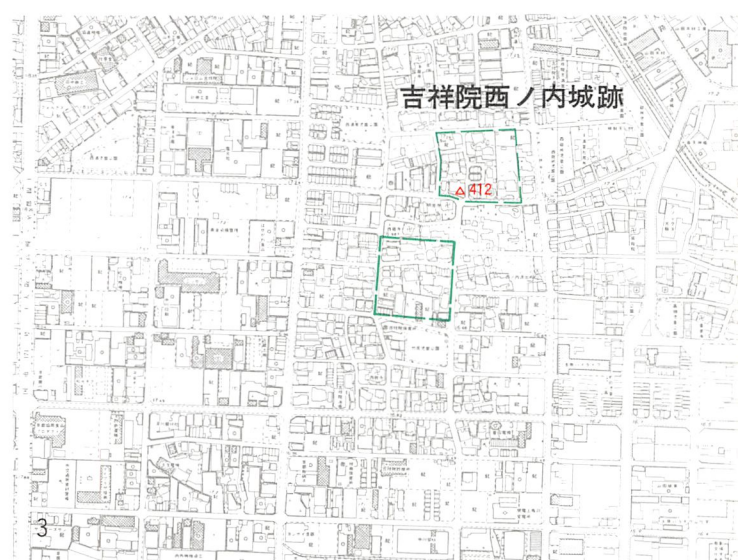
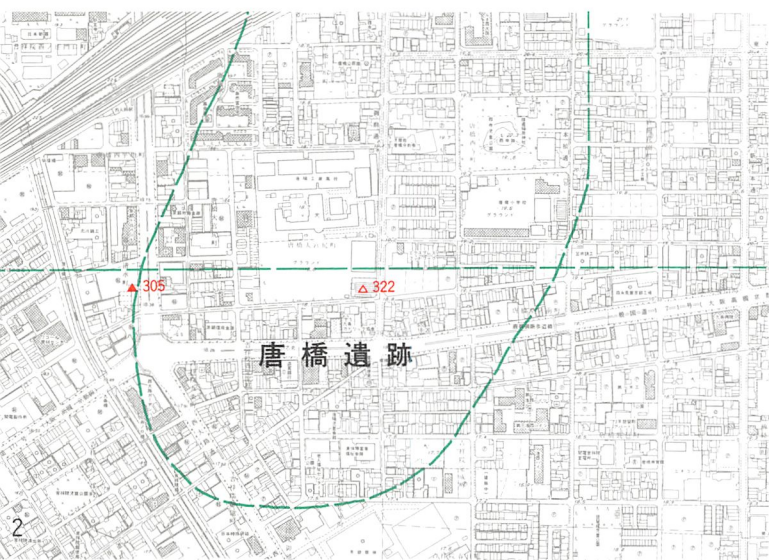
鳥部(辺)野

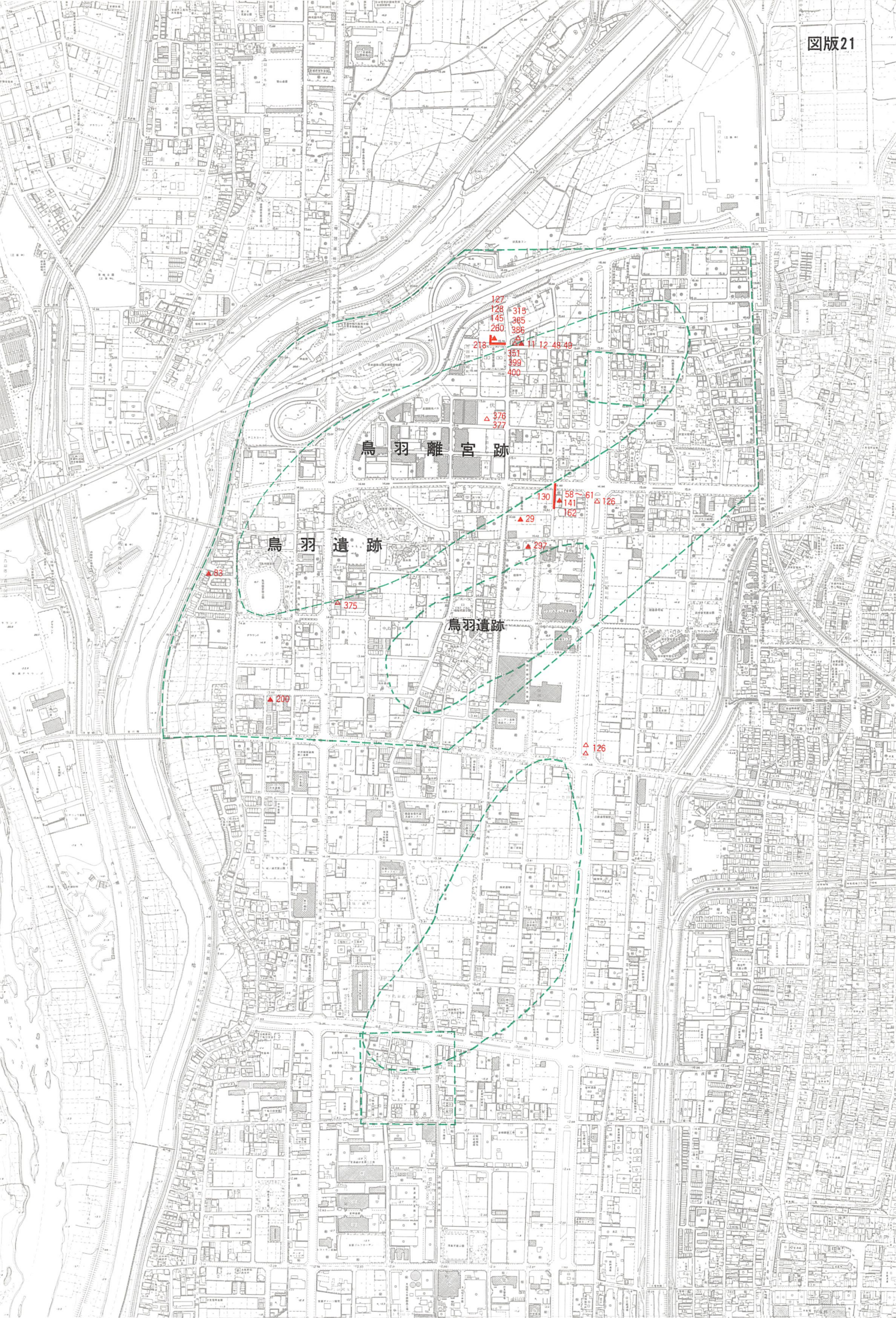
291

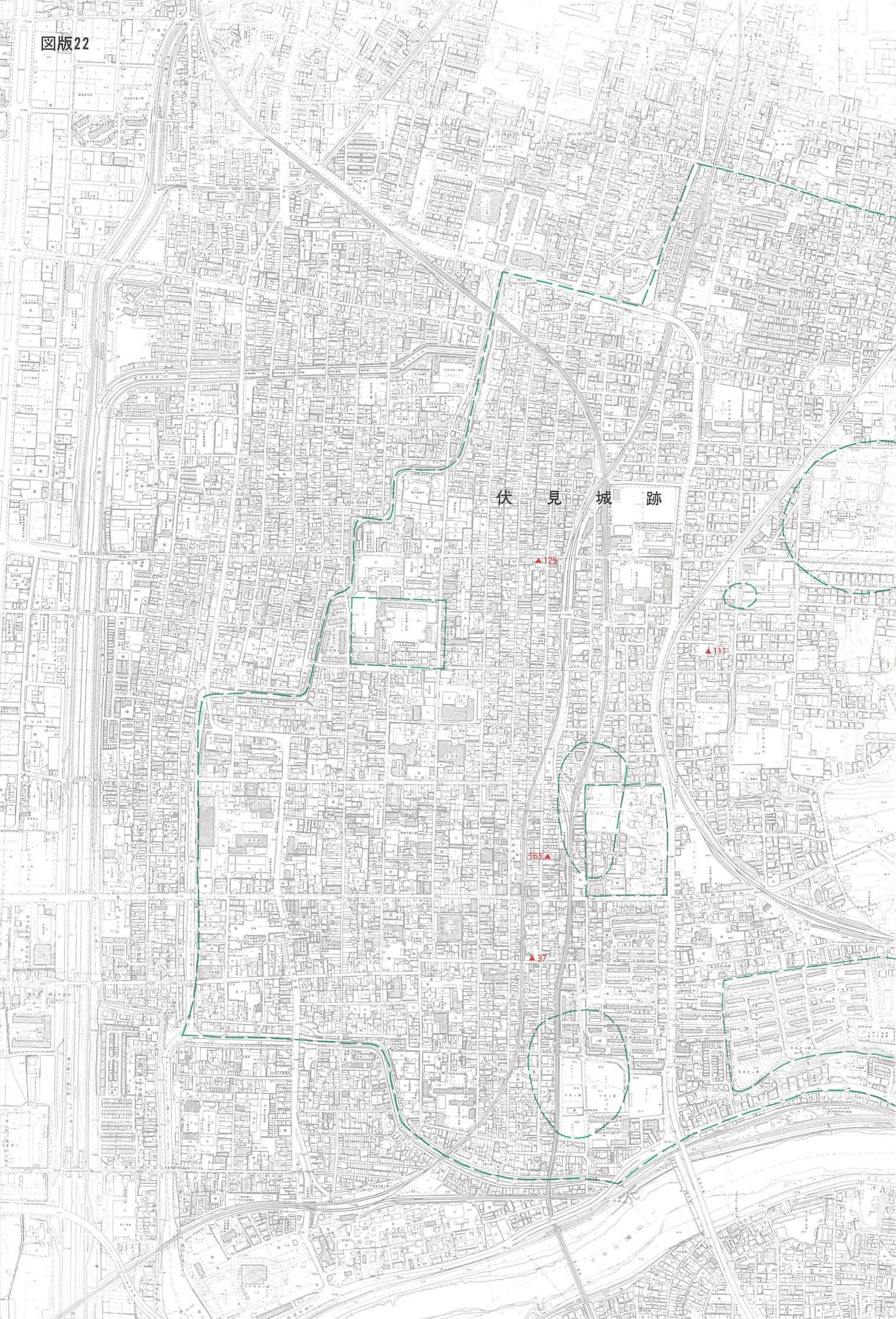
36

404

313







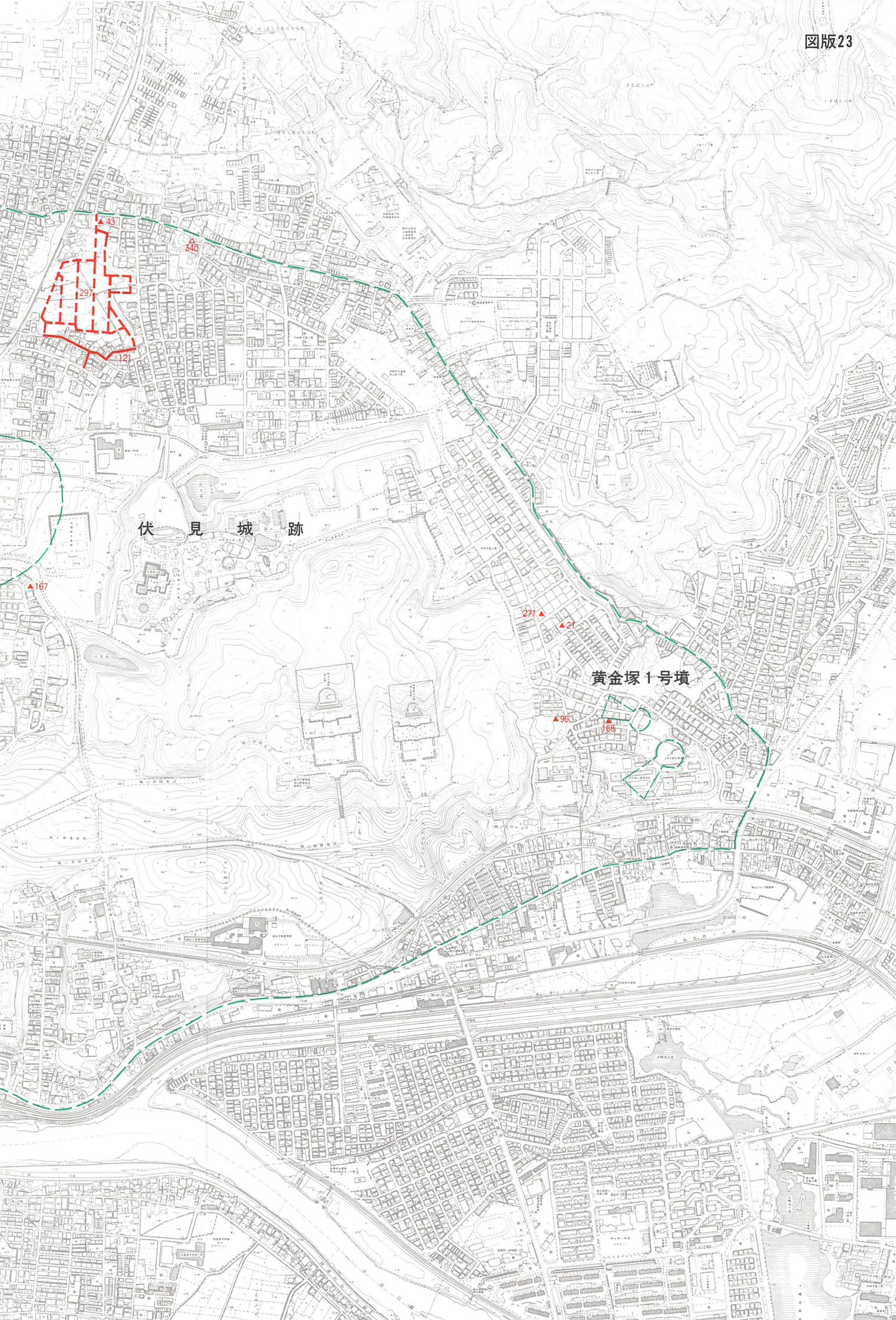
伏見城跡

▲125

▲111

▲163

▲37



伏見城跡

黄金塚1号墳

29

43

21

346

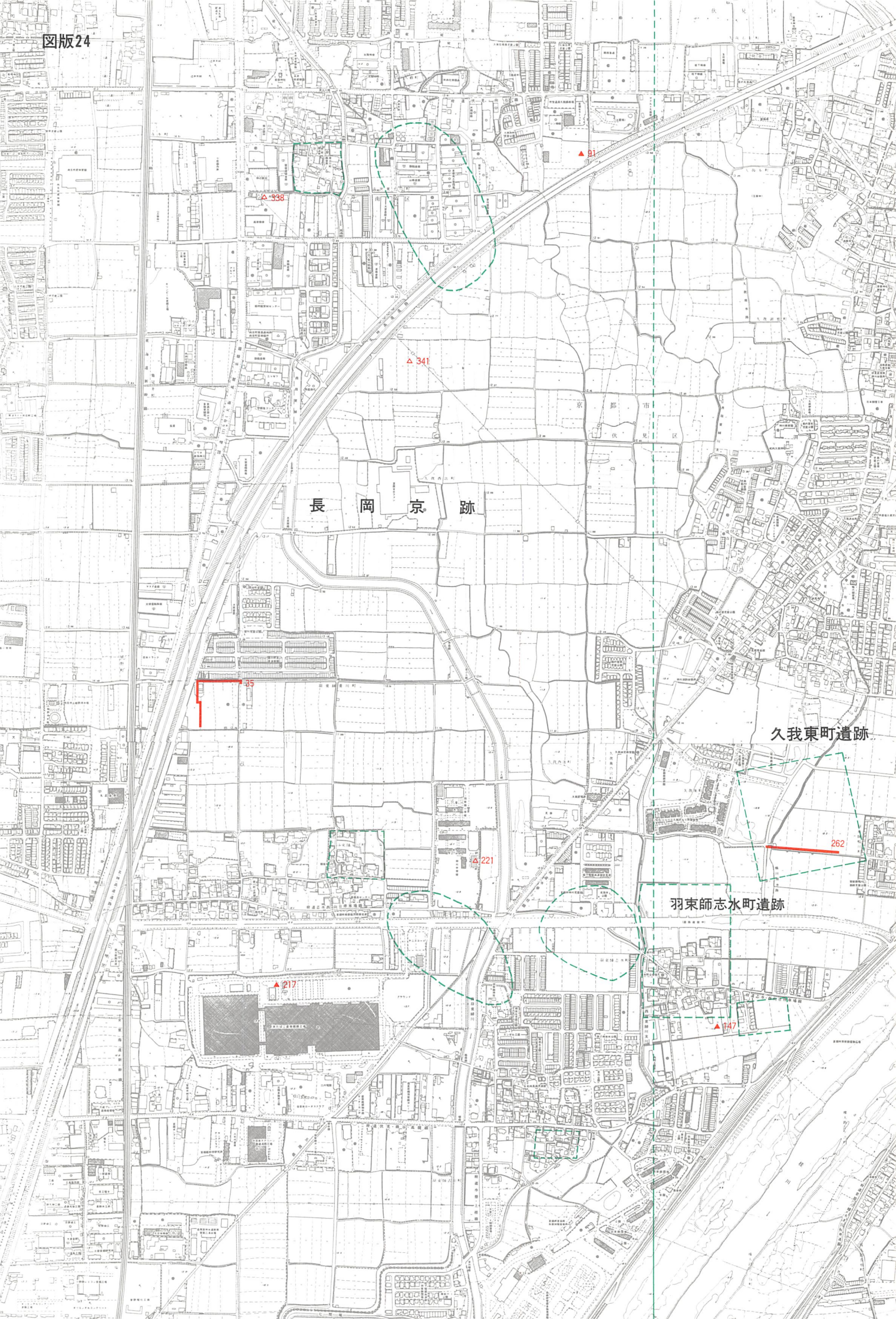
167

271

27

96

168



長岡京跡

久我東町遺跡

羽束師志水町遺跡

▲ 338

▲ 341

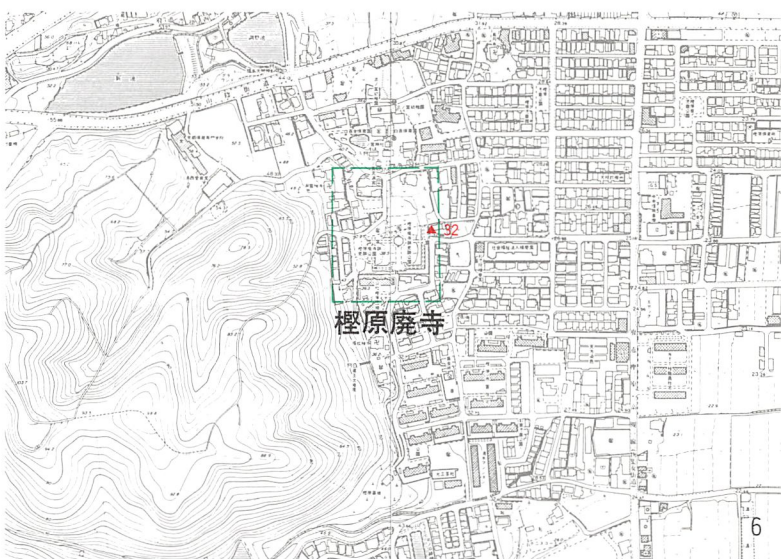
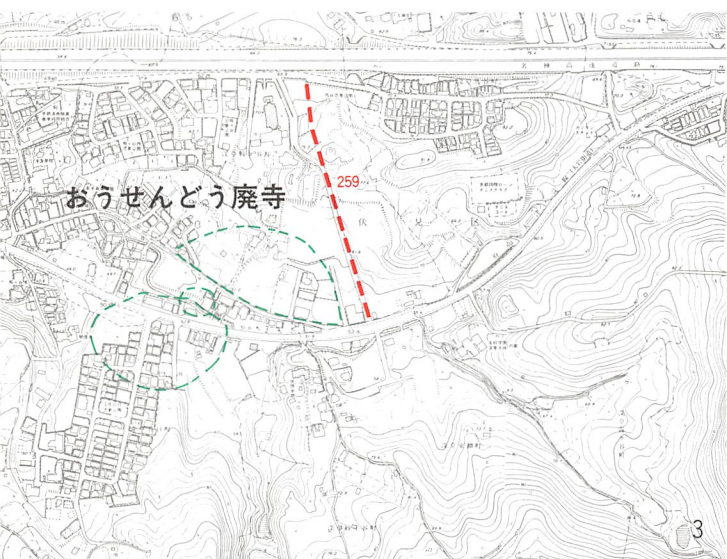
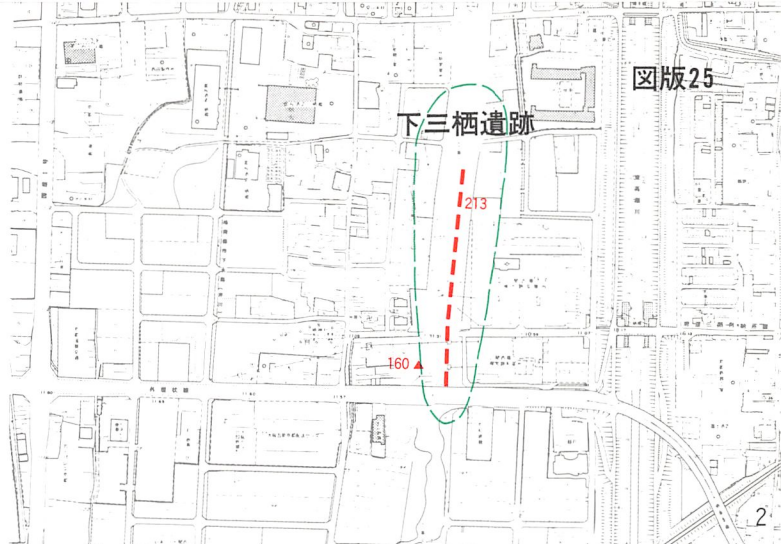
35

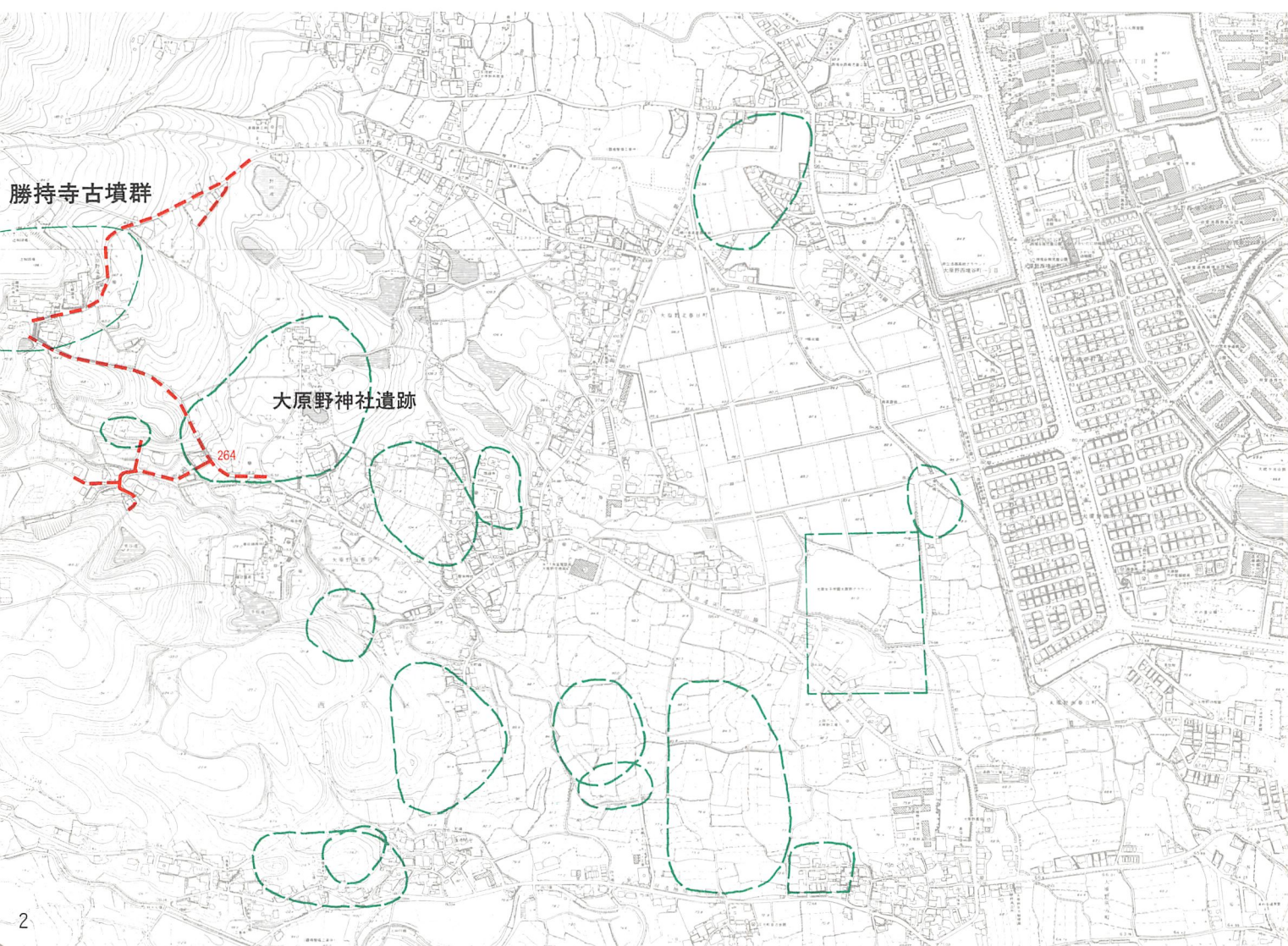
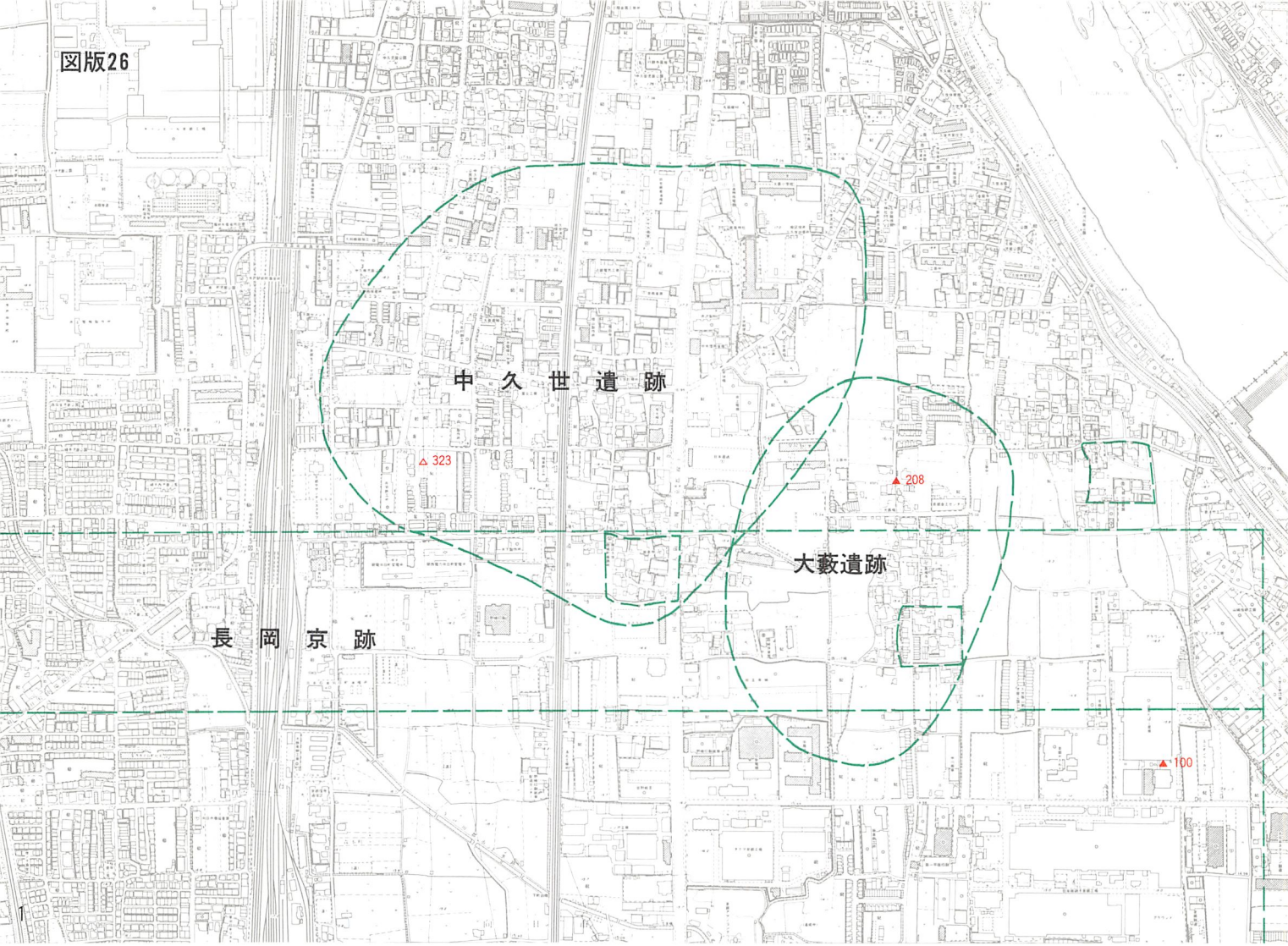
▲ 221

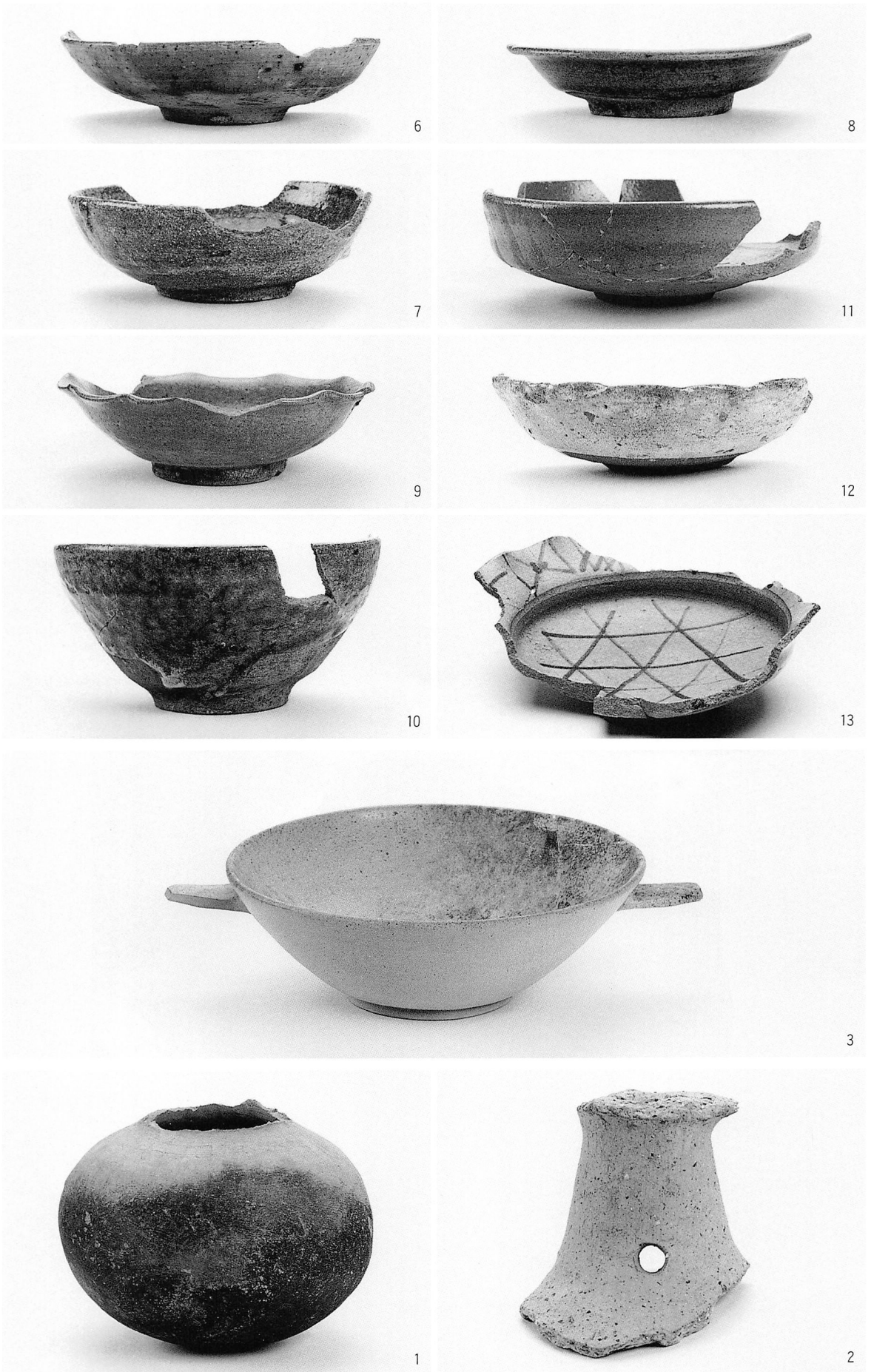
▲ 217

262

▲ 147







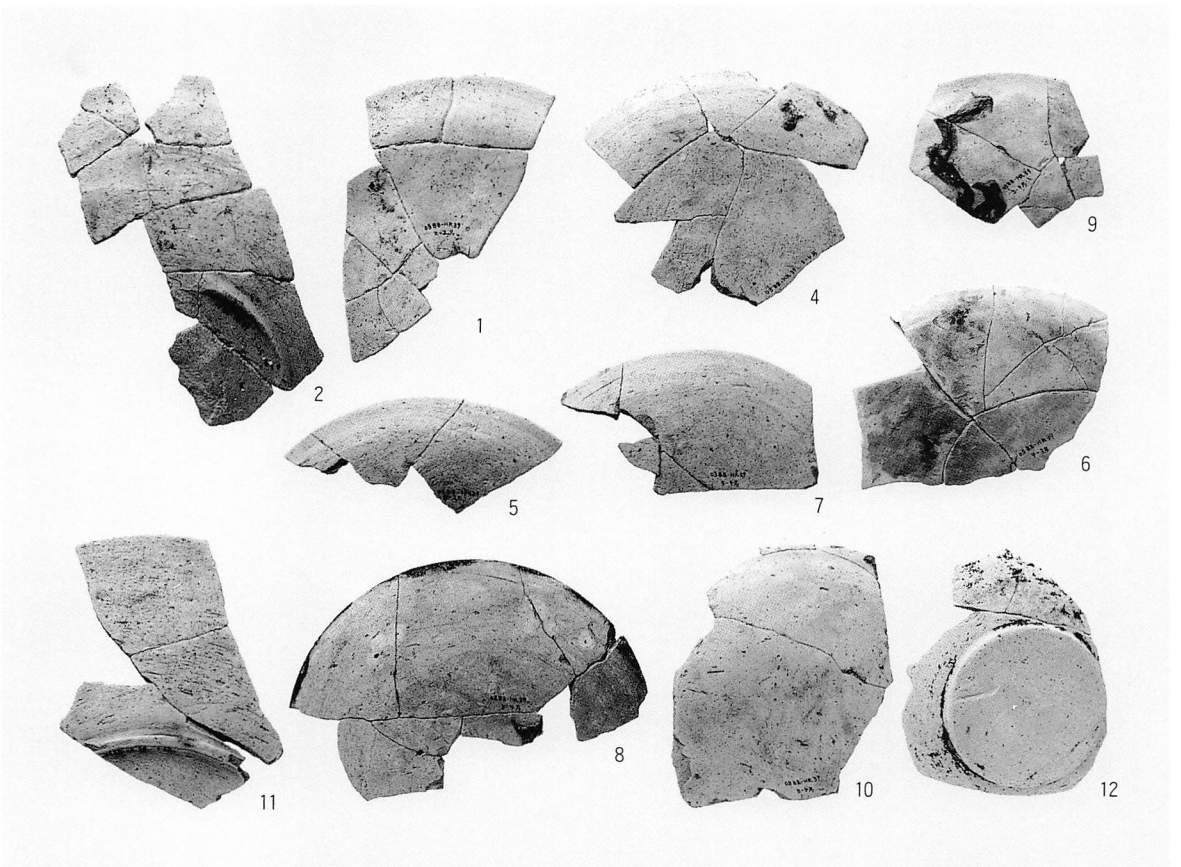
6～13 平安京左京三条四坊八町、等持寺跡 (02HL296)

3 平安京右京六条三坊七町、西院遺跡 (03HR39)

1・2 鳥羽離宮跡 (02TB126)



1 平安京左京六条二坊十町、烏丸綾小路遺跡 (03HL64)



2 平安京右京六条三坊七町、西院遺跡 (03HR39)

京都市内遺跡立会調査概報

平成15年度

発行日 2004年3月31日
発行 京都市文化市民局
住所 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488
編集 財京都市埋蔵文化財研究所
住所 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265-1
TEL (075) 415-0521
印刷 真陽社